

尾道市立大学

# Onomichi City University

表-2  
表-2（裏）

目次  
キャンパスマップ

## Campus Life

### P-001~007

- P-001 ..... 大学理念  
P-002 ..... 学長挨拶  
P-003 ..... 副学長挨拶  
P-004 ..... 目標・アドミッション・ポリシー・組織図  
P-005 ..... 2024年度入試データ  
P-006-007 ..... カリキュラム

### 尾道市立大学概要

## Economics, Management & Information Science

### P-008~015

- P-009 ..... バックアップ体制  
P-010-012 ..... キャンパスライフ  
P-013 ..... 学生食堂・コンビニ・書店  
P-014-015 ..... クラブ・サークル活動

### キャンパスライフ

## Japanese Literature

### P-016-043

- P-018 ..... 学部長挨拶  
P-019 ..... アドミッション・ポリシー  
P-020-021 ..... 学科紹介  
P-022-028 ..... 経済コース  
P-029-034 ..... 経営コース  
P-035-039 ..... 情報コース  
P-040-041 ..... 卒業論文  
P-042-043 ..... 経済情報学科の特色

### 経済情報学部・経済情報学科

## Art & Design

### P-044-071

- P-046 ..... 学科長挨拶  
P-047 ..... アドミッション・ポリシー  
P-048-049 ..... 授業の現場から  
P-050-051 ..... 日本文学科を考えているあなたへ  
P-052-053 ..... 文芸創作  
P-054-063 ..... 研究分野紹介  
P-064-065 ..... おのみち文化スタディ・フィールドワーク  
P-066 ..... 尾道文学談話会  
P-067 ..... 研究会活動  
P-068-069 ..... おのみち文学三昧・日本文学会  
P-070 ..... 卒業論文完成までの道のり  
P-071 ..... 卒業論文・卒業制作題目一覧

### 芸術文化学部・日本文学科

## University Museum

### P-072-109

- P-074 ..... 学部長挨拶  
P-075 ..... アドミッション・ポリシー  
P-076-077 ..... 工房・設備  
P-078-083 ..... 日本画コース  
P-084-089 ..... 油画コース  
P-090-095 ..... デザインコース  
P-096-105 ..... 美術学科教員一覧  
P-106-107 ..... 卒業制作  
P-108-109 ..... 卒業生の声

### 芸術文化学部・美術学科

## Community Collaboration & Outreach Office

### P-110-132

- P-112-113 ..... 尾道市立大学美術館  
P-114-115 ..... 地域総合センター  
P-116-117 ..... 尾道市立大学附属図書館  
P-118 ..... 情報処理研究センター  
P-119 ..... 教職支援センター  
P-120-123 ..... 国際交流センター  
P-124-125 ..... 医務室・学生相談室  
P-126-129 ..... キャリアサポートセンター  
P-130-131 ..... 就職活動体験記  
P-132 ..... 大学院  
表-3（裏） ..... 尾道市立大学周辺マップ  
表-3 ..... 尾道市立大学の沿革

### 各種施設

## University Library

## Information Technology Services

## Teacher Education Center

## International Office

## Health Support Room & Student Counseling Room

## Career & Employability Services

# 尾道市立大学 Campus Map

## 工房・クラブ棟

金工・木工・塗装・彫刻・陶芸・写真・版画・CGなど、さまざまな専門の工房があります。また、体育館やグラウンド、クラブ棟などサークル活動で利用できる場所も豊富にあり、のびのびと活動ができます。

## E棟・D棟・C棟

学生の学びの場。E棟は教室のほかに事務室や医務室、C棟はキャリアサポートセンターや情報処理研究センターがあり、学生生活をサポート！D棟では日々美術学科の制作が行われています。

陶芸実習室

学生会館

久山田郵便局

裏門

1F キャリア  
サポートセンター  
2F 情報処理  
研究センター

E棟

D棟

C棟

1F  
事務室  
医務室

第一グラウンド

正門

バス停

翠明館

木工機械室  
塗装実習室(2F)  
木工実習室(1F)

図書館

## 翠明館

尾大生憩いの場所。1階はコンビニや画材屋さん、ラウンジが入っています。シャワー室もあるので、サークルで運動した後も安心です。2階にはPCと印刷機完備の自習室があります。学生証があれば夜10時まで出入りできます。

## ニューヤマザキディリーストア

お昼ご飯やおやつ、文房具やギフトカードまで幅広く揃っています。

## ウェダ画房

美術学科は必ずお世話になる画材屋さん。油絵・日本画・デザインの制作に必要な画材等が揃っています。

## オヤマノカフェ (学生会館内)

栄養バランスの整った定食から、おしゃれなカフェメニューまで！スイーツもあるので休憩にもぴったり。安くておいしい学生の味方です。

# 尾道市立大学の理念 「知と美」の探究と創造

尾道市は、古くから瀬戸内の要衝として経済的な発展を遂げるなかで、美しい風光を背にすぐれた芸術文化を生み出し継承してきました。このような尾道の地の特性を生かして設立された尾道市立大学は、経済情報学部と芸術文化学部の2学部をもち、芸術文化学部には日本文学科と美術学科の2学科をおく公立大学です。

尾道市立大学は、このような学部・学科構成の特徴を生かしつつ、人と情報が集まって「知と美」を探究する場、そのなかで新たな「知と美」を創造しその成果を社会に発信する場、そして学問と人間的触れ合いを通じて有為な人材を育成する場となることによって、学術・文化の向上と社会の発展に貢献します。



学長  
荒井 貴史

尾道市立大学は、瀬戸内の十字路として交通の要衝である尾道市に立地して、これまで地域と共に発展して、特長・特色ある教育を実践して参りました。それは、先人達が努力して築いてきた尾道という地域での高等教育機関としての歴史と伝統を基盤としております。本学は、最高学府として社会からの負託に応えつつ、本学の理念である「知と美」の探究と創造によりさらに学問領域を発展させるとともに、その成果を学生教育に展開して次世代に伝達しております。また、公開講座等により地域社会にも還元しております。

本学は、経済情報学部経済情報学科、芸術文化学部日本文学科、芸術文化学部美術学科の2学部3学科と大学院の経済情報研究科、日本文学研究科、美術研究科の3研究科からなる規模としては小さな公立大学ですが、中国・四国地域を中心としながら、全国各地から本学で学びたい(尾道で学びたい)学生が集まっております。そうした意欲ある学生たちは、各教育課程で学修者本位の教育を通して専門分野の所定単位数を修得することで、学問の研鑽を積んで行きます。そして、本学のディプロマ・ポリシー(DP)で示している以下の3つの学修成果を達成して、企業や地域から求められる有為な人材として社会に羽ばたいていっています。

(知識・技能)

DP1: 幅広い教養と専門的知識・技能を修得し、それらを総合的に活用することができる。

(思考力・判断力・表現力)

DP2: 専門的知識・技能を活用した思考を通して、課題の発見や解決、表現の探究に取り組むことができる。

(主体性)

DP3: 豊かな人間性と幅広い視野をもち、主体的に問題解決や社会における実践に取り組むことができる。

優秀な学生を社会に多く送り出すことは、公立大学である本学のミッションであることは言うまでもありません。さらに、尾道の地域で学んだ卒業生・修了生が、それを国際社会や地域での活動で「強み」に出来るように、すなわち「尾道での学びを誇れる大学」となるように努力しております。そして、地域の皆様、関係諸機関の皆様のご協力とご支援を賜りながら、公立大学として本来のミッションを遂行するとともに、「地域と共に育つ大学」でありたいと思います。



副学長  
前田 謙二

高校までの勉強ではすでに答えのある問題を如何に早く正解するのかが重視され、暗記中心の反復練習でした。しかし、皆さんが大学を卒業して社会に出れば、未解決の問題が山積みです。たとえば、会社に入社したとして新製品の開発を担当したとしましょう。どのような商品を開発すれば売れるのかという問題に正解があるわけではありません。会社は何十年も新製品を開発しても、実際に売れる新製品をなかなか作ることはできません。このように社会では、正解のない課題を何年も考え抜き、いろいろと試してみて、工夫することが求められます。特に、インターネットやAIの進歩などを考慮すれば、単なる知識の暗記では、今後必要とされる人材にはなれないでしょう。

では、学生は大学で何を学ぶ必要があるでしょうか。高校までの正解のある問題を早く解く練習ではなく、社会で必要とされる正解のない問題へ対処できる練習を行うことが必要になります。つまり、自分で長く考え続け、人の意見を聞き、何らかの解決策などを見つけ出す練習が必要になります。そのためには、常に「なぜ」と疑問を持つことがスタートになると思います。

本学では学生が演習などで卒業論文や卒業制作等を完成させることになります。この演習などは教員と学生との距離も近く、特に社会に出て必要な力を養うことができる場になっています。是非、社会で使える力を本学で身につけて下さい。



副学長  
桜田 知文

尾道は中世の開港以来、「北前船」の寄港する瀬戸内随一の良港として繁栄しました。また、その繁栄により尾道には多くの豪商が現れ、お寺の建立や茶園と呼ばれる別荘・庭園を競うように整備し、箱庭的都市が生まれました。明治時代には山陽鉄道が開通し、1999年には、瀬戸内しまなみ海道、2015年には中国横断自動車道が全線開通し、「瀬戸内の十字路」が完成しました。しまなみ海道は、温暖な気候を利用しての柑橘の栽培が盛んで、また世界有数のサイクリングコースもあります。また、「坂のまち」「文学のまち」「映画のまち」としても知られ、最近ではアニメやゲームの聖地としてや、「猫のまち」としても有名になりました。

尾道はコンパクトな街です。街がとても身近です。昔から続く祭りや、近年始まったイベントも多く、それらに参加する学生も多くいます。またコンパクトな尾道だからこそ出来る事は沢山あります。地元企業とのコラボレーションや商品開発など、尾道には大学での授業で終わらせるのではなく、学んだことを実践する場が沢山用意されています。

尾道にはドキドキワクワクが詰まっています。受動的な大学生活でなく、能動的に大学や街を活用することが肝要だと思います。

## ＜教育：培う尾道市立大学＞

尾道市立大学は、専門分野における確かな知識と能力、そして豊かな教養と広い視野をもち、地域社会および国際社会に貢献し得る人材を育成します。このため、本学の特色である少人数教育の利点を生かしつつ、「教学半」(教うるは学ぶの半ば)の精神のもと、教員と学生が人間的触れ合いのなかで共に学び、「知と美」に対する強い好奇心と探究心、しっかりした基礎学力と高い専門能力、そして豊かな人間性を培う教育を実践します。

## ＜研究：拓く尾道市立大学＞

尾道市立大学は、実り豊かな教育には不斷の研究とそれによって培われた基盤が必要であるとの考え方にもとづいて、新しい「知と美」の地平を切り拓く独創的な研究を目指します。

このため、すべての構成員が対等の立場で相互に協調し啓発し合い、異分野間の協働および外部組織との連携を積極的に進めながら、「知と美」の創造へ向けた学術研究を実践します。

## ＜社会貢献：活かす尾道市立大学＞

尾道市立大学は、教育と研究を通して培い拓いた「知と美」の成果を絶えず外部に発信することによって、それらが社会に活かされることを目指し、社会からの信頼と期待に応えていきます。

このため、地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育研究に取り組み、有為な人材を社会に送り出すとともに独創的な研究成果を国内外に向けて発信します。また、国際交流や留学生教育などにより、大学の国際化を積極的に推進します。

## 入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 教育の理念・目的と求める学生像

尾道市立大学の教育は、専門の学芸と幅広い教養を身につけ、知的能力および豊かな人間性を發揮できる人材を育成すること、また、地域社会との連携・交流を重視し、広く地域に開かれた大学として芸術文化の向上と産業の活性化に貢献できる人材を養成することを目的としています。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けることのできる者として、次のような人の入学を受け入れます。

#### [知識・技能] [思考力・判断力・表現力]

- ・学問や芸術を学ぶことを通じて、豊かな心と幅広い視野を持ちたいと願う人

- ・知と美に対する探究心と創造意欲のある人

- ・専門的知識・技能を身につけ、地域社会や国際社会に貢献したい人

#### [主体性・多様性・協働性]

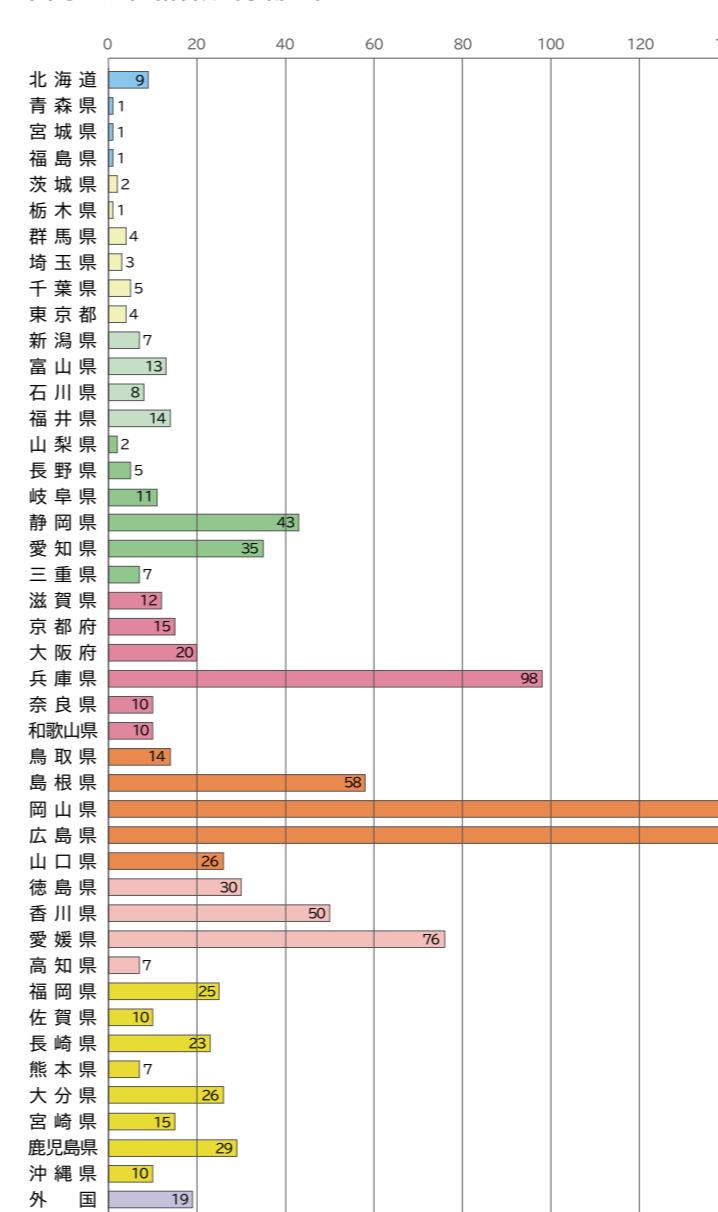
- ・何事にも好奇心をもって積極的に挑戦し、自己の目標に向かって不断の努力をする人

- ・主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ人

各学部・学科では、これらに関連する入学前の能力や適性について、それぞれのディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーをふまえ、多面的・総合的に評価し、入学者の選抜を行います。



## 出身地別在籍者数(学部生)



在籍者数 学部生 1,388人

## 2024年度尾道市立大学入学試験結果

### 学 部

#### ●学校推薦型選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	70	137	137	70
芸術文化学部 日本文学科	15	25	25	16
芸術文化学部 美術学科	12	49	49	13
計	97	211	211	99

#### ●一般選抜 前期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	100	214	197	157
芸術文化学部 日本文学科	30	108	103	39
芸術文化学部 美術学科	23	60	59	25
計	153	382	359	221

#### ●一般選抜 後期日程

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部	経済情報学科 Aコース	15	286	71
	経済情報学科 Bコース	15	207	48
芸術文化学部	合計	30	493	119
	日本文学科	5	159	54
芸術文化学部	美術学科	15	102	60
	計	50	754	233

#### ●私費外国人留学生選抜

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	若干名	9	2	1
芸術文化学部 日本文学科	若干名	3	0	0
芸術文化学部 美術学科	若干名	1	1	1

#### ●第3年次編入学試験

学部・学科	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報学部 経済情報学科	若干名	2	2	1
芸術文化学部 美術学科	若干名	3	3	1

### 大 学 院

研究科・専攻	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
経済情報研究科 経済情報専攻	8	4	4	3
日本文学研究科 日本文学専攻	6	0	0	0
美術研究科 美術専攻	12	18	18	13
計	26	22	22	16

教養教育科目
教養教育科目は、多彩な講師陣、様々なジャンルの講義により幅広い視野と知識が得られるように構成されています。
地域・キャリア系科目
尾道学入門／地域の伝統文化(岡碁)／キャリア形成入門／キャリア形成演習／インターンシップ
人文科学科目
人生の哲学／生命倫理／論理学／東洋思想／心理学入門／日本の文学／文章表現法(学術的文章)／文章表現法(実用的文章)／美術表現入門／美術の歴史と鑑賞／演劇の歴史と鑑賞／文化財学／思考とデザイン／Topics in Language, Culture, and Society／日本文化史(経済情報)／瀬戸内文化論(経済情報)／民俗学I(美術)／民俗学II(美術)／メディアグラフィックス概論(日本文学)／編集とデザイン(日本文学)
社会科学科目
現代社会と人間行動／法学概論／日本国憲法／世界歴史の流れ／日本歴史の流れ／政治学入門／社会思想史／現代の経済学／社会保障入門／社会学入門／メディア論／文化社会学／民法入門／簿記入門(芸術文化)／ファイナンシャル・プランニング(芸術文化)
自然科学科目
教養数学／物理科学入門／地球と宇宙／物質の世界／生物科学入門／科学技術の進歩／情報科学入門／建築環境論／数学の基礎と歴史／情報と倫理(芸術文化)／統計学I(芸術文化)／人間工学概論(経済情報・日本文学)／数理・データサイエンス・AI入門
健康スポーツ科目
健康スポーツ学／健康スポーツ実習I／健康スポーツ実習II／野外スポーツ実習
外国語科目
総合英語I／総合英語II／TOEIC I／TOEIC II／応用英語I／応用英語II／上級英語I／上級英語II／ドイツ語I／ドイツ語II／フランス語I／フランス語II／中国語I／中国語II／日本語I／日本語II／海外語学実践I／海外語学実践II

日本文学科	学部共通科目	芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論					
	日本文学系	日本文学概論	日本文学史Ⅰ(上代)	日本文学史Ⅱ(中古)	日本文学史Ⅲ(中世)	日本文学史Ⅳ(近世)	日本文学史Ⅴ(近代)	日本文学講読Ⅰ(上代)	日本文学講読Ⅱ(中古)	日本文学講読Ⅲ(中世)
		日本文学講読Ⅴ(近現代)	日本文学講読Ⅵ(近現代)	日本文学講義Ⅰ(上代・中世)	日本文学講義Ⅱ(近世)	日本文学講義Ⅲ(近現代)	日本文学講義Ⅳ(近現代)	日本文学特殊講義		日本文学講読Ⅳ(近世)
	日本語学系	日本語学概論	日本語表現法	日本語史	日本語学講義Ⅰ(古典語)	日本語学講義Ⅱ(現代語)	日本語学講義Ⅲ(古典語)	日本語学講義Ⅳ(現代語)		
	中国欧米文学	中国文学概論	中国文学講読	中国文学講義	欧米文学概論	欧米文学講義	比較文学			
	関連科目	日本歴史概説Ⅰ	日本歴史概説Ⅱ	美学	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅱ
		書道Ⅱ	民話研究	民俗学Ⅰ	民俗学Ⅱ	古文書学	文芸創作入門	文芸創作特別演習	情報処理演習	フィールドワーク
	演習・卒論	古典文学基礎演習	近現代文学基礎演習	日本語学基礎演習	中古文学専門演習a	中古文学専門演習b	中世文学専門演習a	中世文学専門演習b	近世文学専門演習a	近世文学専門演習b
		近現代文学専門演習b	近現代文学専門演習Ⅱa	近現代文学専門演習Ⅱb	現代語学専門演習a	現代語学専門演習b	古典語学専門演習a	古典語学専門演習b	中国文学専門演習a	中国文学専門演習b
		欧米文学専門演習b	文芸創作専門演習a	文芸創作専門演習b	国語教育学専門演習a	国語教育学専門演習b	伝承文学専門演習a	伝承文学専門演習b	卒業論文(構想・準備)	卒業論文(制作)
美術学科	学部共通科目	芸術文化論	日本文化史	比較芸術論	瀬戸内文化論					
	専門基幹科目	美学	日本美術史Ⅰ	日本美術史Ⅱ	東洋美術史Ⅰ	東洋美術史Ⅱ	西洋美術史Ⅰ	西洋美術史Ⅱ	デザイン史Ⅰ	デザイン史Ⅱ
		美術解剖学	空間造形論	図法及び製図	金工演習	写真(映像)演習	木工演習	塗装法演習	壁画技法演習	テンペラ画技法演習
	基礎造形科目	デッサン基礎実習	構成実習	彫刻	総合基礎実習					
	日本画	日本画実習Ⅰ	日本画実習Ⅱ	日本画実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作				
専門実習科目	油画	油画実習Ⅰ	油画実習Ⅱ	油画実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作				
	デザイン	デザイン実習Ⅰ	デザイン実習Ⅱ	デザイン実習Ⅲ	古美術研究(演習)	卒業制作				
	関連科目	文化財保存学概論	人間工学概論	情報機能論	書道	古文書学	メディアグラフィックス概論	編集とデザイン	情報処理演習	

## Campus Life



有意義な学生生活のための  
さまざまな支援制度を備えています。

### 奨学金制度

日本学生支援機構および尾道市立大学奨学会等の奨学金制度を設けています。また、民間企業や地方公共団体等による奨学金の案内がありますので、隨時お知らせしています。

#### ●日本学生支援機構奨学金

- ・給付奨学金
- ・第一種奨学金(無利子)
- ・第二種奨学金(有利子)

#### ●尾道市立大学奨学会奨学金

無利子貸与 月額30,000円(若干名)

#### ●尾道市立大学成績優秀学生奨学金

本学における学業成績が特に優秀であると認められた学部生に対して、学修意欲の更なる向上を目的として、年額100,000円を給付する奨学金制度を設けています。

### 授業料減免制度

経済的理由や風水害等の災害を受けたことなどにより、授業料の納付が困難な学業成績が良好な学生に対する経済的支援として、授業料減免制度があります。

### チьюーター制度

指導教員(チьюーター)を中心に経済情報学科では10人程度、日本文学科・美術学科では5人程度のグループをつくり、同級生や先輩・後輩との絆を深めていく制度です。チьюーターはグループの学生の相談相手になり、またグループの学生と一緒にレクリエーションを楽しむこともあります。

### 資格取得支援講座及び資格取得者に対する 奨励金給付制度

公務員受験対策講座、情報技術資格対策講座等の課外講座を開講し、学生の進路支援、就職活動に向けた実力を養成しています。また、独力で資格等を取得した学生に対し、奨励金を給付する制度もあります。

### オフィスアワー

学業その他の相談を受けるため、全教員がそれぞれ日時を決めて、研究室で待機しています。

### 学生相談(カウンセリング)・健康相談

自宅から離れての新しい暮らしや通学環境の変化など日常生活上の悩み、大学での人間関係の悩み、精神面や身体面での心配事について、医務室職員やカウンセラーに相談できます。また、公認心理師／臨床心理士によるカウンセリングを受けることができます。

### 下宿等について

尾道市内には学生向けのワンルームマンション、アパートや寮があります。また、本学の周辺には食事付きの学生寮もあります。これらはすべて民間経営です。希望者には、アパート等の資料をお渡ししています。

### その他

学生または学生で構成する団体が、スポーツ・文化・社会貢献等の各分野の活動において、特にすぐれた成果を挙げた場合、学長からの表彰があります。

経済情報学科2年

**松本 帆華**

私は将来、商業高校の教員になりたいため、本学の経済情報学部を志望しました。本学では経済・経営・情報を幅広く学べ、希望して履修条件などを満たせば高等学校教諭一種免許状2種類(商業・情報)を一緒に取得できます。

入学後に勉強した内容を具体的に書くと、例えば簿記入門では高校から勉強していた日商3級レベルの範囲について学修しました。あるいは情報活用基礎IIでは、ウェブサイト作成の実践について学修しました。このような大人として社会で生きていくために大切な知識を、入学前にざっくりと想像していた通りに、大学で実際にやれているのはいいことだと思います。

本学は「少人数教育」の特色が強く、私も2年次から特別演習を履修しています。この講義では、人工知能を動かしたり経済波及効果の算出をしたりというような、一般的な講義よりも高い専門性を備えた内容に取り組みます。教員との距離も近く、意見を交わしやすい環境なので、理解を深めながら研究を楽しみたいです。

講義のない休み期間は、アルバイトと日商簿記2級の勉強を頑張っています。勉強以外では、私はバドミントン部に所属しているため、好成績を残せるように部活動も頑張っています。

岡山県立笠岡商業高等学校 出身



私たちが普段付いているお小遣帳は、いわゆる単式簿記と呼ばれるものですが、企業の帳簿などについては複式簿記と呼ばれるもので記載されます。また、複数企業の帳簿を比較してどちらが効率的な経営をしているか分析を行う財務諸表分析等も勉強します。

高校生の受講生を想定した模擬授業を行いました。この中では、PPTを作成して講義を進行したり、ウェブ上のプラットフォームを経由した聴講生の意見集約を行ったりと、ICTを最大限活用した実践的な学修をしました。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限		プログラミングI 情報とコンピュータ		簿記入門 教育の方法と技術・教育におけるICT活用	
2限	会計学概論		日本国憲法 ファイナンシャル・プランニング		基礎数学I
3限	教師論 実習	プログラミングI 実習	総合英語II		
4限	キャリア形成 入門	情報活用基礎II		健康スポーツ 実習I	
5限			経済学入門II (マクロ)		

※1年次(2023年度)後期の時間割です。

日本文学科4年

**北村 凜**

私は民俗学ゼミに所属し、日々研究に励んでいます。高校生のころから民俗学に興味があった私は、「本学へ入学したら民俗学を研究したい」という強い意志がありました。ゼミでは、地元徳島県の「祖谷渓の平家落人伝説」を研究テーマとしています。土地に伝承される貴重な情報を聞いたり、写真撮影などのフィールドワークを取り入れたりしながら積極的に調査を行うことで研究も深まり、充実した大学生活を送っています。

コロナ禍という期間を乗り越えて対面での授業や活動が増えたので、様々な人と交流できるようになり多くの友人ができました。一緒に楽しく活動し、共に研究に打ち込めるなどを、今はとても嬉しく思っています。大学では活動の幅も広がり、何かにチャレンジできる機会が増えたため、新しい自分に出会える場所だと改めて感じています。引き続き、挑戦する姿勢、積極的に活動する姿勢は忘れずに日々を過ごしていきたいです。

徳島県立川島高等学校 出身



尾道について、歴史や文化など様々な視点から学べる授業です。学年・学科問わず受講することができ、尾道という街の魅力や特色を知ることができます。

一週間のスケジュール					
時間割	月	火	水	木	金
1限				博物館展示論	尾道学入門
2限	文章表現法入門		中国語I		生物科学入門 博物館情報・メディア論
3限	編集とデザイン	日本文学講読III			伝承文学専門演習a
4限	日本語史				
5限			日本文学史II		

※2年次(2022年度)前期の時間割です。

授業内での発表を通して、さらに伝承文学の知識を深める演習授業です。この授業で学んだ資料の作成方法、発表の進め方等がゼミでの研究発表にも活きていると感じています。

●授業のある平日は、空きコマに課題や自習をして過ごしています。また、3年生になってから大学の図書館でアルバイトを始めました。シフトが入っている場合は、授業後に図書館に向かっています。休日は公務員講座に出席したり、買い物に出かけたりしています。時間や予定が空いているときは、気分転換によく商店街で散歩をします。

美術学科4年

## 和泉 優子

私は日本画を学ぶ場として尾道の美しくのどかな環境に魅力を感じ、本学への入学を決めました。アトリエではのびのびと作品制作に取り組むことのできる環境が整っています。実習では個性豊かな学友たちに日々新鮮な刺激をもらっており、制作に難航している際には先生方から助言を頂くこともあります。自然に囲まれ落ち着いた環境下で自身の作品と向き合い、見つめ直しながら作業ができることには非常に満足しています。

専門科目では、本学や外部から来られた講師の方々から、様々な素材や技法について学ぶことができるため、専攻する科目以外の知識や画材・素材の幅を広げることができます。また実習時とは違い、学年・専攻問わず様々な学生が集まり作品制作を行うため、新たな発見や気付きを得ることができます。

尾道には美術館やギャラリーが多くあります。私自身も休日や空きコマには展覧会に足を運んだり、友人たちとのグループ展の機会を設けたりと、貴重な経験をすることができました。こういった芸術に関する展示やイベントを目にする機会が多いのは、尾道が芸術との関りが深い町だからだと感じています。そのような町や大学、そして人に囲まれた環境下で学生生活を過ごすことができ、嬉しく思います。

演習系の授業では、作業環境が整った工房での作品制作を中心に、外部講師を招いての実習も行われます。

● 実習だけでは不足する制作の時間を、空きコマや自由時間で補っています。

		一週間のスケジュール				
時間割	月	火	水	木	金	
1限		塗装法演習	写真(映像)演習	尾道学入門		
2限		塗装法演習	写真(映像)演習		瀬戸内文化論	
3限	民俗学I					
4限						実習
5限						

● 美術学科は火水木金の午後が実習の時間になっています。

浜松学芸高等学校 出身



● サークル活動ではひかりアート研究部に所属しています。尾道のイベントの一つであり、ぼんぼりの灯りを楽しむことのできる「尾道灯りまつり」に携わることができます。祭りの準備から当日の運営まで大変ですが、地域の方々との交流やぼんぼりの暖かな灯りに癒されます。

● 休日は友人と共に尾道商店街や展覧会を周ったり、自宅で趣味を楽しんだりすることが多いです。また尾道駅前では定期的にフリーマーケットなどのイベント事が行われるので、年間通して様々な尾道の街の様子を楽しむことができます。

※3年次(2023年度)前期の時間割です。



オヤマノカフェ(学生食堂)



オヤマノ定食(大) 唐揚げランチBOX  
唐揚げカレー ロコモコ丼



ニューヤマザキデイリーストア



ウエダ画房

尾道市立大学にはさまざまなクラブ、サークルや同好会があり、文化系からスポーツ系まで幅広いジャンルが存在します。



### クラブ・サークル、同好会一覧表

<b>●部活動</b>	アウトドア部 硬式テニス部 硬式野球部 サイクリング部 サッカー部	セパタクロ一部 ソフトテニス部 卓球部 ダンス部 軟式野球部	バスケットボール部（女子） バスケットボール部（男子） バレーボール部（女子） バレーボール部（男子） バドミントン部	ハンドボール部 女子フットサル部 陸上競技部
<b>●文化系</b>	学友会執行委員会 翠郷祭実行委員会	アカペラ部 裏千家茶道部	映画研究部 演劇部	軽音楽部 ゴミ部



<b>●同好会</b>	写真部 吹奏楽部	推理小説研究部 陶芸部	ひかりアート研究部 美術史研究会	文芸部 ラテン部
	朝活同好会 おの 100 同好会 考えるカラス団 333 同好会 芸術文化研究会	シーズンスポーツ同好会 シグマソサエティ同好会 天体観測同好会 ドローン同好会	ねこ同好会 平成文藝談話会 ボクシング同好会	漫画研究同好会 モルック同好会 e スポーツ同好会

## 経済情報学科

経済・経営・情報をマルチに学び、  
自分の可能性を目覚めさせる。



Economics, Management & Information Science



経済情報学部長  
有吉 勇介

高校までの学びは、既に正解が分かっている問題を速く正確に解くことに焦点が当てられていました。しかし、大学卒業後の社会では、正解が見つかっていない問題が無数にあふれています。例えば、新型コロナウイルス、地球温暖化、ウクライナの戦争、先進国の人口減少、発展途上国の食料問題など、挙げればきりがありません。これらの問題は国境を越えた協力なしには解決できず、簡単な正解は存在しません。また、身近に目を向けると、例えば会社で新製品開発を任せられたとすると、どんな商品が市場で受け入れられるかという問題に正解はありません。成功する新製品を生み出すことは容易ではありません。このように社会では、正解のない課題に対し、長期間にわたって深く考え、試行錯誤し、創造的な解決策を模索することが求められます。

では、大学で皆さんは何を学ぶべきでしょうか。それは、卒業後に社会で求められる正解のない問題への向き合い方、その対応力です。長期間にわたり深く考え、他者の意見を聞き、解決策を見つけ出す能力が、大学で学ぶべきスキルになります。そのためには、疑問を持ち続け、教科書の内容に対しても、その理由・根拠の妥当性、他の見方はないかと深く掘り下げて考えることが重要です。大学のゼミや講義では、様々な質問や意見が交わされるのが普通です。どんどん質問し、自分の思考を広げてください。

経済情報学部では、経済、経営、情報技術の3つのコ

スを提供しており、異なる分野のそれぞれの専門家である教員から直接学べることは、この学部の大きな魅力です。これらの3分野、つまりマーケット、ビジネス・マネジメント、ITについての広範な知識と理解を深め、基礎から応用までの幅広い視点を育てます。のために、まず1年目・2年目で各分野の基礎を固めた後、3年目からは専門分野を選択して深く学んでいきます。3年目からのゼミでは、自分で見つけたテーマについて、資料収集を行い、独自の着眼点で分析し、他人に理解してもらえるような論理的な文章にして卒業論文を完成させます。この過程を通じて、正解のない問題に対する解決策を広い視野から論理的に考え、伝える練習をすることで、社会で直面する様々な問題に対する解決策を論理的に考え、伝える力を養います。

大学での学びは、単に知識を暗記するのではなく、深く考える力を養うことに重点を置いて下さい。本学部での学びを通じて、皆さんなら今日の複雑で多様な世界でのどんな挑戦にも立ち向かえる力を身につけることができると信じています。皆さん的情熱と意欲が、新しい知識と成長の基礎となることを楽しみにしています。



学科紹介動画はこちら

## 経済情報学科の入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

### 教育の理念・目的と求める学生像

経済情報学科は、経済、経営、そして情報の3分野を併せて学ぶことを特長としています。基礎的理論と実践的・応用的知識を兼ね備え、主体性をもって自ら問題を設定し解決することで、現代社会のニーズに応えられる人材、社会貢献や地域貢献ができる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、経済情報学科は次のような人を求めています。

- ・日常生活の経済現象に関する基礎的な考え方や理論を理解し、各種資料や経済統計を活用して実際の経済を分析し、経済問題を世界的観点から考えて責任ある選択・意思決定ができるようになりたい人
- ・経済社会を支える企業活動の現実を直視し、企業経営に関する理論や分析手法を幅広く学んだうえで、その成果を組織の仕組みの改善に活かしたい人
- ・現代社会の基盤となっている情報システムやネットワークの基本原理を学び、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に意欲のある人

### 入学後の学びに必要な能力や適性等

経済情報学科の教育課程に適応するために必要な入学時の能力や適性等は、以下の通りです。

#### (知識・技能)

- ①人間・社会・自然に対する深い理解、経済・経営・情報3分野の基礎的な知識の修得につながる「高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の基礎的な知識・技能」
- ②問題分析力・解決力・情報収集力やコミュニケーション力につながる

②-a.「高等学校等で学ぶ国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語の基礎的な知識・技能をふまえた思考力・判断力」

②-b.「数学的思考力」または「英語の読解力と表現力」

②-c.「専門分野(経済・経営・情報)に関する文章の読解力と自らの考えを論理的にまとめる表現力」

#### (主体性・多様性・協働性)

- ③実社会における実践や問題解決力につながる「責任ある選択・意思決定、組織の仕組みの改善、社会問題の解決や日常生活の利便性の向上に向けて行動しようとする意欲」

経済情報学科の雰囲気を一部紹介します。

学生主体の学修環境、少人数を強みにしたユニークなゼミ、

勉学の成果を凝縮した研究発表。

4年間を通してゆたかな時間が流れていきます。



大学は自然に囲まれています



各学生が自主的に勉強できる環境です



3年次以降のゼミでは、卒業論文の執筆に向けて、専門的な内容を学修したり、討論したり、あるいは現場見学に行ったりもします



様々な専門分野を持つ教員が  
研究室で皆様をお待ちしています(23~39 ページ)



経済学では、財、サービス、労働、資本、貨幣などが市場を通じて社会の中を循環する様子（経済循環）を、理論とデータの両面から説明する技術を学びます。経済学には、家計や企業などの行動を分析するミクロ的視点と、経済全体での出来事を分析するマクロ的視点のふたつがあります。

このような視点を軸として金融論、財政学、国際経済学などを履修することによって、私たちの生活にかかわる諸問題を把握・分析するための問題発見能力と企画分析能力を磨くことが出来ます。これらは、ビジネスパーソン・公務員を含めたどのキャリアにおいても、重要性が近年特に増しています。

大学生も、数年後には自分たちが経済社会を運営する立場になります。そのために経済コースでは、規制緩和や年金といった制度・政策、日本と世界の経済史、国際貿易などの世界情勢などについての理解を深めることを目指します。さらに、経済問題を客観的に検証するためには経済データを統計的に分析することが必要であるため、情報処理に関するトレーニングも行います。

経済の論理と技術のみならず、倫理を身に付け、世界や国といった全体を見渡すとともに、経済主体として家計や会社を経営する能力を身に付けたグローバルな人材を育成します。

#### 想定される進路

- 1.行政機関におけるICTを活用した企画、政策の立案、実行
- 2.企業、行政機関における情報活用システムの企画、事務、営業
- 3.金融機関における業務



#### マクロ経済学

経済コース長・教授  
**井本 伸**

マクロ経済学とは、国や地域全体の経済を分析対象とする研究分野です。経済では全体（マクロ）と個人（ミクロ）を分けて考えます。なぜなら経済問題には「個人ではどうしようもない問題」や「個人としては正しくても、全体としては良くない行動」があるからです。例えば、不景気という経済問題は個人ではどうしようもありません。そして、不景気に節約するという行動は個人としては正しいのですが、経済全体としては物が売れなくなってしまうため良くありません。したがって、個人がどのように行動すべきかだけを考えていっては経済全体の問題を解決することはできません。そこでマクロ経済学では、政府が経済全体に対してどのように行動すれば良いのかを考えます。



#### 公共経済学

経済コース・教授  
**荒井 貴史**

政府による消費者や生産者に対する課税や補助金が、資源配分にどのような影響を与えるのか。価格や取引に対する規制が、社会厚生にどのような影響を与えるのか。政府の市場経済での役割はどのようなもので、その役割の理論的根拠は何か。公共財、外部性、不完全競争、情報の非対称性など、厚生経済学の第1基本定理（完全競争市場における均衡配分はパレート効率的である）の前提が損なわれている「市場の失敗」のケースを公共経済学は理論的に分析します。





## 金融マクロ理論

経済コース・教授  
**河野 洋**

金融システムの在り方について理論的に研究しています。特に、金融仲介機関と市場のどちらが金融システムをより効率的かつ安定的に機能させるかに 관심を持っています。又、情報、金融ネットワーク、政府規制等がマクロ経済に及ぼす影響についても興味を持っています。3・4年生のゼミでは、日本の金融制度や金融政策について基礎知識を確立し、日本の中長期的経済問題に対してどのような対策が必要であるかを議論しています。



## 応用ミクロ計量経済学

経済コース・教授  
**堀江 進也**

被災者の生活再建、災害の復興資源の配分について研究しています。被災人口が莫大であったとき、被災地域が非常に広範囲にわたる場合、誰から・どこから優先的に支援すべき・復興すべきでしょうか。人の人生を左右する問題ですので、経済学の理解と応用には正確さを求められます。また、「現場」を知ることも重要です。このバランスを持つつ、自分が社会で重要なひとりであることを認識した人材を育成したいです。



## 社会思想史、経済学史

経済コース・教授  
**林 直樹**

思想史と格闘し続けてきました。人同士の繋がりを辿る中で過去の思想=アイデアの相関を探り当て、アイデア自体をより深く理解することを目指しています。例えば、確率論的統計学で著名なペイズが約3百年前に活躍した人で、経済学の祖ヒュームやアダム・スミス、あるいはベンジャミン・フランクリンと非常に近い人間関係の中にいたと知れば、ワクワクしてきませんか。思想をつかむことは同時に著作=テキストを解析することです。テキストマイニングという、将来性に満ちてはいても取り扱い注意な技術に活を入れることも、最近の関心事です。



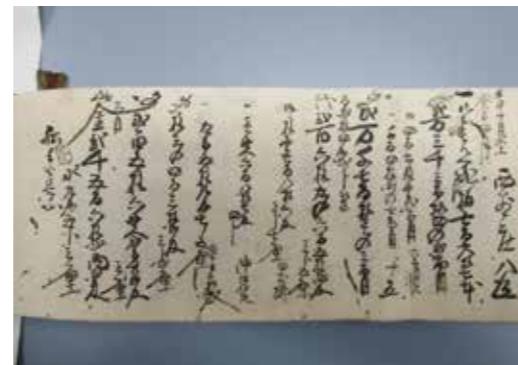
主要専門科目 講義風景  
マクロ経済学I  
(フロー、ストックの概念をはじめとした「広い」経済学の基盤)



## 日本近世・近代の流通経済史

経済コース・教授  
**森本 幾子**

研究室では、地域経済の歴史について学ぶことを主軸に据えています。毎年、尾道・宮島・鞆浦など身近な瀬戸内の港へ実際に足を運び、フィールドワークを行うことによって、その歴史的経緯や特徴について理解を深めています。また、手習い本をはじめ当時の仕切状や帳簿などの古文書の解読を通して、日本近世・近代の商取引の特質を学び、現代と比較しながら考察しています。



「明治二年肥物仕切帳」(徳島大学附属図書館所蔵山西家文書)より



## 環境経済学

経済コース・准教授  
**岡本 隼輔**

岡本研究室では環境経済学を軸に研究に取り組んでいます。この分野では廃棄物問題や地球温暖化問題について、経済学の視点を交えて定量的に捉えています。例えば、製品を作る際に素材の採掘や加工、流通などあらゆる段階で環境負荷が発生しますが、それら全てを考慮して計測していくライフサイクルアセスメントの概念もその1つです。また、ワークショップや工場・現場見学なども実施することで、机上の学修と現実社会とを結びつけながら問題解決能力を養っていきます。



## 金融論

経済コース・准教授  
**神崎 稔章**

金融の世界は、多くの進歩と制約を経て、現在に至っています。証券化やデリバティブ等の金融革新がもたらす資金の集中や規制のバランスは重要です。ゼミナールでは、自らが主体的に議論できるスタートにたてるにはどうすればよいのかを、経済学と関連付けて進めます。1冊のテキストのみを鵜呑みにせず、社会の在りように疑問を持った方が出てくることを期待します。従って、ディベート大会や学外での経験もゼミナールの特徴です。



## 社会保障、社会政策

経済コース・准教授  
**佐藤 沙織**

人々の生活を支える手段は様々にありますが、戦後日本ではとりわけ医療がその中核を担ってきました。そこで「なぜ日本では医療に偏重して支える仕組みが発展したのか」という課題の究明から、医療だけに偏らないこれからの社会の支え合いの仕組みを展望することを目指しています。

ゼミナールでは、毎年、医療や福祉の現場で調査合宿を実施しています。わからないことを良く知っている人に「聞く」ことで、社会を「知る」楽しさを実感できる機会を提供しています。



吉和地区的住民との交流



卒論報告会



## 財政学

経済コース・講師

**栗田 広暁**

財政学とは、政府や公共部門の経済活動である財政を分析対象とする学問です。分析のツールとして経済学を用います。政府は、公共サービスの提供、補助金や課税などを通じて、民間(私たち)の経済活動に介入する存在です。しかし、そもそも、政府はいつ、どのように民間(私たち)の経済活動に介入すべきなのしょうか。また、政府の介入は、経済にどのような影響を与えるのでしょうか。現実社会での政府の介入は、なぜ現状のようになっているのでしょうか。財政学はこういった問いに答えをもたらしてくれます。財政学を学びながら、一緒に考えていきましょう。



主要専門科目 講義風景  
経済学入門Ⅰ（ミクロ）  
(最適な資源配分や消費者行動に触れる「小さい」経済学の基盤)

経営学は、人、もの、マネー、情報などの経営資源を活用し、市場ニーズに応じて良質な製品とサービスを消費者へ経済的に提供するための企業組織経営の学問領域です。この専門領域を内容とする当経営コースは、経営学の基本とする経営戦略、経営組織、マーケティングの理論と方法論及び経営分析、財務・税務管理、現場管理の実務、そして経営学の歴史的展開を体系的に学修し、将来には企業組織の事業あるいは行政組織のプロジェクトの推進を担うことができる人材育成を目指します。

上述の目標を達成するために、経営コース中心の専門分野教育を特化し、必修科目及び選択必修科目を再編成しています。このコース所属の学生は、マーケティング戦略と経営組織の理論を主とする諸経営科目を縦断的に、経済学や情報科学などの科目を横断的に学修することによって、経営の基本的な知識と技法を的確に理解できる能力を持ち、仕事を効率的に進めるための幅広い知識とスキルを身につけて、経営の視点からビジネス上の諸問題を整理・分析・解決できる人材となることが期待されています。

### 想定される進路

- 1.企業マネジメント全般への参画
- 2.企業における経営情報を活用した経営組織の在り方や  
経営戦略の立案、実行
- 3.企業における経営情報システムの立案、実行





## 会計史、簿記、財務会計

経営コース長・教授  
**津村 怜花**

複式簿記は13～14世紀のイタリアで誕生し、世界各国に伝播しました。日本にも明治初期に「輸入」されます。なぜ複式簿記は各国に伝播し得たのでしょうか?このような疑問を探究することで、会計史は現在や未来の会計の問題等を考えるうえでの視点を提供とともに、歴史を解き明かす、魅力ある研究分野です。

右の書籍・論文から、会計史の知識や会計史研究の魅力を知つていただけますと幸いです。



## ドイツと日本の経営学説、企業倫理の理論と実践ほか

経営コース・教授  
**西村 剛**

ゼミのテーマは「ワーク・ライフ・バランス(Work Life Balance)の理論的・実践的研究」です。「仕事と生活の調和」について学んでいきます。現在「働き方改革」が注目されるなかで、日本の雇用慣行は徐々に変化しつつも依然として労働者に過酷な労働条件を突きつけています。例えば長時間労働、過労死・過労自殺、正規-非正規労働者の待遇格差など。こうした過酷な労働条件のもとで労働者はどのように企業と関わり、どう対応していくべきかを探つていきます。



## 天文学、宇宙物理学

経営コース・教授  
**川口 俊宏**

ブラックホールが宇宙の歴史に果たした役割を研究しており、天文・宇宙・物理に関する授業などを担当しています。本校での唯一の自然科学分野の教員として、論理的思考力を鍛える教育を目指しています。天文・宇宙の授業を専門家が担当しているのは公立・私立大学の約1割です。天文部で活動していたり、宇宙に興味を持っている高校生が大学生になった時に、一緒に学んでいたら嬉しいです。



## 健康・スポーツ

経営コース・教授  
**藤巖 秀樹**

教養教育の健康スポーツ科目を担当しています。健康スポーツ科目は、「健康スポーツ学」(講義)、「健康スポーツ実習Ⅰ」、「健康スポーツ実習Ⅱ」、「野外スポーツ実習」からなっています。身体運動やスポーツを媒介に、生活の基本である健康・体力に関する正しい知識と、健康づくりの具体的方法に関する知識や実践能力の獲得をめざしています。





租稅法

経営コース・教授  
前田 謙二

税金は公共サービスを提供するためなどに必要であり、国会で決められた法律(税法)に基づいて納められます。人間は生きていくために日々様々な取引を行っていますが、すべての取引が税法と関わっています。税法を知らないために損をすることもあります。では、税法にはどのようなルール(概念・条文・判例)があり、どのような問題があるのでしょうか? 税法の研究とはそれらの問題解決や経済の変化に応じ税法はどのようにあるべきかを考えるものです。



基本的人權、憲法

経営コース・准教授  
溝淵 裕

教養教育科目の法学概論、日本国憲法を担当しています。日本国憲法99条は、天皇と公務員に憲法尊重擁護義務を課しています。平成天皇は、憲法の定める国事に関する行為のみを行う(4条1項)だけではなく、「国民統合の象徴」として、戦死者を慰霊し、被災者を慰問することが、憲法を尊重することになるとを考えました。同姓婚の届出を受けた戸籍係、訴訟を受けた裁判官も、婚姻を文字通り「両性の合意のみ」に基づく(憲法24条1項)として請求を退けることが憲法を尊重することになるのか、それとも家族の在り方の変化に対応するところが憲法を尊重することになるのか真剣に考えることが求められていると思います。このような問題について、皆さんと一緒に考えて行きたいと思っています。



会社法

経営コース・准教授  
王 佳子

企業の中で最も多いのが「会社」ですが、アメリカのシカゴ学派は、会社を、「契約の束」と定義しています。この考え方は、会社が無数の契約を通して、組織を形成し、さまざまな取引活動を展開しているという実態をよく捉えています。それでは、会社は、契約を結ぶことでどのような権利を有し義務を負うことになり、その権利を実現するためにはどのような手段を探ることができ、義務を履行しない際に誰がどのような責任を負うことになるのでしょうか。

本研究室は、具体的な事例をもとに、こういった問題について検討をしています。



国際経営

経営コース・講師

企業の活動は国内にとどまらず海外にも展開しています。近年、海外市場での売上高が国内市场を上回るようになった企業も数多くあります。海外市场では文化・環境・制度など国内と状況が大きく異なるため、企業は予想もしなかった困難に直面することがあります。その反面、海外の顧客に好まれる商品やサービスを提供し、大きな成長をとげた例もあります。本研究室ではこのような国際経営特有の課題について研究しています。皆さんと一緒に広い視野をもつて企業の抱える問題を考え、議論していきたいです。





## マーケティング、消費者行動

経営コース・講師  
渡邊 久晃

専門はマーケティングで、なかでも消費者の購買・消費・処分にまつわる意思決定について研究する消費者行動と呼ばれる領域に関心があります。私たち消費者は普段、製品やサービスを購買するとき、常に経済合理性を意識しているわけではなく、何気なく購買することのほうが多いと思います。そうした意思決定では認知や感情、感覚といった様々な心理的要因が影響しています。本研究室では、消費者行動の背後にある心理的メカニズムについて研究することで、マーケティング的な諸課題に対して示唆や含意を提供することを目指します。



情報コースでは、現代社会の基盤となっている情報技術の基本原理を中心に学び、学修事項をデータサイエンスの基礎、経済学、経営学と関連づけてより深めます。情報技術に裏付けられたデータ分析能力や課題解決能力を身につけ、情報システムの設計から運用までを担当できる社会で広く活躍できる人材を育成します。

日本の社会では、マーケット(経済)とビジネス(経営)が分かれ、データサイエンスの基礎を身につけたICT技術者やコンサルタントが不足しています。例えば、ユーザ企業の置かれている市場や経営の特徴を数理的に分析し、ユーザ企業の弱みを補強し強みをさらに強化するICTソリューションを提案し、自社の経営戦略に基づいてICT戦略を立案し、それを実現する情報システムを設計したりする人材です。このようなことは工学系の情報学科を出たICT技術者には難しく、情報科学に加えて経済学や経営学も学ぶ本学科の情報コース卒業生が活躍できる場だと思います。

将来このような仕事に就く人材の育成を目指して、情報コースのカリキュラムは設計されています。情報関連科目は大きく3種類に分けられます。1つ目はコンピュータを用いて情報を適切に処理する能力を養う科目です。レポートや卒業研究など大学での学修・研究活動や、卒業後に社会における様々な活動において必要となる知識とスキルを修得するための科目です。「情報活用基礎」「情報とコンピュータ」「統計学」などの科目があります。2つ目は情報分野のより専門的な科目です。プログラミング言語によるソフトウェア開発、ネットワークの仕組みや特徴、情報システムの設計方法など、情報科学の様々な分野を学修します。データサイエンスに関連して、ビッグデータの活用や人工知能の応用なども学修します。「プログラミング」「ネットワーク科学」「情報システム設計」「機械学習と人工知能」などの科目があります。3つ目は経済分野、経営分野と情報分野が重なる領域の科目です。異なる学問分野が交差することで生まれた新しい学問を学びます。「ビジネスとデータサイエンス」「経済情報論」「経営情報論」などの科目があります。

### 想定される進路

1. 情報関連の企業・組織における次世代のシステム・サービス・技術の研究開発
2. 企業・組織の経営戦略に基づいた、最新技術を活用したICT戦略の提案・策定とその実現の推進
3. 企業・組織におけるICT戦略実現のための最適な情報システムの企画・設計・開発・運用の指揮





## 情報ネットワーク、機械学習

情報コース長・教授  
**本田 治**

ゼミでは情報ネットワークを主なテーマとしていますが、学生の研究テーマとしては加えて機械学習もテーマとしています。情報ネットワークの研究では、ネットワーク上で効率良く通信をしたい、通信の品質を制御したい、などの要求をどのようにすれば実現できるのかについて扱っています。機械学習の研究では、機械学習を利用して様々なデータを分析したり、機械学習の出力の多様性などを扱っています。



## 情報システム設計ほか

情報コース・教授  
**有吉 勇介**

情報システム設計とは、ユーザの「こんな情報システムが欲しい」という要望を分析整理して、仕様書と呼ばれるソフトウェアの設計図にまとめ上げるまでの一連の作業のことです。最近の日本では、仕様書は日本人が作り、プログラミングはインドやベトナムなどで行う国際分業が多くなってきています。その結果、日本のIT系企業ではプログラマよりも、仕様書づくりに関わる人が増えてきています。そのため情報系の大学ではプログラミングと同じぐらいに情報システム設計の勉強が重要になってきています。



## 観光の支援に役立つデータベース連携型Webシステムの開発

情報コース・教授  
**高山 毅**

Covid-19は、観光業界にも膨大な被害をもたらしました。本ゼミでは、ITや観光情報学の立場から、観光の復興およびそこに留まらずに更なる振興を、観光者側または観光事業者側で支援し得るシステムの開発を行ないます。また、世界の潮流を見据え、「SDGs(持続可能な開発目標)を考慮した観光支援システム」「観光DX(デジタル・トランスフォーメーション)」にも取り組みます。

基盤技術としては、「Webアプリの開発手法」、および「データベースと連携できるシステムを開発するノウハウ」を習得します。IT関連の進路を選択肢にできるように、授業やゼミで力を貯め、社会で実際に役立ち得るシステムを開発します。



## 数学教育、情報教育

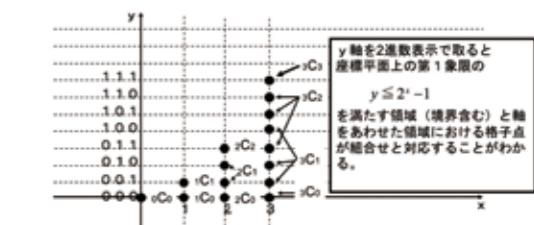
情報コース・教授  
**南郷 毅**

私の研究室では、学習指導要領や教育に関する社会的背景を理解した上で、教育に関する諸問題を様々な角度から検討します。例えば、「教科間の関連を図る指導が重要である」という命題に対して、「数学と情報の学習事項を関連させた教材」を開発したりします。図で示しているのは、情報で学ぶ「情報のデジタル表現」を活用し、数学で学ぶ「組合せ」を解釈した教材の一部です。2進数を活用し、組合せを座標平面上で表現しています。

最近は、IT企業でも教育関連の案件で教育への理解が求められるようですが、教育のわかるIT技術者になってみませんか？

### 2進数表示を活用した組合せの解釈

#### ■ 座標平面上に表現された組合せ

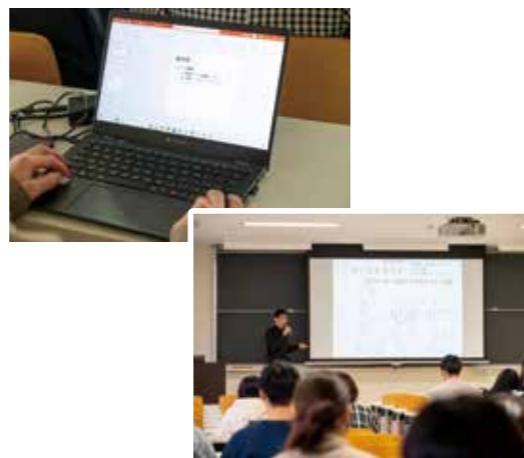




## ビッグデータ、人工知能

情報コース・准教授  
**木村 文則**

文章（テキスト）を中心とした「ビッグデータ」の分析が主な研究テーマです。最近注目されている「人工知能」にも取り組んでおり、テキストだけでなく画像も対象にしています。また、通常のゼミとは別に「人工知能勉強会」を開催し、関心のある学生がゼミの垣根を超えて集まり、協力しながら学んでいます。新しい技術についても積極的に学び、社会で活躍できる力を蓄えてもらいたいと思っています。



## 解析的整数論

情報コース・准教授  
**宮川 貴史**

解析的整数論という分野の多重ゼータ関数について研究しています。ゼータ関数とは、素数の背景にある関数で

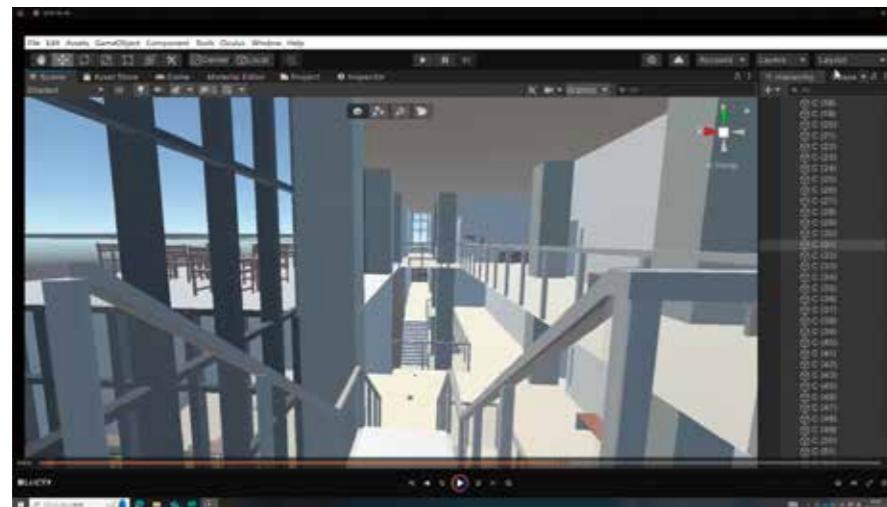
$$\zeta(s) = \sum_{n=1}^{\infty} \frac{1}{n^s} = 1 + \frac{1}{2^s} + \frac{1}{3^s} + \dots \quad (\operatorname{Re}(s) > 1)$$

という形をしています。1と自身でしか割り切れない自然数を素数と呼んでいますが、素数の列  $2, 3, 5, 7, 11, 13, 17, 19, \dots$  は未だ規則性が解明されず、関連としてリーマン予想という最大の未解決問題が残されています。

リーマン予想（懸賞金 100 万ドル）

$$\zeta(s) = 0 \quad (0 < \operatorname{Re}(s) < 1) \text{ ならば } \operatorname{Re}(s) = \frac{1}{2} \text{ である (?)}$$

この予想解決に向けた試みによりゼータ関数の理論は大きく発展し、そこで新たに生まれた多重ゼータ関数の理論が注目されています。



情報コース 講義風景  
専門演習Ⅱb（本田ゼミ）  
(仮想空間における尾道市立大学施設の構築)



## 2023年度卒業論文(各ゼミナールの代表論文)

- 介護人材の確保に向けて
- 重加算税の賦課における妥当性の検討－隠ぺい仮装行為を行なう者(役員・従業員)の属性に着目して-
- 機械学習を用いた人気賃貸物件の特徴分析
- インターネット上の誹謗中傷の現状
- キャッシュレス決済の実態と利用率向上のための提案
- 太田川水系と広島市のまちづくり－広島市内のフィールドワークを通して-
- ペットが家畜から家族の一員になることで日本の経済がどれだけ潤つているかについての定量的な分析
- 西条酒蔵通りにおける地域の若者による活性化の考察
- プロ野球選手の複数年契約と成績の関係について
- 高周波数帯に着目した騒音除去による音声復元
- 高周波数帯に着目した騒音除去による音声復元
- マンガ出版社の海外制作における優位性
- 宅配大手3社の財務諸表分析
- KU Coder を用いた予習方法の提案
- 投資信託の課題と将来性
- 日本におけるeスポーツの発展
- 欧文直訳表現に着目した古文への機械翻訳精度を向上させる手法の提案



すべての  
卒業論文タイトルは  
こちら



## 経済コース卒論発表 「介護人材の確保に向けて」

荒井ゼミ 串田 洋樹

本論文では、現在社会的に話題になっている介護人材の確保について考察しました。日本では、2024年に団塊世代の人々が75歳以上、即ち後期高齢者となります。後期高齢者になると介護が必要となる可能性が高まるため、日本は正に「大介護時代」を迎えつつあります。この介護需要が拡大していく中で介護人材の不足が問題となり、どのようにしてそうした人材を確保していくのかといった政策が必要となっています。そこで、介護人材の確保に向けた政府と民間それぞれの取り組みについて検討しました。

また介護業界では、巨大資本を持つ企業による介護事業者の合併・買収が進んでいます。こうした業界を牽引する企業間の競争が激化しており、介護人材の獲得に向けた独自の取り組みを行っている事例もあり、そうした事例について紹介しました。今後、大手介護事業者によって経営や業務の効率化がなされ、人材の確保が進展する可能性があることがさまざまな取り組みから明らかになりました。



## 経営コース卒論発表 「左利き用製品の研究」

小川ゼミ 川上 凜佳

本研究の目的は、左利き製品の需要を考察し、その後今後の市場の展望を究明することでした。まず、左利きの人口の割合の増加に着目し、本学学生へのアンケート調査等を実施し、調査を基礎に考察しました。左利きの割合は1割といわれていましたが、現在その割合は増加傾向にあることが分かりました。増加した理由は、矯正効果が見られないこと、差別意識がなくなったこと、多様性の考え方方が広まったことが要因であると考えられます。アンケート結果から(1)左利き製品の需要が高いこと、(2)ニーズが今後も維持されること等が分かり、左利き製品の市場を拡大させるためには、①ユニバーサルデザインの定義に左利きの性質を含めた商品開発、②消費者側からは左利きの人が実感していない「不便さ」を左利きのコミュニティ等が代弁し、そうした声を届けるシステムの構築、③声を受け入れる生産者側の体制構築が必要であることが究明されました。



## 情報コース卒論発表 「欧文直訳表現に着目した古文への機械翻訳精度を向上させる手法の提案」

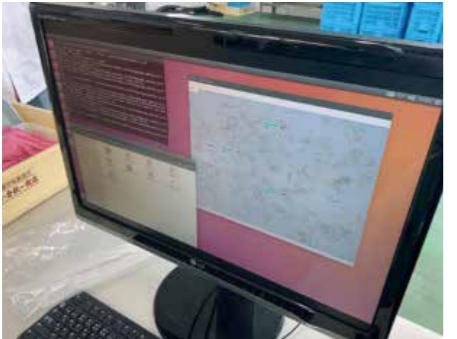
本田ゼミ 神出 伊吹

本研究の目標は、現代文から古文への翻訳精度を向上させることです。この目標を実現させるためのアイデアとして(1)欧文直訳表現を含む現代文の検出、(2)欧文直訳表現を別の表現に変換して翻訳、の2つがあります。本研究では、①欧文直訳表現検出機能、②文章の言い換え機能、③翻訳機能といった機能が存在しており、このうち、②文章の言い換え機能と③翻訳機能は既存のものを使用し、①欧文直訳表現検出機能を実現するために、ナイーブベイズとBERTを実験し、性能を比較しました。その結果は、BERTを使用した場合の性能の方がナイーブベイズを使用した場合より高くなりました。

今後の課題として学習データ数の増加と翻訳精度が向上したのか定量的に評価することが挙げられます。



## 地域貢献



経済情報学部では、経済・経営・情報のそれぞれの分野で、地域に寄り添う教育研究活動に取り組んでいます。

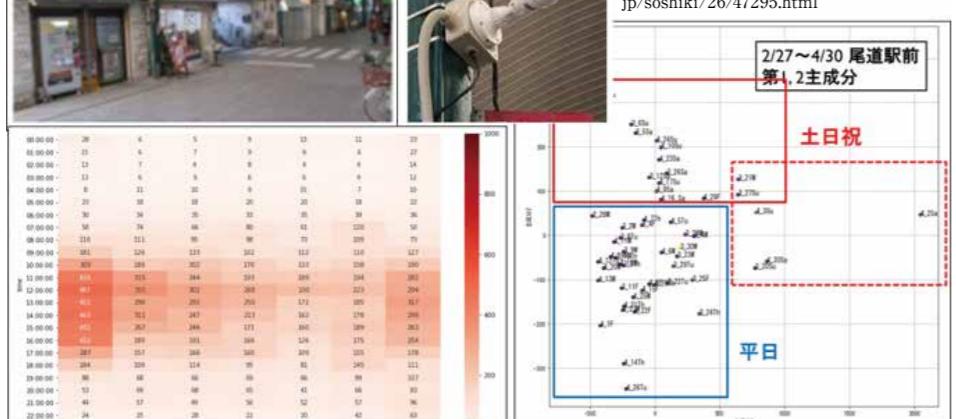
例年、商店街との連携企画や市民講座等、多彩な活動が見られます。本学科の特長を生かしつつ、データと想像力と現場への関心力を駆使して町の振興を考えることもできます。



木村・本田研究室受託研究 「AIを用いた水産塩干物 製造における異物選別」



AIカメラの導入による  
尾道商店街の人流調査  
<https://www.city.onomichi.hiroshima.jp/soshiki/26/47295.html>



日本研究  
芸術文化部  
創作学科  
著作





日本文学科長  
灰谷 謙二

世界が複雑多様で目まぐるしく変わる状況のなかで、課題を解決し対応できる力が問われるようになりました。ビジネスの世界でのコンピテンシー(資質・能力)は優れたパフォーマンスを示す行動傾向としてモデル化が重要視されるようになった概念ですが、教育の世界では、【知識・技能】・【思考力・判断力・表現力】・【主体性、学びに向かう力や態度、人間性】といったかたちで整理され、新しい学力観として示され運用されています。この3つの分野は人間の力のあらゆる面にかかる力ですが、それを成り立たせる基盤になる、それが求められる典型的で基本的なものが言語運用能力だというのは間違いないでしょう。

その芸術的表現としての文学も含めた言語活動は、物理的な身体運動、語彙や文法、文化的背景のような、社会基盤・ツールとしての知識・技能にかかる面と、それをもつて論理的な思考、表現と理解をおこなうという汎用的な運用能力が必要です。しかし、その大前提になり、言語活動を成り立たせるものは、自分をとりまく相手と社会に関わり切り結ぼうとする意欲だといえます。ことばで表現することは、多様な価値観、異質なものを受け容れしていく主体的な態度なしには成り立ちません。文学という言語芸術も、それを成り立たせる言語そのものも、本来このような総合的な能力・資質を必要とします。そしてそれは、基本的で根源的であるがゆえに、とても難しいことで、なかなか思うように実現できるものではないことは皆さんも経験してきてよくわかることがあります。

自分とは違うなにか、わからないもの知らないものと向き合おうとする好奇心とそれを解決する営みをだれかに伝え表現すること、またそれを理解しようとするときに、人は孤独ではいられませんし、その世界は広く尽きることがありません。日本文学科でそのたのしさに触れ、勇気をもってこの言葉の世界に踏み出していきましょう。



## 日本文学科の入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

日本文学科では、豊かな人間性と幅広い視野、高度な言語運用能力をもとに諸共同体のリーダー・教育者・創作者等として主体的に社会に貢献できる人の育成を目指しています。自らの力でテキストの精読や実地調査に基づく分析を行い、他者との議論や対話を通じて言語文化の探究と創造に取り組む活動をおいた教育を開展します。

このような教育理念・目的に基づき、日本文学科は次のような人を求めています。

- ・高等学校等までの教育課程において確かな国語の力を身につけた人
- ・問い合わせをもって対象に向き合い、論理的に思考し判断する力を鍛えてきた人
- ・知的探究心をもって日本語・日本文学を深く研究していく意欲がある人
- ・文学作品のもつ多様な価値観を柔軟に受け止められる人
- ・読み解き力・表現力・対話力を活用して協働的に社会に参画する意欲がある人

詳細はこちら



## 日本文学科の授業

日本語学・日本文学・中国文学・欧米文学と、周辺領域である、民俗学・伝承文学・文芸創作・国語教育学等を専門教育科目とし、専門教育科目に発展的に関連・連携する、学部の特性を活かした学部共通科目、教養教育科目を配置しています。

自らの力で文学や言語についての資料を調査し、読み解き、それをもとに論理的に思考し、言語文化の探究と創造に取り組むために、議論や対話を重視した専門演習を配置します。これら言語文化の探究と創造の成果として、卒業論文・卒業制作を課しています。

豊かな人間性と幅広い視野をもって、高度な言語運用能力を發揮し、他者と議論や対話をおこなうための、少人数双方向教育を実施します。

学科紹介動画はこちら



## 授業紹介1

古典文学基礎演習  
レポーター  
**荒木 鮎吾**  
(日本文学科2年)



この古典文学基礎演習という授業では、くずし字を実際に解読し、語釈や現代語訳を作成して発表を行います。昨年は『源氏物語』の梗概書の一つである『源氏小鏡』という作品を取り扱いました。

この情報だけだと、楽しそうと思われる方もいらっしゃるでしょうが、この授業は私の知る限り最も**鬼畜**です。隔週で出るくずし字解読の課題、発表資料の作成、他の発表者へのフィードバック、最終課題に期末テストなど、こなすべきタスクは多量かつ多岐に渡ります。しかし課題の量の差はあれど、これらは日本文学科の授業における基礎基盤でもあります。

皆さんも藤川先生が出す愛情たっぷりの**無慈悲**な課題に屈さず頑張ってください。



発表資料への講師の書き込みの一部  
「たしかに随所に鬼畜感が・・・」(藤川談)

## 授業紹介2

国語教育学専門演習  
レポーター  
**羽原 瑞季**  
(日本文学科3年)



古文漢文、延いては国語科、文学の必要性が疑問視されがちな昨今において、価値のある国語の授業とは何か?国語教育学専門演習では、そんな**国語教育の命題**に向かうことができます。

この授業では、前期に教科書の教材を読み深め、教育学の視点から児童生徒にどういった力を身につけさせができるかを考える『教材研究』。後期に実際の教員による授業実践の論文を読み、その価値と改善点を考える『授業実践分析』を行います。自分で研究・分析したものを授業で発表し、発表を聞いた他受講生や教授と質疑応答することで、思いもよらない指摘や考え方につれ、さらに自身の考えを深めていくことができます。

受講生は国語教育学以外の分野にも興味を持ち、他の専門演習も受講している人がほとんどです。そのため、受講生の専門分野、「国語科教育」に対する関心の方向性は人それぞれです。そうした考え方の異質な他者との意見交流は、思考を柔らかく多様化させてくれると実感しています。



## 授業紹介3

日本語学講義Ⅱ  
レポーター  
**檀上 志穂**  
(日本文学科4年)



現代の日本語における音声言語について、講義とグループ発表を通して方言を中心に学びました。講義では、出雲方言が取り上げられ、出雲方言を日常的に使用されている方の音声を聞き、その音声を真似しながら発音の練習を行いました。

また、勧誘、疑問、応答などの表現について文法的な特徴を学びました。グループ発表では、都道府県ごと、地域ごとのグループに分かれて各履修者の身近な方言を取り上げ、調査や分析、発表資料の作成に取り組み、発表を行いました。発表の準備では、取り上げる表現に関して、先行研究の確認、今どのような使用状況であるかの調査、文例作成による用法の特徴の分析を行いました。

発表では、会話例の発音練習、発表で取り上げた内容を踏まえた練習問題に取り組むことにより、発表者だけでなく履修者全体で理解を深めました。講義、グループ発表を通して、特定の方言の観察から他方言や共通語との繋がりも学びました。



## 授業紹介4

近世文学ゼミ  
レポーター  
**野寺 菜月**  
(2023年度卒業生)



卒業論文の執筆は4年次からですが、3年次の春にはゼミが始まるので、約2年間という長い時間をかけて、自分のテーマと向き合うことになります。私の場合は、近世文学に関する授業を経由して、江戸時代に刊行された「草双紙」というジャンルに興味を持ち、曲亭馬琴の『新編金瓶梅』という作品について分析しました。

毎回のゼミでは、1、2週間分の調査結果をレジュメにまとめて、進捗を報告します。短期間で成果を上げることは難しいですが、他のゼミ生から違う視点の意見をもらうことで、自分の考えを深めたり、新たな課題が見つかったりします。秋には、同じ古典文学領域を専攻する学生同士の発表会があるので、その準備も研究と並行して進めました。

大学は、自分の興味・関心のある分野について、専門的に学ぶことのできる場です。卒業論文の執筆は、そこから一歩飛躍して、自分なりの解釈を創出する楽しさを感じることができる時間だと思います。



私は現在、広島県内の公立中学校で国語教員として働いています。担当学年は2学年ですが、1学年の授業ももつておらず、毎日忙しくも充実した日々です。また、吹奏楽部の副顧問として大学時代の、吹奏楽部に所属していた経験を活かし、生徒に楽器の吹き方を教えています。

私は幼少期から、中学校の国語教諭になりたいと考えていたため、教員免許を取得することができる尾道市立大学に入学しました。教育学部ではなく、日本文学科のある尾道市立大学を選んだのには理由があります。それは「文学の町尾道」でより専門的な国語に関する知識を得られると思ったからです。文学を学びながら教職を同時に学ぶことは大変でした。

それでも今、教員として働いている中で、尾道市立大学で学んでよかったと思う瞬間がたくさんあります。例えば、古文の授業をする際、生徒に崩し字を見せて興味付けを行います。また、近現代文学の授業をする際は大学の授

業で学んだ知識をもとに教材研究を行い、生徒の興味関心を高めるような授業を作ります。

大学で、崩し字を読んだこと、近現代文学を学んだこと、尾道市立大学に通わなければどちらも自ら経験しようとはしなかったでしょう。大学で学んだことはこれ以外にもたくさんあり、学んだ多くのことをあらゆる場面で、自らの教養として仕事に生かすことが出来るのです。

尾道市立大学の日本文学科で学んだからこそなれる「国語の先生」があると私は思います。そして、それは他の職業にも共通しています。尾道市立大学で豊かな知識と教養と経験を身に付け、尾道市立大学の日本文学科で学んだからこそなれる○○を目指してください。

福山市立大門中学校勤務  
**瀬良 寧々**  
(2022年度卒業生)

私は現在IT企業でディレクター職に就いています。1年目はWeb制作のディレクション、2年目はSNS運用とさまざまな経験ができる職場です。若手が多く、年次が上の方も考え方方が柔軟で直近では生成AIの出現に合わせて社内ルールを作っていくなど、みんなが常に学び、動いている業界だと感じます。

私はITについてまったくの未経験でしたが、自分にとって興味のあるほうへ進んでいたら今の職を選んでいました。周りにはデザイナーやプログラマーなど異なる職種の方がいます。違うスキルや考え方方に触れられることがとても楽しく感じます。大学時代に他学科の方の考え方を知りたくてボードゲームサークルを作ったことや色んな学科の講義を聴いていたことの延長線に今の仕事があるように思います。

ディレクター職で大切なのはコミュニケーション力です。またお客様の前に出て話せるプログラマーは重要視されますし、どんな職についても相手の話を理解して、自分の意見を伝えられる能力は必要です。

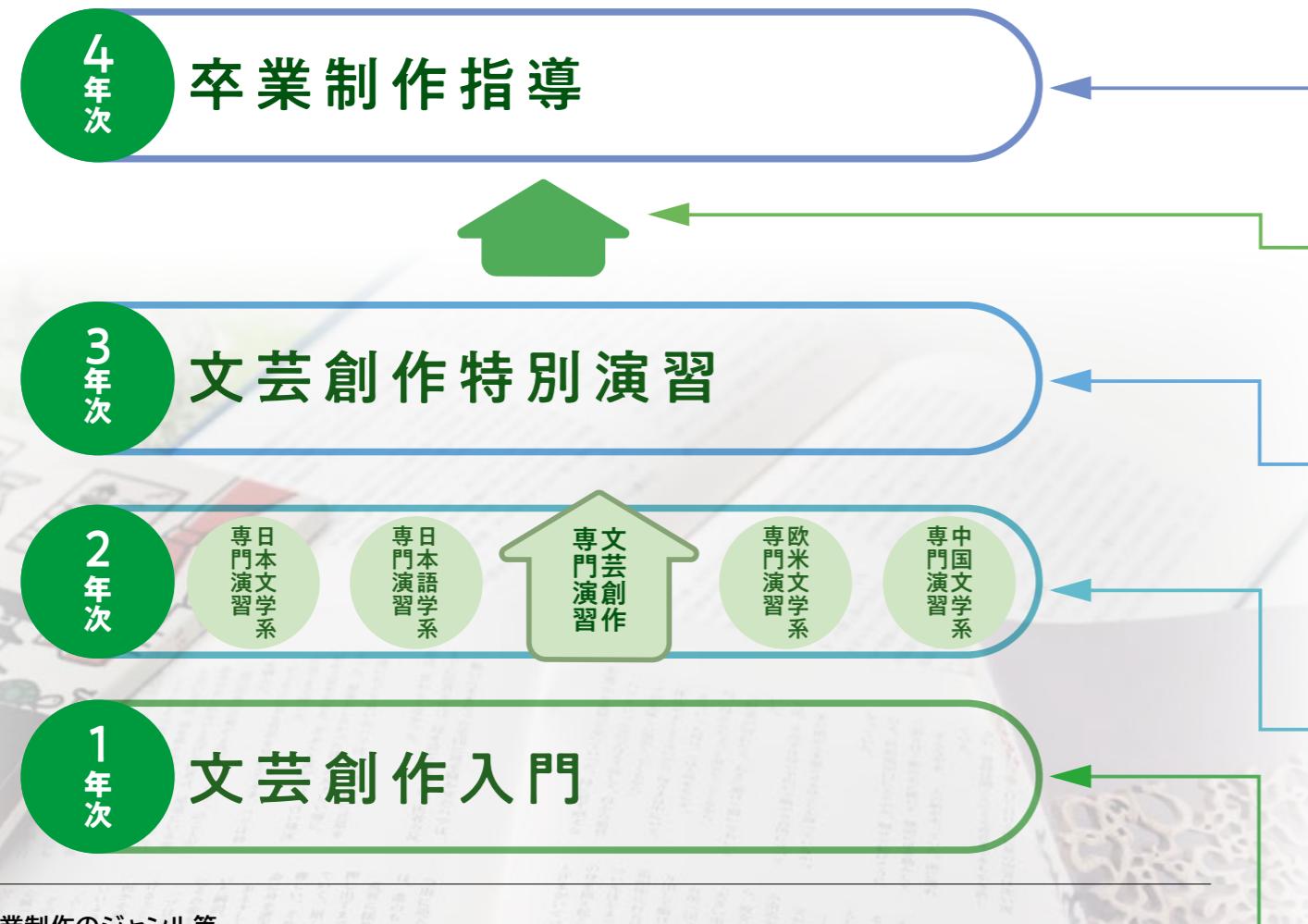
どんな場所で自分の力をのばしてもいいと思います。ただ日本文学科で得た言語化力は一朝一夕で身につくものでは無いと思います。特にゼミにおいて、考えをうまく言葉にできない時でも言葉にしないといけない環境に身を置けたことが成長につながったと思います。大変なときも多くありましたが、背伸びすることで得るものがあると思います。

大学で学んだ知識が直接仕事に使える機会は少ないかもしれません。しかし私の会社には色々な経験のディレクターがいて、未経験のプログラマーも活躍しています。「その会社」の「その仕事」で使える特有の知識はあとから十分学べます。ぜひ好きなことをしながらコミュニケーション力やタスク管理力など基礎を伸ばすこと、何かに打ち込みやり遂げた経験を作っていてください。

Webディレクター、SNS運用オペレーター  
**山岡 瑞穂**  
(2021年度卒業生)



尾道市立大学日本文学科には、学生自らが新たな文学作品を創作し卒業制作として提出する〈文芸創作プログラム〉があります。



#### 卒業制作のジャンル等

卒業制作では、主に小説の執筆に取り組む人が多いですが、戯曲を書いて上演したり、オーディオドラマの脚本を書いて制作したり、詩作と批評を組み合わせるなど、形式も様々です。ジャンルもミステリー、SF、ファンタジー、歴史小説、時代小説など多岐にわたり、複数のジャンルを横断するような形でライトノベル要素の強い小説を書き上げる人もいれば、いずれかのジャンルに単純には分類することのできない複雑なモチーフ・テーマを取り上げる人もいます。

#### 文芸創作を志望する人たちの取り組み

##### 4年次 文芸創作ゼミでの卒業制作……

小説を始め、詩・脚本などジャンルを問わないあらゆる文芸作品に取り組むことができます。4年間の研究と創作活動の集大成となるよう、3年次のゼミでの研究を活かして創作を行います。

##### 成績とポートフォリオを踏まえての選考(希望者が11名以上の場合)……

3年次末までのGPAと学修記録・読書記録が選考の基準となります。自分が何に取り組み、その結果どのような学びを得たのかを記録しておく必要があります。

##### 3年次 各ゼミに所属……

ここで学んだことが4年次の創作の基礎となります。私が近現代文学ゼミで行ったのは、伊坂幸太郎作品の「殺し屋シリーズ」における登場人物の魅力的な描き方についての研究です。インタビュー、随筆、書評、関係書籍から作者の描きたい善悪の基準を探り、登場人物の相関関係を整理して分析しました。名前と人物の結び付け、リスクと惡意の有無による悪人と悪役の差別化、親しみやすさと信念の3つによって悪役との差を明確にして、共感あるいは好感を抱かせているとまとめ、人物造形のコツを掴みました。

##### 2年次 文芸創作専門演習・その他の専門演習(中国・日本語学・日本文学・欧米系)一つ以上を履修……

3年次末の選考に漏れた場合は文芸創作以外にttiいた専門演習のゼミに引き続き所属します。3年次でゼミに所属しながらの専門演習の履修も可能なため、複数取つておくことをお勧めします。

##### 1年次 文芸創作入門ⅠもしくはⅡ……

「全ての芸術は模倣から始まる」ことを理解するため、作品のパロディを通して表現技術を高めます。小説や詩歌のみでなく、説明書や歴史記述、雑誌などの文体を模写しました。これらの文体は演出によっては作品内に登場させる必要もある他、1人称と3人称両方の視点での描写練習にもなるため、授業を通して創作の基礎を身につけられます。



日本文学科4年  
大下 和音

# 日本語学

日本語学(現代語)

教授

灰谷 謙二



日本語学(古典語)

准教授

藤本 真理子



日本語学(言語学)

講師

高島 彰



日本語学の現代語分野を担当しています。方言研究が主たる分野になりますので、授業でも、音声言語を扱う内容で、今の私たちの生活の中の話し言葉にかかわる現象を扱うことが多くなります。音声言語は、文献資料をあつかう分野と違い、自分が観点をさだめて、まだ資料にならない音声を形のあるものに定着させ、研究可能なかたちに文字化していく作業がはります。だれも気付いていないこと、だれもその資料をもっていないものを対象に自分の立てた課題を解決していく面白さがあります。現場にいって自分の目や耳で体験した資料を直接得るフィールドワークという手法をとるという点も大きな特徴です。

難しい物事を考えるととも、自分の気持ちを考えるととも、言葉を用います。

言葉は、遠い昔と今を、外国(世界?)とここを、誰か(隣の人?)と自分とをつなぐ乗り物のようです。また、何かを考える始めの一歩となる存在とも言えそうです。

そんな言葉のことを、“ことば”で考えて伝えていきたいと思っています。皆さんも一緒に考えてみませんか。

なぜ世界には多くの言語があるのか。なぜ「ことば」は世界に1つではいけないのか…

私が専門とする認知言語学では、「ことば」にはその「ことば」を話す人たちの思考や世界の捉え方を色濃く反映されていると考えます。世界には約7,000の「ことば」があると言われていますが、その「ことば」の数だけ世界の認識の仕方があるのです。言語学の面白さは、日常の「ことば」が不思議に思えるような、ささいな発見や気づきにあります。人間のみがもつ「ことば」の面白さや不思議さに気づき、「ことば」の研究を通して人間とは何かという大きな問いについて深く考えていくのも人生を豊かにする方法の一つだと思います。

## 学生対談：日本語学って？ どう？



3年生 森広 和心さん

Q：高校の国語と大学の日本語学につながりは？

高島：高校で勉強した国語と大学での授業、学修は何かつながりはありますか？

森広：高校は、ここからここまでを勉強しなさいという部分が強く感じられたけど、大学に行ったら、大学

もある程度はやっぱり卒業に必要な単位というのがある。けれど、なにかやっぱり興味のあることを一つ持っていたら、どの授業に行ってもどこか関連づけて…あまり興味のなかつた時代のことも、自分の興味のあることと関連づけて広げていける。ちょっとでも興味あるなと思って取り組めば、どの授業でもそういう思考になれて楽しいと思います。

原：大学では、自分で課題が設定できないといけないというのが大きいと思います。課題が設定できるぐらいまで知っているといけないのが大きいです。学期の後半でいろいろ思いを巡らせて、気になるものを見つけて、テストの論述でもレポートでも、自分の疑問を見つけていくという感じです。

Q：ゼミや演習はどんな雰囲気？

高島：ゼミとか専門演習の様子は？

原：少人数だったので、あまり緊張しないで、何でも話せる雰囲気。ゼミや演習だと座学とは違って、他の人の発表からの気づくことも自分の研究に活かせたりします。

## いかがですか？ 灰谷謙二先生！

原さんも森広さんも、ことばの生活・コミュニケーションのなかでの小さな違和感や気づきがスタートになって、つきつめて考えてみることの面白さを体験されているところがいいですね。原さんは、もともとあった演劇への関心・興味が大学の授業の日本語史と結びついた、いい課題展開です。森広さんはドラマの方言への違和感が方言を見つめ直す意識につながって方言研究に興味をもったという、これもよい学問との出会いがありました。高校での国語の学びと大学の日本語学との関係や、文学と日本語学の補完的な広がりに触れていました。いろんなものが「語学的に考える」という思考方法のなかで関連づけられていく、その学ぶことの意味や面白さ、楽しさが伝わってきますね。



森広：後期の演習では、文末詞に関わることで何か見つけて発表しようみたいな感じ。同じ文末詞って(テーマが)決められてても、みんな誰も(発表内容が)被らなかった。問題と思ってなかったところから、その人の発表を聞いてヒントを得て、自分の発表につなげていたりとか。

高島：ゼミを選んだ、もしくはその領域を学びたかったきっかけは？

森広：一番最初に気になったのは、テレビに出た人が、すごいわざとらしく方言を使っていて、方言がそういう演出の要素になるなと思って。自分は何気なくしゃべっているけれど、違う地域の人から見たらその言葉が演出になったりというのがおもしろいと思って、方言を。自分の生活の中での自分の気づきから文献を調べて、みたいな感じで。

原：私は逆にあの普段の生活だと、気づくにくいなと思うので。文学の知識があって、そのテキストを知ってる上で、初めてその日本語学の知識が活かせるような感じがするので。どこから触っていいかわからないってなりそうなので、対象を文学作品から始める日本語学の古典語の分野が、私はそれがやりやすかった。



4年生 原 優花さん

中古文学

教授

宮谷 聰美



# 古 典 文 学

私は平安前期の一時期に生み出された「歌物語」に興味を持っています。『伊勢物語』は短い作品ですが、日本や中国のさまざまな作品がふまえられています。そして『伊勢物語』もまた、後世の文化に大きな影響を与え続けてきました。

講義では『伊勢物語』『源氏物語』や文学史、演習では『古今和歌集』『枕草子』などを取り上げ、日本文化の伝統と、現代に通じる価値観について考えます。



『学びを深めるヒントシリーズ 伊勢物語』(2018年)  
『学びを深めるヒントシリーズ 枕草子』(2020年)  
早稲田久喜の会編著 明治書院



正解は「コチラ！」



尾道市立大学附属図書館蔵  
『百人一首図絵』より

例えば、江戸時代に多数出版された『百人一首』関連の書籍の中には、絵入り本も数多くあり、当時の読者はもとより今でもマニアを楽しめています。例えば、左頁の挿絵は、『百人一首』のどの和歌についてのものなのか、おわかりでしょうか？

また、個人的には、中世に生み出された作品が、その後どう読み継がれたのかについても興味があります。まだ沢山あります。教科書のテッパン教材は氷山の一角で、多種多様な作品が生まれ、地味な印象が拭えない感満載の近世文学に挟まれて、なかなか平安文学や、中世文学ですが、『平家物語』『方丈記』『徒然草』等、中世文學 やかな平安文学や、華<sup>カナ</sup>で、多種多様な作品が生まれ、地味な印象が拭えない感満載の近世文学に挟まれて、地味な印象が拭えない

中世文学  
教授  
藤川 功和



近世文学

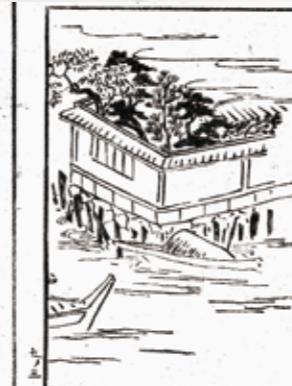
講師

吉田 宅



日本近世文学とは江戸時代の文学のことで、私は近世中期(1700年代頃)の文学を中心的に研究しています。とくに当時の文学が同時代の思想や自然科学と、どのように関わり合っているのかという点に興味があります。また、近世中期における本屋の出版活動についても調査を行なっています。

近世文学を通して様々な物事を多角的に捉えることは、現代において「当たり前」と認識している枠組みを相対化し、改めて考え方直すよい機会となります。既存の枠組みにとらわれず、自らの関心がおもむくまま、ぜひ一緒に学びを深めてみませんか。



平賀源内「根南志具佐」に載るカッパ図  
国文学研究資料館蔵本  
(CC BY-SA 4.0、「国書データベース」より)  
<https://kotenseki.nii.ac.jp/biblio/200004190/viewer/73>

※エレキテルを復元したことで知られる平賀源内ですが、彼の本業は本草学者(今でいう薬学者や博物学者)です。彼が執筆した小説『根南志具佐』には左図のカッパが登場するのですが、実はこのカッパ図には本草学者源内による〈ある仕掛け〉が施されています。その仕掛けとは一体何でしょうか。



教授  
柴 市郎

私の専門領域は日本近代文学です。明治時代から昭和期までの文学を主要な研究対象としています。作家で言えば、夏目漱石や小林秀雄といった文学者たちが対象です。さらに現在は、映画など活字メディア以外の分野についても考察しています。

近年、文学研究の世界は多様化し、学会の研究誌にも、アニメーションなどのサブ・カルチャーや映画に関する研究論文が掲載される時代になりました。

こうした新たな文学研究の動向にも配慮し、多様なジャンルの表現にも視野を広げてもらえるよう、講義・演習をおこなっています。



### 【コラム】〈聖地〉おのみち



「小説の神様」と称される志賀直哉唯一の長編作品『暗夜行路』は、志賀の尾道居住時代に構想が練られました。また「海が見えた、海が見える。五年ぶりに見る尾道の海は懐かしい」は、少女時代を尾道で過ごした林美美子の自伝的小説『放浪記』の著名な一節です。

大林宣彦監督の尾道映画三部作をはじめ、近年ではアニメ「ほんのみち」「蒼穹のファフナー」「かみちゅ！」等の作品舞台ともなっています。

どうやら尾道には、描きたくなる〈何か〉があるようです。



## 近 現 明治 大正

## 代 文 学 昭和 平成 令和



教授  
原 卓史

【研究対象】 坂口安吾・太宰治など／歴史時代小説／カストリ雑誌

【著書&編集協力】 『坂口安吾 歴史を探偵すること』(双文社出版 2013年)



【ゼミ風景】 人数：12名。

卒業論文のテーマ：江戸川乱歩、太宰治、  
谷崎潤一郎など

【授業】 前期：「日本の文学」、「日本文学史」、「近現代文学専門演習」、  
「卒業論文（構想・準備）」

後期：「日本文学講読」、「日本文学講義」、「近現代文学専門演習」、  
「卒業論文（制作）」

### 近現代文学の授業を履修して 授業名：日本文学講読V（原卓史先生）

私がこの授業を履修した理由は、近現代文学に関する研究の基本的な進め方や、作品を研究していく際に必要となる考え方を学ぶためでした。近現代に分類される日本文学に興味があり、専門演習やゼミで研究をしていきたいと考えていたため、その基礎になると考へて履修しました。

半期の授業を通して、作品を研究する際には、作品を一つの視点ではなく「様々な視点」から見つめることが必要であることを学びました。作品に対して新たな解釈を示していくためには、様々な観点や文学理論を複合的に用いることが求められるのだと分かりました。また、同じく原先生の担当される「近現代文学専門演習I」では、作品に対し自分で深く考えていく必要があり、その際に「どの視点から注目していくか」を検討する手掛けりを得ることもできました。

授業内で特に印象に残っているのは、先生が学生のコメントを読んで「このような考え方もあるのだと思った」と仰っていたことです。今回の授業で取り扱った作品に対し、学生だけでなく先生とも一緒に向き合っているという感じがして、作品を分析していくのがより楽しく感じられました。

近現代文学の面白い所は、「作者」と「作品そのもの」という二つの大きな見方があり、二つを合わせて考えることも可能な点だと思います。作者がどんな人生を過ごし、作品にどう影響しているのか。作品を作品内だけでどのように分析できるのか。多角的な視点を通して考えるがゆえの「解釈の幅の広さ」が魅力の一つだと思います。



日本文学科3年  
金藤 花林



## 中國文學

教授  
鷹橋 明久

現代の日本は欧米文化の影響を受けながらも、長い歴史の中で中国文化の影響を受け続けてきました。この歴史的背景から、中国の伝統文化は日本文化の基盤に深く根付き、現代の日本人にも無意識のうちに影響を与えています。私は、中国の古典文化に触れることで、日本人の本質に潜む古い価値観を呼び覚まし、その素晴らしさを再発見していきたいと考えています。古典文化は私たちの文化的アイデンティティを形作る重要な要素であり、その理解は現代社会における自己認識や他者理解にも深く関わってきます。現代社会においては、古典文化が持つ知恵や美意識が見失われつつありますが、私は皆さんと共にその尊さを再認識し、新たな視点から古典文化を再評価していきたいと考えています。古典文化を通じて、私たちは過去からの教訓を学び、現代社会における課題や可能性に対処するための知恵を得ることができます。私は、皆さんと共に古典文化の探求を通じて、新たな発見や理解を深め、より豊かな人間性と文化的理解を育んでいきたいと思っています。



## 国語教育学

准教授  
山田 和大

「国語教育学」と聞いて、高校生までに授業を受けてきた経験から、なんとなく読み書きの力を高める方法を考える学問というイメージがあるかもしれません。確かにそれは間違いではありません。しかし、「国語教育学」の射程はもっと広く、国語科における教育の方法、読む・書く・話す・聞くという行為のメカニズムの解明、そもそも「国語」とは何かということを考える、など、扱う対象が多岐にわたります。つまり、子供たちの「言葉の力」を高めることに関することであれば、なんでも扱う学問であることができます。多様な領域を扱うがゆえに他の学問領域を意識しながら=多様な人々と関わりながら、研究を進めていくことになります。

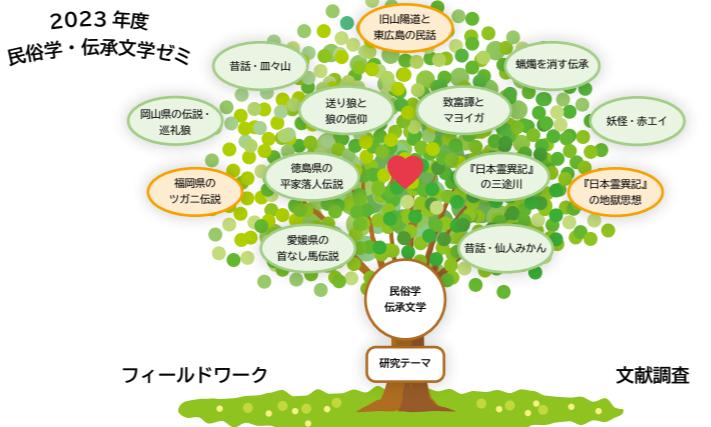
私自身は、「国語教育学」のうち、文学研究と子供たちの「言葉の力」の成長とをつなぐ側面に重点を置いて研究しています。多様な人と関わりながら、子供たちの「言葉の力」を高めていくことのできる人材を育てていきたいと思っています。



## 民俗学・伝承文学

教授  
藤井 佐美

文学と民俗学の交わりに注目しながら、日本の伝承文化を研究しています。個人的には昔のお坊さんがお説教に取り入れた昔話や伝説、口伝の世界を研究対象とし、地域の民俗調査も進めています。まったく別世界に思われる分野が自然に結びついたとき、日本文化の奥深さを実感すると同時に伝承の世界が少しづつ身近になります。ゼミには好奇心旺盛な学生たちが集まり、バラエティに富む調査・研究を楽しんでいます。



### 【コラム】おのみち をちこち

「大日本史」の編纂で知られる広島ゆかりの江戸時代の儒者、頬山陽は、尾道を訪れた際の七言律詩で、「山紫水明指顧に在り」と千光寺から見た尾道の眺望を讚えています。明治時代に尾道を訪れた思想家徳富蘇峰は、嘗て同地を訪れた先人山陽への讃を、自身の漢詩に「海色山光信に美なるかな 更に懷う頬子の出群の才を」と詠じました。それら文人墨客が詠じた尾道ゆかりの詩歌達は、現在千光寺へと至る「文学のこみち」の自然石に刻まれています。

一方、尾道には伝承も多く見え、菅原道真の腰掛け石や百島の平家落人伝承、向島の和泉式部伝承はその一端です。向島には源平の争乱で敗死した木曾義仲の遺児らが一時身を寄せ、開墾などに尽力した偉功を後に讃える覚明神社等も見えます。〈文学の街〉は〈伝承の街〉でもあるようです。



# 欧米文学



教授  
小畠 拓也

20世紀中頃以降のアメリカのSF (science fiction/speculative fiction) の研究を出発点として、文化研究 (cultural studies) の立場から、娯楽として消費されるステレオタイプ化したイメージ (ロボット、異星人、モンスターなど) の分析・再解釈を通じて、差別／排除を正当化しようとする「毒になる物語」への解毒剤を提供することを目指して、試行錯誤を続けています。

「欧米文学概論」・「欧米文学講義」・「比較文学」の講義科目では、「文学」との関わり方を「趣味・消費」から「研究・再生産」へと切り替えてゆく上で必要となる、専門用語の提示・解説に注力しています。演習科目の「欧米文学専門演習」では、情報収集と分析の訓練を外国語資料の読解を通じて積んでもらうことにしています。



# 英 語



教授  
高垣 俊之

私は主に2・3年生を対象に英語を教えています。学生の皆さんの中には、大学に入ってからも英語を勉強しなければならないのかと溜息をつく人がいるかもしれません。しかし、洋の東西を問わず、有名な作家や知識人の多くは外国語学習あるいは外国生活を通して言語観や表現技能を高めていったと思われる節があります。皆さんにも意欲的に英語と格闘してもらい、母語と外国語の言語能力に磨きをかけてもらいたいと願っています。

研究面では、英語の習得と使用に関する諸問題をマルチリンガリズムの枠組みの中で考えています。研究成果としては以下のようないります。

- ・『新装版：カナダの継承語教育—多文化・多言語主義をめざして』(2020) 共訳. 明石書店
- ・『英語デトックス—世界は英語だけじゃない』(2016) 分担執筆. くろしお出版
- ・『英語の習得と使用—バイリンガリズムの視点から』(2014) 単著. 溪水社



教授  
平山 直樹

私の専門分野は英語学で、15世紀イギリスの名家であるパストン家の人々が書いた日常の手紙や法的文書などの英語を研究しています。書き手が自分の考えを表す時に使う I think や、相手にお願いする時に使う I pray you が、文の最初、内部、文末で使われる場合に、それぞれどのような意味を持っているかを明らかにするために、手紙の送り手と受け手の社会的な関係や、日常の手紙なのか契約書なのかという文書の形式の違いなどに着目して調べてきました。

授業は教養教育科目的英語を担当しています。TOEIC 対策の授業ではテスト対策をするだけでなく、ビジネスや日常の場面で使う英語の基礎力を身につけることを目指します。また、読解演習を中心とした授業では、文構造や談話構造、更には英語と日本語の事態に対する認知方法の違いにも留意して解釈をする練習を繰り返します。これにより、辞書と読解方略を組み合わせて英文を正しく読み、授業後も自己学習を進められる力を身につけることを目指します。



14-15世紀にパストン家所有の家があったと  
言われている、英国ノリッジのエルムヒル

# 尾道を読む

おのみち文化スタディでは新入生と教員が一緒になって、尾道の街中を散策したり、街歩きで体験したことを後日発表したりして、尾道の文化を学びつつ、新入生同士の交流や教員との親睦を図っています。また上級生の中から有志を募り、教員と協力しながら企画・運営にあたっています。

2023年度は5月13日（土）に尾道散策、6月8日（木）に発表会を実施しました。尾道散策の日はあいにくの雨でしたが、全体を6つのグループに分け、レストランで食事を楽しんだり、招き猫の絵つけ体験をしたりなど、有意義な時間を過ごしました。また発表会の日は、スライド資料を用いてグループごとに10分程度の発表を行い、尾道についての学びを深め、発表会後には無料配布した豪華な弁当を各自堪能しました。

学生からは、尾道のことを知るよい機会となった、親交を深められてよかったという感想が多く寄せられました。



5月13日実施の尾道散策の様子  
(千光寺頂上展望台)



5月13日実施の尾道散策の様子  
(招き猫の絵つけ体験)



5月13日実施の尾道散策の様子  
(おのみち映画資料館)



6月8日実施の発表会の様子  
(グループ発表)



中村智沙さん撮影  
今治市吉海町 龜の遣骸(海亀の骨)



教員引率型フィールドワーク 光明寺にて

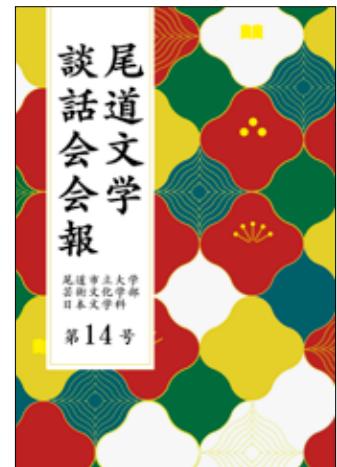


水田文菜さん撮影 因島水軍まつり(海まつり)の様子

日本文学科専門教育科目の一つで、3年次以降に履修する科目です。授業の目的は、日本文学研究と文芸創作に結びつく実地踏査をおこない、机上の学習では得られない資料収集や調査研究能力を養うことです。また、事前学修と事後学修をとおして、企画立案能力と報告能力を身につけながら、歴史学・民俗学・日本語学および日本文学等の点からも広く日本文化について学ぶこともねらいとしています。

授業では例年、2泊3日で教員引率型の実地踏査をおこなっていましたが、新型コロナウィルス感染防止期間中は集団での実習は中止となっていました。しかし、2023年度はコロナ5類移行という時期を迎えたことからも無理のない日帰りの集団踏査を計画し、瀬戸内村上海賊をめぐる歴史・文化をテーマに掲げた学修プログラムを開催しました。また、履修者は事前学修を踏まえ、単独で実施したフィールドワークの成果発表をおこない、報告書を『尾道文学談話会会報』第14号にまとめました。

# 尾道文学談話会



尾道文学談話会会報 第14号表紙デザイン  
美術学科4年 永山つかさ



日本文学科を中心とする本学の教員が文学や言葉にかかわるさまざまな話題を提供し、地域の方々と大学の外で語り合う形式の公開講座です。ここでの成果は毎年『尾道文学談話会会報』にまとめられており、会誌の内容はインターネットでもご覧いただけます。

## 2024年度・尾道文学談話会（全6回）

- 第1回 『紫式部物語・和泉式部物語』の平安異聞を楽しむ  
藤井 佐美（日本文学科教授）
- 第2回 赤神説『空貝一村上水軍の神姫』の魅力について  
原 卓史（日本文学科教授）
- 第3回 橋本竹下「禽虫絶句二十七首」について  
鷹橋 明久（日本文学科教授）
- 第4回 江戸の本づくり  
一十返舎一九『的中地本問屋』を読む—  
吉田 宅（日本文学科講師）
- 第5回 歌謡曲（ウタ）から読み解く日本語  
藤本 真理子（日本文学科准教授）
- 第6回 中世英語（1100年～1500年）に見る口語表現  
平山 直樹（日本文学科教授）

# 虚構研究会



## 虚構研究会

虚構研究会は人文学・芸術分野の様々な事象について情報共有・意見交換を行う場です。文字を媒体とした文学ジャンルはもちろん、視覚映像・音声・空間、さらにはそれらが複合するものも含めたあらゆるメディア上の虚構・物語・表現を、研究・考察の対象にしています。

これまでに、参加者が推薦するマンガや小説を取り上げた読書会、海外アニメや映画を分析的に見るために鑑賞会、特定のビデオゲームについて考察する討論会、好きな楽曲を挙げて音楽的な視野を広げてゆく会、ジャンルを問わず自分自身が影響を受けたものについて語り合う会などを行ってきました。

人間が認識している世界（現実）は、人間が五感を通して得た情報をすべて人間に把握可能な形に再構成し、書き直した「虚構」です。私たちを取り巻く「現実」という「虚構」と一緒に読み解いてゆきましょう。（小畠 拓也 研究室）

# 高橋新太郎文庫

近代文学研究者、学習院女子大学元教授・高橋新太郎氏（昭和7～平成15）は、貴重な資料を含む膨大な蔵書を残されました。現在、日本文学科では、資料の整理、資料の展示会開催、データベース化作業に取り組んでいます。

2023年に開催された「おのみち文学三昧」での展示



# 伝承文化研究会



大学周辺のお祭り  
村上海賊ミュージアム特別展示の様子



日本の様々な伝承世界について、文献調査やフィールドワークから研究しています。祭を追いかけたり縁起物を探したり、民話の採訪、古文書の活字化やデータベース化なども進めながら、後世に伝える方法を模索中です。くずし字から読み解いた『ばけ物三十六歌仙』の研究成果は、所蔵される村上海賊ミュージアムの特別展示に結びつきました。『尾道文学談話会会報』第12号に掲載し、インターネット上にも公開しているのでぜひご覧下さい。これからも日本の多様な文化を楽しみながら伝えています。（藤井 佐美 研究室）



研究発表 +  
公開講演会



第15回 (2023年12月9日)

## おのみち文学三昧

尾道市立大学日本文学科・尾道市立大学日本文学会 共催

おのみち文学三昧は、学会と講演会のコラボによる文学イベントです。

2023年は15周年記念として、ビブリオバトルと作家の三川みりさんをお招きしての講演会を催しました。

おのみち文学三昧は、これからも様々な切り口で文学の可能性を探ってゆきます。



プレミアム (2023年11月3日)

対談 +  
ビブリオバトル



尾道市立大学日本文学会は、日本文学科所属の教員と学生を中心として、研究発表や学会誌発行などの活動を行っています。



時代劇や歴史漫画では古めかしい台詞が使われますね。そこで、江戸時代に書かれた時代浄瑠璃も古めかしく書かれていると仮定し、日本語史上の文法変化の一つ「二段活用の一段化」(例「上ぐ」→「上げる」)を古さの尺度にして調べてみました。その結果をまとめて発表するという貴重な機会がいただけて嬉しかったです。

日本文学科4年 原 優花



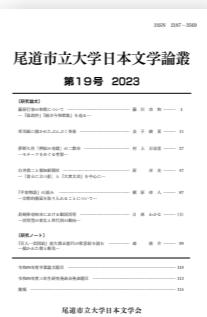
文学三昧では正中二年七夕御会和歌懐紙についての発表を行いました。登壇して発表することはとても緊張しましたが、自分にとって良い経験になったと思います。発表を通して様々なご意見を頂き、今まで持っていたものとはまた違った新しい見方を持つきっかけにもなりました。

日本文学科4年 水田 文菜



文学三昧では、国語教育における「読み教材」から「書く活動」への活用についての研究発表を行いました。生徒たちが教科書の文章の表現の良さに気づき、日常生活のことや社会問題に対して、自分の意見を積極的に書いたり何か自分だけの作品を作り出したりすることで国語の授業がもっと素晴らしいものになっていくと思います。

日本文学研究科2年  
横原 帝人



会報誌文学三昧号  
(表紙デザイン  
美術学科4年  
林 里穂)

## 卒業論文の階梯(2023年度卒業生 村上日佳里さんの場合)

タイトル「夢野久作「押絵の奇蹟」の二都市—モチーフをめぐる考察—」

**1. 卒業論文の内容** —夢野久作「押絵の奇蹟」の舞台となった都市に着目し、都市特有のモチーフの役割について考察しました。また、作品の典拠に目を向け、それらの意義を分析することで、夢野久作の作品史における「押絵の奇蹟」の位置づけを図っています。

### 2. 完成までの学修の履歴

1年生

論文執筆への土台作りを意識して、本や論文を読み、知識を身につけるようにしていました。読んだものについては、要旨や疑問点などをノートにまとめていました。

2年生

専門演習で、論を発表し、質問に答え、修正するという流れを通して論文の書き方を学びました。卒業論文で書きたい題材についての情報収集もあわせて行いました。

3年生

文学三昧への登壇という目標を立て、ゼミナールで定期的に意見交換をしながら卒業論文の執筆を進めました。また、様々な人に論文を読んでもらうことで、プラスアップするよう心がけました。

4年生

完成までのスケジュールを意識して、やるべきことをリストアップして執筆に取り組んでいました。また、様々な人に論文を読んでもらうことで、プラスアップするよう心がけました。

### 3. 日本文学を学ぶ意義

—4年間の学びを終えた今、日本文学を学ぶとは、今を生きている自分とそれを取り巻く環境についての探求であったのだと感じています。自分自身と他者を見つめる様々な観点を養えることこそが日本文学を学ぶ意義だと思います。



学会誌に掲載された村上さんの論文はこちらからお読みいただけます。

本学学会で口頭発表

## 2023年度卒業論文・卒業制作

### ●文芸創作領域

海行き譚  
月の海  
天使に連れ去られて  
マコトニンギョウ  
がんばれ!オカルト研究会パート2  
三日前、ビスマスみたいな夢をみた  
縁  
あなたが昨日食べた一番美味しいもの  
糸しき君を待つ  
カーテンの向こうに  
月をきれいに  
世界終末記者  
水の底

### ●日本近現代文学領域

【創作】「こちょうの夢」  
【創作】「いのちの子」  
吉田秋生『海街diary』論—吉田秋生作品における〈生〉と〈喪失〉—  
辻村深月『かがみの孤城』論—テキストとパラテクストの影響関係—  
「宮沢賢治『銀河鉄道の夜』論」  
「江戸川乱歩『パシラマ島奇譚』論—メディアミックスにおけるひろがり—」  
「太宰治『花火』論—来たるべき「幸福」のために—」  
「村上春樹『納屋を焼く』論—同時存在とモラリティー—」  
【創作】「巫病(創作)」  
「石川淳『鷹』論—革命が生起する空間構造—」  
「夢野久作『押絵の奇蹟』の二都市—モチーフをめぐる考察—」

### ●日本語学領域

国語教科書における『古事記』の文法的な側面からの教教材化について  
マンガ・アニメ作品に登場する「ワシ女性」の考察—『映像研には手を出すな!』の浅草みどりに注目して—  
「へ方(ほう)」の意味の拡張について—丁寧な意味が生じた理由の考察—  
音声談話における文末補充と原因・理由節の後置についての研究  
広告のキャッチコピーにおける企業キャッチフレーズの表現法に関する研究  
首都圏周辺地域方言話者が用いる助動詞「ダ」の方言的性質についての研究—静岡県方言と広島県方言における方言使用意識の比較から—  
長崎県壱岐市における動詞活用型の動態に関する研究  
雑談会話における話題の展開に関する研究

【創作】『雜踏』  
福岡県肥筑方言における言い切りの文末詞「バイ」「タイ」「ヤン」に関する研究

### ●国語教育学領域

中学校高等学校国語科における「聞くこと」の学習—教科書の学習活動の分析を中心に—  
ヘルマン・ヘッセ「少年の日の思い出」学習指導の実際

### ●日本古典文学領域

『清少納言集』における清少納言詠和歌について  
『狭衣物語』の女性の呼称—引き歌から見る心情と位置づけ—  
古今和歌集恋歌の構造について—構造と配列から読み解く物語性と役割—  
『とりかへばや物語』論—女主人公の特異性—  
草双紙に描かれたぶんぶく茶釜  
曲亭馬琴の勧善懲惡—『新編金瓶梅』における男性の悪人像—

### ●伝承文学領域

『日本靈異記』の冥界巡り譚—他界觀・死生觀の変容  
東広島市西条町における民話の伝播と「宿場町」の役割—西条町のアイデンティティと民話の受容—  
福岡県大牟田市の「ツガニ伝説」の研究

### ●中国文学領域

『莊子』内篇に見られる死生觀について

芸術文化学部 美術学科

確かな造形力  
表現を磨く。

表現する意欲  
感覚を開放する。

メディアの有効利用  
美しく伝達する。





芸術文化学部長  
中村 謙

本学が開学し美術学科ができて23年が経ちます。時代の流れとともに美の価値観や表現の内容も多少の変化があり、その時々に相応しいカリキュラムや指導態勢を整えてきました。現在では作品制作だけにとどまらず、自身の活動を発信する能力、芸術を通して地域や社会との関わりを持つことも重要視されています。学生にとっては積極的に周囲の人とつながり、今までにない新しいことに取り組んだりする必要もあるでしょう。

本来、大学では各々の勉強を通して専門の知識・技術を深めることは勿論のこと、学生同志が集い、いろいろな価値観や手法を知って理解し、刺激し合いながら自身を高めていく場であると思います。またその様な環境こそが学生時代に重要なことではないでしょうか。昨今コロナ禍を経験し大学に通うことが困難な学生が増えたとも聞きます。しかし学生の皆さんには、なるべく大学に通い、あるいは街に出て、何か行事やワークショップやその他のことでも積極的に参加していただきたいと思います。その経験は総合的な人間力を養うことになるでしょう。未知の自分の可能性を信じて社会に出て継続して美術に携わって行ける、たくましい人材になってもらえたと願っています。



学科紹介動画はこちら



### 選択コース(日本画コース・油画コース・デザインコース)

1年次	デッサン基礎実習・彫刻実習・構成実習（平面・立体） 総合基礎実習（日本画・油画・デザイン）
	1年次後期にコース選択 2年次にコース確定

日本画コース	油画コース	デザインコース
課題制作 自由制作 スケッチ旅行 動物スケッチ 人体デッサン	フィールドワーク オムニバス授業 ゼミ 自主制作 進級制作展	各領域から課題を出題  グラフィックデザイン アドバタイジング アニメーション イラストレーション 映像デザイン 造形デザイン クラフトデザイン
課題制作 自由制作 人体デッサン	オムニバス授業 ゼミ 自主制作	専門領域の課題 領域間のコラボレーション課題
古美術研究演習		
自由制作	進級制作	地域プレゼンテーション (展示発表会)
課題制作 自由制作 人体デッサン 卒業制作	自主制作 ゼミ 卒業制作	自主研究制作  卒業制作

専門領域の制作および研究  
(より専門的な制作や研究を行う機関として大学院が設置されています)

美術学科の入学者の受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)  
教育の理念・目的と求める学生像

美術学科の教育理念は、美術における専門家として持続的に創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材を育成することにあります。

個々の学生の美に寄せる豊かな感性を尊重しながら、実技教育を通して専門的な知識・技術を獲得させること、また、学生が相互に切磋琢磨する機会を通して、芸術文化に関する幅広い視野を身につけさせることを目的とします。その上で、作家やデザイナーとして、あるいは美術教員や学芸員等として、持続的に美術に携わることのできる人材の育成を目指しています。

このような教育理念・目的に基づき、高等学校までの学習を通して培った理解力と思考力、美術の表現力を前提とした上で、美術学科は次のような人を求めています。

- ・豊かな発想や色感を持ち、構成力、描写力などの基礎的な造形力を持つ人
- ・本学で学修を進めるために必要な基本的な知識、理解力を持つ人
- ・自らの問題意識にしたがって考え、客観的な視点を持つ意欲のある人
- ・自らの感覚や思考を、美術表現や言葉によって他者に伝える意欲のある人
- ・主体性を持って学ぶ姿勢を持ち、多様な人々と協働して学ぶ意欲のある人
- ・将来的なビジョンを持ち、自らの創造性を高める意欲のある人

### 専攻を選択できるコース制

1年次は、基礎実技を重視して基本的な造形能力を養います。全員が共通課題として、デッサン基礎実習、彫刻実習と3つのコース課題(構成実習／日本画・油画・デザイン)を体験します。その後、各自志望コースの課題(総合基礎実習／日本画・油画・デザイン)を選択し、自己の資質と方向性を吟味します。2年次からは3つのコース(日本画・油画・デザイン)に分かれ、1年次で学んだ基礎力を踏まえて、それぞれの分野の知識や技術の修得に力を注ぎます。

美術学科では、美術における専門家として持続的な創作活動に携わり、地域や社会の文化・芸術に寄与する人材の輩出を目標としています。このことを踏まえ、所定卒業単位の修得と卒業制作に加え、以下の学修成果を達成した学生に対して「学士(美術)」を授与します。

- ・美術に関連する基本的な素養を身につけ、専門分野の基礎的な知識や技術を修得し、感性を養いながら、それらを自己表現に積極的に活用することができる。
- ・広い視野で物事を捉え、課題を発見し、その解決方法を模索した上で、表現の可能性を探究することができる。
- ・美術を学んだことにより身につけた表現力や創造性を、継続的な創作活動を通して社会に発信することができる。

## 尾道から外部へと発信

美術学科では、尾道という「場」で制作活動を行うことの可能性を最大限に活かすことを模索しています。

大学のある久山田水源地近くの静謐な環境は、個に集中し制作に打ち込むのに適しています。

また、大学近隣の豊かな自然や尾道の街並みは、多くのインスピレーションを与えてくれることでしょう。実際に、その豊かな自然環境や風景を活かした制作や、尾道の街中を実践の場とする展覧会、イベント参加等の活動、産学連携のプロジェクトや市民団体とのコラボレーション等も活発化してきています。

今後、これらの活動が一層充実し、ここでなければ創れない独自の価値を外部に発信していくことを目標としています。

## 充実した制作環境

美術学科には、日本画、油絵、デザインそれぞれの領域の制作に適したアトリエがあります。学生たちは潤沢なスペースでじっくりと専門の制作に取り組むことができます。

それ以外に、大人数での実習に適した大空間を持つ石膏室や、各種工房施設があります(CG、写真、彫刻、金工、木工、塗装、陶芸、版画)。各工房ではそれぞれの素材についての専門的な技術を学ぶことができます。また、学生個々の自主制作でコースの垣根を越えて工房施設を活用することができます。



施設の様子を  
Google ストリートビューでご覧になれます



### CG実習室

iMac 40台を常設した実習室です。レーザープリンター、大判プロッター、3Dプリンター、製本機、レーザーカッターなどを設置。グラフィックデザインを制作したり、映像編集することに特化した充実した設備です。



### 彫刻実習室

2つの教室と屋根付きテラスに加え、広々とした屋外制作スペースがあります。屋内では彫塑や造形制作を、屋外では石彫などを行います。自由素材の研究の場としての利用も可能です。



### 金工実習室

金工技法の彫金、鍛金、鋳金それぞれの制作を行なう設備が整っています。西日本の美術系大学では珍しいブロンズ、およびアルミニウム鋳造のための溶鉱炉を備えています。金属素材をベースとした造形制作に適した環境を備えた工房環境です。



### 木工実習室

大型木材加工用の機材が揃っている機械室と、作業スペースで構成されています。器、家具、オブジェ、絵画のためのパネルや額作りなど、木質素材をベースとした多目的な利用が可能です。



### 写真スタジオ

4Kビデオカメラやデジタル一眼カメラ、照明設備などが揃った撮影スタジオ。デジタルに対応した機材を導入し、撮影技術を学びます。制作した作品を撮影することもできるなど、多様な利用が可能な工房です。



### 塗装実習室

各種スプレー塗装に対応した大型水洗ブース、乾燥炉はもとより、漆塗りのための塗部屋、漆室を新たに備え、塗装環境をさらに充実させています。



### 陶芸実習室

陶芸用電気窯2基、電動ろくろ10台を備えており、器からオブジェまで、幅広い制作が可能になっています。



### 版画実習室

銅版画、木版画、リトグラフ、シルクスクリーンの4版種すべてに対応可能な充実した工房です。特に大型銅版画用プレス機は、西日本の美術系大学でも最大級の機材を設置しています。



日本画コースは、基本的な専門技術を修得させ、現代の表現として展開し、個性豊かに創造し得る力を育てることを目指しています。在学中は最も多感な時期であると考えます。これから長い作家活動をしていく上で大切な一助となるべき教育を行います。

#### 日本画実習Ⅰ（2年次）

植物、静物、動物、風景、人物等を対象として幅広く課題を設定し、日本画材料の特性を学び、個性を活かしながら表現力を育成します。自らの絵画観をもとに自由な発想で画面に向かう意識を育てます。また箔や裏打ち技法の特別講習を行い、表現の可能性を学びます。

#### 日本画実習Ⅱ（3年次）

個々の自由なテーマでの制作に取り組み、個性的な表現世界の発展を目指します。古典作品の模写を課して、色彩や空間に対する認識を一層深めます。また古美術研究演習では、事前学習を踏まえ京都・奈良を訪れます。

#### 日本画実習Ⅲ（4年次）

今まで培った表現を前提に自由なテーマをより主観的に咀嚼し、研究制作を続け、より高度な創造表現を目指します。また直接作品に触れる目的として美術館などを訪れ、美の本質に根ざした表現を模索させ感性を育てます。4年間の研究成果として卒業制作展を地域社会に向けて発表します。



松井唯 2年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



棚平詩乃 〈朝を招く〉 4年次卒業制作 麻紙、岩絵具、膠、箔 181.8×227.3cm



森雅治 2年次動物制作  
麻紙、岩絵具、膠 116.7×91cm



白濱小花 3年次人物制作  
麻紙、岩絵具、膠 116.7×91cm



武田乃梨子 4年次人物制作  
麻紙、岩絵具、膠、箔 116.7×91cm



橋田百菜 3年次自由制作  
麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



松下由佳 3年次人物制作 麻紙、岩絵具、膠、箔 116.7×91cm



児玉萌々果 2年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm



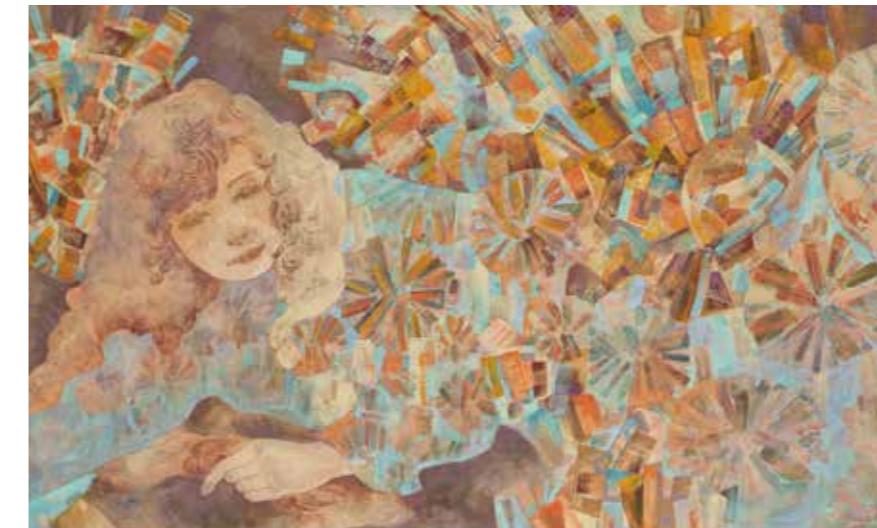
佐藤美咲 3年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



山崎楓華 2年次静物制作  
麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



兵等千恵 2年次絹本制作  
麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



上野ひろ 3年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠 89.4×145.5cm



竹村花菜 1年次ユリ制作  
麻紙、岩絵具、膠 65×50cm



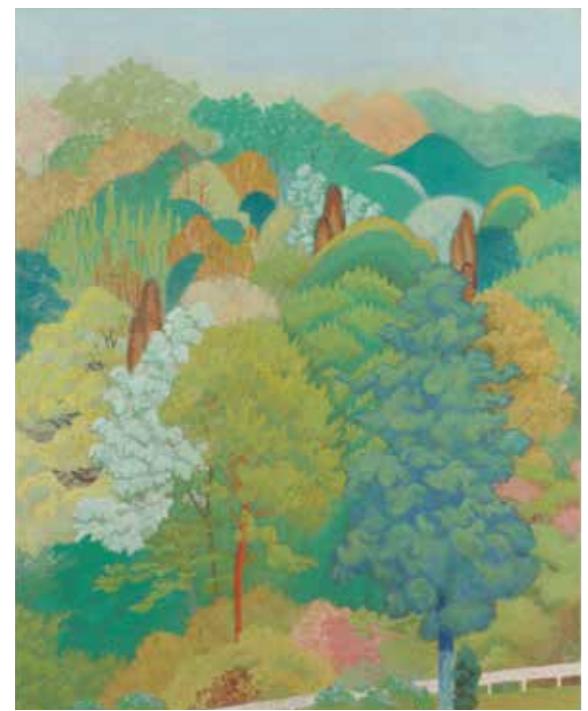
石川菜摘 1年次剥製静物制作  
麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



和泉優子 3年次自由制作  
麻紙、岩絵具、膠 116.7×116.7cm



瀧山千晶 3年次古典模写制作  
美濃紙、岩絵具、膠 23×23.5cm



功刀天音 4年次自由制作 麻紙、岩絵具、膠、箔 162×130.3cm



児玉萌々果 2年次静物制作 麻紙、岩絵具、膠 72.7×91cm



松下由佳 3年次風景制作 麻紙、岩絵具、膠 72.7×91cm



戎優花 4年次卒業制作自画像  
麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



小林蓮姫 1年次ユリ制作  
麻紙、岩絵具、膠 72.8×51.5cm



田上結芽 1年次剥製静物制作  
麻紙、岩絵具、膠 91×72.7cm



梶柚希 2年次絹本着物制作  
麻紙、岩絵具、膠 65.2×53cm



大学院美術研究科日本画専攻2年  
朝平 敬香

私は身近な動植物や人物をモチーフにし、日常生活の中で捉えられる物事を出発点に制作をしています。絵画は、ときに視覚芸術と呼ばれることがあるよう、色や形など視覚に訴える要素により形作られます。そうした絵画の特性を踏まえ、色面による構成で、平面的・装飾的な画面作りを模索してきました。今後は日本画画材の特質や技法を踏まえ、それらを活かした表現方法を探求しながら、動植物をメインに情趣ある画面へ展開していきたいです。

また修士課程では、学部以上に制作や美術について深く探究できる機会に恵まれています。今は、これまでに關心を寄せたものや好きなものを煮詰めて表現の模索をしている状態ですが、そうした時間が、制作を続けていく土台を盤石にするのだと思います。学部3年次には卒業後の進路について悩みましたが、この2年間の課程が今後の制作活動の大きな支えになることからも大学院に進学して良かったと実感しています。



〈こもれび〉 91×116.7cm  
2023年制作 後期自由制作  
9月頃に宮島でスケッチした鹿の親子をもとに制作しました。鹿は夏毛になると、大人にも鹿子模様がみられます。木漏れ日の中で、鹿の模様と太陽の光が呼応している情景に面白さを感じ描きました。



〈空想〉  
89.4×145.5cm  
2023年制作  
後期自由制作

ある絵本作家が「空想は人間最初の創造行為」だと語っていたことを思い出すと、空想は虚構でありながら現実世界に根ざした豊かなものだと言えそうです。



〈響鳴〉 170×215cm 2023年制作 (再興第108回院展 初入選)  
チェロは高校生の時に弾いており、思い入れのある楽器です。聴くものを包み込むような、音楽が持つ余白を自身の絵画空間にも持たせたいと思いながら制作しました。



油画コースは、絵画表現を軸に、各自が創作と生きることの可能性を主体的に追求していく姿勢を培うことを目標としています。

個々の制作の場を起点に、多様な学びや対話機会を作り出すことで、自己の興味・関心を模索し、課題を立て、自ら取り組む姿勢を養うと同時に、制作の場を共有することによって相互刺激の場を創り出します。

#### 油画実習I（2年次）

個々の学生が自身の資質を発掘し、表現の可能性を見出す機会として、各担当教員の視座を反映した多彩な実習やゼミ、および自主制作を行って行なっていきます。また、同級生や他学年、教員、ゲストスピーカーとの意見交換を通じ、自身の考えを自覚的に発展させていく場を作り出します。

#### 油画実習II（3年次）

3年次では自身の表現内容を模索すると同時に、個々の表現にふさわしい形式、描画材料も実験しながら、制作を行っていきます。後期最後の進級制作ではその試みを大学美術館で展示します。また、古美術研究は作品鑑賞体験を自身の制作の糧とする機会になります。

#### 油画実習III・卒業制作（4年次）

4年次はこれまでの自主制作で見つけた課題を踏まえて、それぞれのリアリティを存分に追求していく時間となります。その成果は卒業制作として尾道市立美術館で開催される卒業制作展で展示されます。



西原なづな 〈 Super moratorium 〉 4年次卒業制作 左より 1167×1303mm, 1167×910mm, 652×530mm, 727×606mm, 273×220mm キャンバス、油彩



木浦真帆 〈 静寂の祈り 〉 修了制作 キャンバス、油彩、紙、ベニヤ板、ガラス等 2000×5175mm



片山めい 〈 ちりめんじわの男たち 〉 修了制作  
キャンバス、アクリル、油彩、糸 1303×1303mm, 1167×803mm,  
803×1167mm, 727×606mm, 910×1167mm



中部安梨 〈 eco-terrorism 〉 4年次卒業制作  
キャンバス、油彩、映像 1620×1940mm



田川俊介 〈 a 森の賢人と不可思議な発見、b 正方形宇宙と放出點、c 平な山岳 〉  
4年次卒業制作 非晶石膏、テンペラ、油彩  
a 957×653mm, b 128×128mm, c 650×906mm



吉岡育夢 〈 し的な 〉 4年次卒業制作  
キャンバス、油彩、アクリル 3000×3000mm



森野美里 〈 red scarf 〉 4年次卒業制作 アクリル毛糸  
不定形



小川裕美 〈 不安と私 〉 展示風景



岩田千豊 〈 脆夢 〉 3年次自主制作  
模造紙、墨、鉛筆 910×1220mm



宮宇地春人 〈14の想像〉 1年次自主制作  
手漉き紙(段ボール再利用)にインクジェットプリント、色鉛筆で描画 各210×297mm 14枚組



勝俣佑菜 2年次自主制作 〈だいだいへんげ〉 キャンバス、油彩  
455×530mm, 728×515mm, 530×455mm



橋本涼凪 2年次自主制作  
〈遊び〉 410×318mm  
キャンバス・油彩・油性ペン・ポスターカラー  
・クレヨン・パラフィンワックス・光沢紙・カラースプレー

大下和 2年次自主制作  
紙、アクリル 785×318mm



松本明里 2年次課題制作(観葉植物)  
キャンバス、油彩 910×727mm



DU LIN SHUO  
1年次課題制作(人物／群像)  
キャンバス、油彩 455×530mm



東谷花奈美 1年次課題制作(自画像)  
キャンバス、油彩 530×455mm



芹澤亜子 1年次課題制作(自画像)  
キャンバス、油彩 530×455mm



美術学科油画コース3年  
羽生 なつき

私は、ものの本質を探る行為に関心を持って制作しています。ものを観察する際に、ものの輪郭の形や質感、同じ空間にある他のものどう影響し合っているかということを主に注意深く見ています。観察を通して見えてきた物の性質が、画面の中でクリアに現れるように、形と構図を熟考して決めています。そのものとして欠くことができない最も大事な性質を、クリアに目に見える形で表現したいと思っています。

最近は、大学で仲間や先生方と対話を重ねる中で、鑑賞者からの見え方をより意識するようになりました。モチーフの正体が伝わるよりも、鑑賞者の経験や記憶と結びついて様々なものに見えてくるということを大切にしたいと考えています。モチーフの抽象度合いを調節するときの、一つの基準として意識したいと思っています。

今後の制作では、平面作品に限らず多様な技法と素材を制作の中に取り入れて、表現方法を模索していきたいです。ここでは仲間や先生方と深い対話を重ねながら、自分の表現したいことに真っ直ぐ向き合える環境があります。この恵まれた環境を活かして、今後も制作に励んでいきたいと思います。



〈観葉植物〉 1303×970mm 2023  
ものものが同じ空間の中にあることで生まれるリズムと、流れの輪郭のかたちを見る感覺で描きました。



〈金魚〉  
410×318mm 2023  
名画に触発されて描いた作品です。ひとつの物の存在感を大きく描くことで、その物が持っている、心に迫ってくる力を表す試みとして描きました。

デザインコースでは、各研究室の専門領域を基本しながらも、興味のあることは、領域を越えた指導を受けることが可能なカリキュラム編成となっています。これにより幅広い視野によるデザインの視点から表現できる能力を培うことができます。



### デザイン実習I（2年次）

2年次前期は選択課題に取り組み、自分の興味関心がどの分野にあるかを見極める期間とします。2年次後期より専門領域に分かれて基礎を学びます。

- ・広告やパッケージデザインを軸としたグラフィック表現の実践的研究
- ・イラストレーションの展開、アニメーションによる映像デザインの研究
- ・モーショングラフィック、実写などの映像デザインの研究
- ・各種素材を使った造形表現、空間造形表現などの研究
- ・木工、漆芸（塗装）を主とした器、家具などの自然素材によるクラフトデザインの研究

### デザイン実習II（3年次）

2年次で学んだ基礎をもとに各領域の課題に取り組み、さらに各領域が連携したコラボレーション課題で視野を広げ表現力を身につけます。後期に取り組む地域プレゼンテーション課題では3年次のまとめとして大学美術館にて展示、しまなみ交流館では発表を行います。

### デザイン実習III・卒業制作（4年次）

デザイン実習IIIでは自身で自由なテーマを設定し制作を行います。卒業制作では4年間の集大成として、その成果を尾道市立美術館にて展示・発表します。



廣中怜 〈 Freshwater Fish Of The World 〉 4年次卒業制作 ポスター



平方優希 〈 尾道しおさい金米糖 〉 3年次地域プレゼンテーション課題



世羅菜花 〈 MATOU 〉 4年次卒業制作 立体



梅田和見 〈 避難 〉 4年次卒業制作 立体



宇都宮怜奈 〈分身〉 4年次卒業制作 イラストレーション



青木志織 〈巡りの本棚〉 3年次地域プレゼンテーション課題



村上桃花 〈ギフト課題〉 2年次デザイン実習I



竹邊沙彩 〈モノクローム写真課題〉  
2年次デザイン実習I



林里穂 〈狐湯バスソルト〉  
3年次地域プレゼンテーション課題



長野風花 〈インテリアエレメント課題〉  
3年次デザイン実習II



山際菜月 〈うさこいーうさぎの島で恋をするー〉  
4年次卒業制作 映像



石井遙 〈イメージフォルム(鋳造)課題〉  
2年次デザイン実習I



楠朋果 〈コミュニケーションロゴ立体課題〉 3年次デザイン実習II



中川和奏 〈フォルム課題〉  
2年次デザイン実習I



辻江侑奈 〈ギフト課題〉 2年次デザイン実習I



松本未希(左)、神野茜(中)、岡本佳奈(右) 〈ランプシェード課題〉 1年次構成実習



小畠咲良 〈総合基礎実習〉 1年次総合基礎実習



菅原実夏 〈ハンガー課題〉 1年次構成実習

岡本佳奈 〈シルエット課題〉 1年次構成実習  
中嶋梨乃 〈自画像課題〉 1年次構成実習美術学科デザインコース3年  
北村 春菜

私は幼少期から絵を描くことが好きで、今でも熱心に取り組んでいます。私がデザインコースを選択した理由は、幅広いデザインの分野を知り「好きなこと」をデザインの分野と組み合わせて、ワクワクさせられるような表現を他者に届けたいと考えたからです。2年次ではグラフィックデザイン・アドバタイジング領域を選択し、ポスターやギフトデザインの制作など、幅広い分野のデザインに触れることができました。

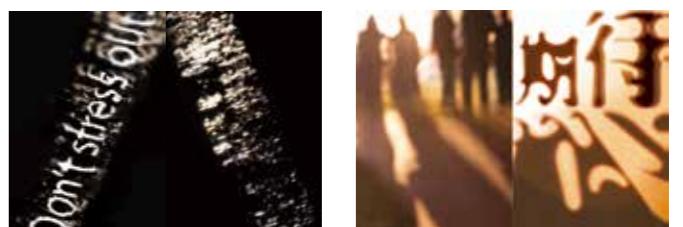
制作では行き詰まることが多かったのですが、領域内で定期的に行われるミーティングがそれを解決してくれました。ミーティングでは同じ領域の人と制作段階の作品共有や意見交換ができる領域内の先生からもアドバイスをいただけます。様々な意見を参考することで客観的な視点を持つことができ、段階的に課題に取り組むことができました。

私はこの「客観的に作品を見てどんどんブラッシュアップしていく段階」が達成感や自身の成長を感じられて非常に好きです。一番それを感じられたものが「ギフト」をテーマとした課題でした。誰に向かうどんなデザインかを設定することが非常に難しく、詰め込みすぎた情報の整理に悩みました。しかし、他者の視点を取り入れることで自分の目指す表現を明確にでき、客観的な情報整理をすることができました。この経験から「客観的な視点」を持つことが非常に重要だと学びました。

3年次では学んだことを活用し、広い視野で色々なことに挑戦したいです。そして他者をワクワクさせる表現を発信していきたいです。



〈ギフト課題〉 2年次デザイン実習I



〈運動課題〉 2年次デザイン実習I



〈出身地ポスター課題〉 2年次デザイン実習I

美術学科教員はキャンパス内で創作・研究を行っています。

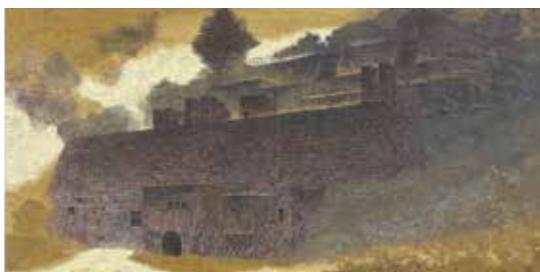
教員の研究室は美術学科棟の学生アトリエスペースの、廊下をはさんだ向かい側にあり、学生は多彩な専門領域で活動している教員の創作・研究現場を日常的に訪ることができます。

また、コース制をとっていることから、多くの創作・研究が共存していますが、各専門領域の垣根が低く、異なる領域の学生・教員間の対話が頻繁に行われているところも本学の美術学科の大きな特徴と言えるでしょう。

### 教授(日本画コース)

#### 中村 譲

1964年 香川県高松市生まれ  
1989年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業  
1991年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了  
1993年 東京藝術大学大学院美術研究科後期博士課程  
絵画日本画専攻単位取得退学  
1994年 東京藝術大学日本画科非常勤講師(～2001年)  
[公募展]  
1994年 再興第79回「院展」初入選／東京都美術館  
1995年 第50回「春の院展」初入選／日本橋三越本店  
2001年 第56回「春の院展」奨励賞(以後2007,08受賞)  
2003年 再興第88回「院展」奨励賞(以後2004受賞)  
2006年 再興第91回「院展」日本美術院賞(大観賞)  
(以後2008年受賞、同足立美術館賞)  
2013年 第68回「春の院展」春の足立美術館賞  
[個展・グループ展]  
1994年 「有芽の会」展 法務大臣賞／有楽町西武  
2001年 「更生保護」(法務省保護局月刊誌)  
担当月表紙絵個展／ナカジマアート／銀座  
2007年 中村謙日本画展「Favorite scene」高松天満屋  
(以後百貨店開催、2010,2012,2014,2019,2022,2023,2024)  
2017年 香川県文化芸術選奨表彰  
2022年 小林和賞  
現在 日本美術院同人、香川県文化芸術振興審議委員



〈東平の余韻〉 紙本彩色 180×360cm 2023



### 准教授(日本画コース)

#### 鈴木 恵麻

1997年 東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業  
1999年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程日本画専攻修了  
[歴史]  
1999年 第54回「春の院展」初入選  
2001年 「有芽の会」全国更生保護婦人連盟会長賞  
2002年 「有芽の会」法務大臣賞  
再興第87回「院展」初入選  
2004年 第59回「春の院展」奨励賞  
(以後2016, 2018, 2020, 2021, 2024受賞)  
2007年 再興第92回「院展」奨励賞  
(以後2009, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023受賞)  
2009年 再興第94回「院展」 天心記念茨城賞  
2018年 第73回「春の院展」春季展賞  
日本美術院奨学金  
[個展、グループ展]  
2004年 個展「レスポワール展」／銀座スルガ台画廊  
2009年 個展 EMA作品展—鈴木恵麻作品展—／そごう横浜(2011年)  
2013年 個展「更生保護」  
(法務省保護局月刊誌)担当月表紙絵個展／ナカジマアート  
2021年 個展「鈴木恵麻展」／尾道市立大学美術館  
2022年 箱根芦ノ湖成川美術館コレクション展／茨城天心記念五浦美術館  
2023年 セレネ美術館開館30年・宇奈月温泉開湯100年記念「日本画の  
新星たち展」／セレネ美術館  
現在 日本美術院 特待



〈郷愁〉 紙本彩色 166.5×211.4cm 2023



### 講師(日本画コース)

#### 山梨 千果子

2005年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科卒業  
2007年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(日本画)修了  
2011年 尾道市立大学MOU尾道市立大学美術館 スタッフ  
2013年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 助手(～18年)  
[受賞・展覧会歴]  
2005年 第7回広島県岡山県大学美術系卒業制作選抜展(ふくやま美術館／広島)  
2007年 第9回広島県岡山県大学美術系卒業制作選抜展特別賞  
(ふくやま美術館／広島)  
修了制作「ナゾしたく」・修了模写「法隆寺金堂第十一壁画(部分)模写」  
大学賞上賞  
2008年 第62回春の院展「涼音 すずおと」初入選(日本橋三越／東京・広島ほか巡回)  
現代の中国画と日本画展(グループ展)(ふくやま美術館／広島)  
HiBi 2008(グループ展)  
(MOU尾道市立大学美術館／尾道)’10,’12,’14年)  
2009年 再興第99回院展「聞こえるよ」初入選  
(東京都美術館／東京・広島ほか巡回)  
2010年 In Focus 展(グループ展)(MOU尾道市立大学美術館／尾道)  
2012年 描籠展(グループ展)(MOU尾道市立大学美術館／尾道)’15,’18年)  
2014年 ツナガルケシキ(グループ展)(大三島美術館／愛媛)  
2016年 第4回郷さくら美術館桜花賞展(郷さくら美術館／東京)  
2017年 再興第102回院展「なつのとおと」奨励賞  
(東京都美術館／東京・広島ほか巡回)  
はなの日(個展)(かわうそ画廊／東京)  
2018年 第73回春の院展「みえる みられる」奨励賞  
(日本橋三越／東京・広島ほか巡回)  
2021年 尾道市立大学日本画展(グループ展)(小津和紙ギャラリー／東京)  
2022年 第77回春の院展「節季」奨励賞(日本橋三越／東京・広島ほか巡回)  
現在 日本美術院 院友



〈梅雨晴〉 岩絵具、膠、麻紙 160×210cm 2023



教授(油画コース)  
**小野 環**

1973年 北海道函館市生まれ  
1996年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業  
1998年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画専攻修了  
1999年 東京藝術大学油画科非常勤講師(～2001年)  
現在 AIR Onomichi 代表、NPO法人尾道空き家再生プロジェクト副代表理事  
[個展]  
2000年 「キツネ作戦」／フタバ画廊／東京  
2002年 「小野環展」／appel／東京  
2005年 「gardens」／ギャラリーそわか／京都  
2008年 「gardens 植木鉢の冒険」／ふくやま美術館／福山  
2010年 「足下の境」／尾道市立大学美術館／尾道  
2013年 「ユートピアの迷子石」／Utopiana／ジュネーブ※  
2021年 「Re－edit」／光明寺會館／尾道  
[グループ展]  
2003年 ヒロシマアートドキュメント2003／旧日本銀行広島支店／広島  
2004年 VOCA 展／上野の森美術館／東京  
2007年 AIR Onomichi／尾道山手地区／尾道※(2011年※)  
2008年 tina.b プラハ国際現代芸術祭2008／プラハ市※  
2012年 UTOPIA～何処にもない場所～／百島／尾道※(2013,14年)  
2017年 dr／op Beyond Boundaries／グッドマンアートセンター／シンガポール  
2018年 「複数形の世界のはじまりに」／東京都美術館／東京  
2019年 ONLY CONNECT OSAKA／クリエイティブセンター大阪／大阪  
2021年 第24回岡本太郎現代美術賞展 特別賞／川崎市岡本太郎美術館／川崎  
2022年 「いにしによる一断片たちの囁きに耳を一」／瀬戸内海歴史民俗資料館／香川  
(※作家三上清仁とのユニット)



〈再編 スタンダード 正徳浜住宅〉、〈再編棚〉  
百科事典、接着剤、ガラス、金具 2023



准教授(油画コース)  
**橋野 仁史**

1982年 熊本県生まれ  
2007年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了  
尾道市立大学芸術文化学部美術学科 助手(～'17年)  
2017年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 助教(～'18年)  
2018年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 講師(～'22年)  
[主な展覧会]  
2007年 第81回国展／以後毎年  
2008年 第82回国展 絵画部奨励賞  
尾道からの「3人展」／アートガーデン／岡山  
2009年 国展 受賞作家展／井上画廊／東京  
2013年 Gg展／ふくやま美術館／福山／以後毎年  
2014年 第88回国展 会友賞、準会員推挙  
2015年 国展 受賞作家展／銀座アートホール／東京  
KKT／ギャラリー向日葵／東京／以後毎年  
2017年 個展 橋野仁史絵画展-Fog-／福山天満屋／福山／'19年  
2018年 Gg2展／福山天満屋／福山／以後毎年  
2019年 再考 人間と自然／広島県立美術館／広島  
2021年 中曾智子・橋野仁史2人展-風薫る-／GALLERY森・hako／福山  
個展 橋野仁史絵画展-光景-／福山天満屋／福山／  
2022年 meet a new／福山天満屋／福山／'23年



〈 Schliere 〉 油彩、キャンバス 194×162cm 2023



准教授(油画コース)  
**稻川 豊**

1974年 東京生まれ  
1997年 東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業  
2004年 CHELSEA COLLEGE OF ART AND DESIGN,  
ロンドン, MA FINE ART修了  
2007-09年 文化庁新進芸術家海外留学制度2年派遣／ロンドン／イギリス  
[個展]  
2007年 "Yutaka Inagawa Solo show"／New Art Center／ニューヨーク  
2008年 "Nonplace overlay"／Bodhi Gallery／ロンドン  
2009年 "Sensory Cocktails"／Gallery Zandari／ソウル・韓国  
"Crazytokyo"／Galerie Suty, Cote-la-Forêt／フランス  
2014～15年 "The invasion of Cyberspace"／Unit 24 Gallery／ロンドン  
2015年 OTAK JEPUN | Yutaka Inagawa | Lorong Kekabu／クアラルンプール  
2022年 符と思う | eASY mECHANISM／MOU 尾道市立大学美術館／尾道  
2023年 "Fluxosphere"／UUH OOH／香港  
2023年 "Speak Spindle つむ・くち" (2023)／Comma Space／シンガポール  
[グループ展]  
2007年 "Trajectories"／The Agency／ロンドン  
2007年 "The 8th SHINSAIMDANG Art Festival"／Gangueng Museum／韓国  
2008年 "Cosmopolis"／Pipy Houldsworth Gallery／ロンドン  
2017年 Floating Urban Slime／Sublime／アートギャラリーミヤウチ／広島  
2018年 I Say Yesterday, You Hear Tomorrow. Visions from Japan／Gallerie delle Prigioni／トレヴィーゾ／イタリア  
2019年 ONLY CONNECT OSAKA／クリエイティブセンター大阪／大阪  
2019年 Another Pair of Eyes(企画・出品)／Duddell's／香港



インストレーションビュー 符と思う eASY mECHANISM (2022)  
／MOU 尾道市立大学美術館



講師(油画コース)  
**西村 有未**

1989年 東京都生まれ  
2014年 東京造形大学造形学部美術学科絵画専攻 卒業  
京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻(油画) 修了  
2016年 京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期) 課程美術専攻研究領域油画  
修了・博士(美術) 学位取得  
[個展]  
2012年 「毛わらと油」美術出版社ピューリングスペース(東京)  
2013年 「TWS-Emerging2013: 例えは祖父まで、もしくは私まで。こんもりり出現」  
TWS 本郷(東京)  
2022年 「图形的登場人物と雪娘 シーズン2」FINCH ARTS(京都)  
2022年 「犬、石、物、語り(上巻)」JARMAS GALLERY(東京)  
2023年 「呼水(图形的登場人物たち)」Ritsuki Fujisaki Gallery(東京)  
「犬石物語(I still live there)」FINCH ARTS(京都)  
[グループ展]  
2010年 「現役美大生の現代美術展 -Produced by X 氏-」Kaikai Kiki gallery,  
Hidari Zingaro(東京)  
2016年 「第3回CAF 賞入選作品展」3331 Arts Chiyoda(東京)  
2021年 「絵画の見かた reprise」JK Contemporary(東京)  
2021年 「Encounters in Parallel ANB Tokyo(東京)  
2021年 「猫とマチエール」MtK Contemporary Art(京都)  
2022年 「Kyoto Art for Tomorrow 2022 -京都府新銘選抜展-」京都文化博物館(京都)  
2022年 「或る絵肌-物語るマチエール-」日本橋三越本店本館6階美術サロン(東京)  
[コレクション]  
山梨学院大学、高橋龍太郎コレクション、KANKURO UESHIMA COLLECTION  
[ワークショップ]  
2019年 練馬区立美術館  
[賞ほか]  
三菱商事アートゲートプログラム2013 奨学生、第3回CAF賞坂健二朗賞



〈犬、石、物、語り(上巻1-9)〉 oil and oil bar and acrylic on canvas H1400 x W1400mm 2023



教授(デザインコース)  
**桜田 知文**

1960年 広島県広島市生まれ  
1984年 東京藝術大学美術学部工芸科卒業  
1986年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程鑄金専攻修了  
[制作歴、受賞歴]  
1987年 第3回現代九州彫刻展 入選(石橋美術館)  
1991年 広島パークビル前に野外彫刻設置  
1992年 第30回日本現代工芸美術中国会展 広島市長賞受賞  
1993年 洞爺村国際彫刻ビエンナーレ 作品賣上('97年も賣上)  
1995年 第34回日本現代工芸美術展 現代工芸大賞受賞  
1997年 さかいでArtグランプリ'97 秀作賞受賞(坂出市民美術館)  
1998年 第1回佐野ルネッサンス鑄金展 入選(第2回も入選)  
2000年 第40回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員40回記念賞受賞  
2004年 第43回日本現代工芸美術展 現代工芸本会員賞受賞  
2005年 尾道市小中学校芸術祭 グランプリトロフィー制作  
2009年 八千代の丘美術館 第8期入館  
2010年 東尾道彫刻公園に野外彫刻設置  
2012年 第44回日展 特選受賞  
2016年 東広島市立美術館 作品収蔵  
2020年 桜田知文作品展 -こころのままに-(美術館あいとあい・ささ)  
2022年 第9回日展 特選受賞  
現在 日展準会員、現代工芸美術家協会評議員



〈翔(かける)〉  
アルミニウム・真鍮 H62×W50×D23cm 2023



准教授(デザインコース)  
**伊藤 麻子**

2005年 愛知県立芸術大学 美術学部 デザイン工芸科 卒業  
株式会社GKグラフィックス勤務(~2008)  
2011年 東邦高等学校 美術科 非常勤講師(~2012)  
2012年 大垣女子短期大学 デザイン美術学科 講師(~2017)

[活動歴]

2005年~2008年  
(デザイン制作会社勤務中の実務)  
果汁飲料 PETボトル パッケージデザイン  
缶コーヒー パッケージデザイン  
紅茶ギフト パッケージデザイン  
化粧品 パッケージデザイン  
文具パッケージデザイン 他

2009年~  
「skin sweets」パッケージデザイン  
展示会「二人ノ図鑑展」(2014、表参道)  
展示会「感覚のかたち」(2019、デザイン教員展)  
緑茶商品パッケージデザイン他  
グラフィックデザイナーとしてデザイン業務に携わりつつ、  
真鍮による立体造形表現も思索している



〈市之瀬の里 ブランディングデザイン〉 茶袋 2021



〈 Shimanami Water リデザイン 〉  
ラベル 2021



准教授(デザインコース)  
**林 宏**

1967年 大阪生まれ  
1994年 東京藝術大学美術学部工芸科 卒業  
1996年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程漆芸専攻 修了  
2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 准教授  
[活動歴]  
2005年 日本文化財漆協会 常任理事  
2011年 ナチュラルマテリアルプロジェクト 循環型自然素材の開発及び研究  
2013年 漆芸を支える道具の調査研究  
作品収蔵 東京藝術大学 フィラデルフィア美術館  
[展覧会歴]  
2012年 東京藝術大学創立125周年記念事業「漆芸 軌跡と未来」  
招待出品(東京藝術大学)  
ナチュラルマテリアルプロジェクト(六本木ル・ペイン)  
器奏天回茶展(うおがし銘茶 築地新店)  
日本のいろ展2012(松岡山東慶寺 白蓮舎)  
2013年 個展 林宏 漆の器展(栃木 アルゴノート)  
japanin vari [Natural material projects] (フィンランド ヘルシンキ)  
2014年 壱木呂の会展(新宿 伊勢丹)  
漆芸二人展(瑞玉ギャラリー 東京)  
2015年 草木と漆の器展(代官山 無垢里)  
日本のいろ展(松岡山東慶寺ギャラリー)  
2016年 草木と漆の器展(代官山 無垢里)  
2017年 壱木呂の会展(松岡山東慶寺ギャラリー)  
2018年 陶と漆の器展(代官山無垢里)  
2019年 感覚のかたち展(MOU尾道市立大学美術館)  
陶と漆の器展(日本橋三越)  
2022年 はじまりのかたち展(MOU尾道市立大学美術館)



〈耳付漆皿〉 W320×D285×H15  
ブラックチェリー、漆 2019

**Hayashi hiroshi urushi design**

<https://www.hayashihiroshi.net>

**尾道市立大学 デザインコース クラフトデザイン**  
<https://ononichi-craftdesign.myportfolio.com>



准教授(デザインコース)  
**黒田 教裕**

1987年 宮崎県生まれ  
2011年 武蔵野美術大学造形学部映像学科卒業  
2014年 武蔵野美術大学大学院造形研究科  
デザイン専攻映像コース退学

[活動歴]

2014年 「Media Ambition Tokyo 2014」  
六本木ヒルズ52F 東京シティービュー  
2015年 「New Creators Competition 2015」  
静岡クリエイター支援センター CCC  
2016年 「2016 CHANGWON ASIA ART FESTIVAL」 韓国・昌原市  
2019年 「続々 三澤 遥」ギンザ・グラフィック・ギャラリー(映像編集)  
「松島オープンスタジオ」岡山県倉敷市 松島分校美術館  
(公開滞在制作)  
「まにわ映像フェスティバル2019 勝山スクリーン・フィールド」  
岡山県真庭市  
「感覚のかたち」デザイン教員展 尾道市立大学美術館  
2022年 漆 田代明樹男・映像 黒田教裕「物質と記憶」のトレモロ  
三原市芸術文化センターボボロ



〈光凧— Quiet Shine〉 映像 20分ループ UHD30p 2023



講師（デザインコース）  
**西原 美彩**

1991年 広島県広島市生まれ  
2014年 広島市立大学芸術学部デザイン工芸学科卒業  
2016年 広島市立大学大学院芸術学研究科造形計画研究修了  
広島放送株式会社勤務  
2018年 広島市立大学芸術学部  
映像メディア造形研究室 非常勤助教

## [活動歴]

- 2014年 短編アニメーション「男と青虫」  
第2回新県美展（広島県立美術館） 優秀賞
- 2015年 短編アニメーション「二十億光年のくしゃみ」  
ICAFF2015 上映
- 2016年 短編アニメーション「そぞろ」  
ICAFF2016 上映
- 2022年 短編アニメーション「鬼、布と塩」  
第9回新千歳空港国際アニメーション映画祭 北洋銀行賞受賞  
第31回CGアニメコンテスト 入賞  
第24回DigiCon6JAPAN 奨励賞  
日本アニメーション協会入会
- 2023年 幻想の神楽 西原美彩展 -鬼、布と塩- アニメーションとその周辺  
第18回吉祥寺アニメーション映画祭 ジブリ美術館賞  
広島文化新人賞 受賞



〈鬼、布と塩〉 アニメーション 11分 2022



教授（日本美術史・博物館学）  
**市川 彰**

1971年 愛知県生まれ  
1995年 京都大学文学部美学美術史学専攻卒業  
2001年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程（美学美術史学専攻）単位取得退学  
2000～03年 萬野美術館学芸員  
2004～07年 京都文化博物館総務課主事  
2007～12年 京都文化博物館学芸課学芸員

## [論文等]

- 1997年 絵描きの玉手箱 伊藤若冲の鶴  
『茶道雑誌』第61巻第1号 河原書店
  - 1999年 若冲画に示されたもの -「動植綵絵」以前の三件の鶴を主題とする着色表現をめぐって-  
『研究紀要』第20号、京都大学文学部美学美術史学研究室
  - 2007年 若冲画に示されたもの2 -「初期作品」「雪梅雄鶴図」をめぐって-  
京都文化博物館紀要『朱雀』第19集
  - 2014年 名所圖会に記された京都の「名宝」(一)  
尾道市立大学芸術文化学部 紀要 第13号
- [展覧会]
- 2008年 永樂即全『源氏物語五十四帖』と十七代永樂善五郎展  
京都文化博物館企画展
  - 2008年 『読む、見る、遊ぶ 源氏物語の世界～浮世絵から源氏意匠まで～』展  
京都文化博物館特別展



准教授（西洋美術史・美学）  
**西嶋 亜美**

北海道旭川市出身  
2006年 京都大学文学部人文学科卒業  
2009年 京都大学大学院文学研究科修士課程修了・博士後期課程進学  
2010～2012年 パリ・ソルボンヌ大学美術考古学研究所招待研究員  
2013年 京都大学大学院文学研究科博士後期課程研究指導認定退学  
京都大学博士（文学）

## [研究歴]

- 専門はフランス近代美術史で、画家ドラクロワやオリエンタリズムについて研究しています。
- ・『ウジェーヌ・ドラクロワの物語画と文学』京都大学大学院文学研究科課程博士学位論文、2016年
  - ・「ドラクロワによる二点の『ジャウールとハッサンの闘い』—戦闘イメージの起源と北アフリカ旅行の意義をめぐる考察—」『日仏美術学会会報』(34)、2015年、3-23頁
  - ・「ドラクロワの『日記』における絵画と文学の位置付け—主題、表現形態、制作過程の三つの観点から—」『藝術研究』(28) 2015年7月、31-45頁
  - ・「ドラクロワの『モロッコ旅行記』試訳』『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第16号、2017年、69-86頁
  - ・「ドラクロワ「ブッサン論 I、II」(1853年)試訳』『尾道市立大学芸術文化学部紀要』第21号、2022年、67-80頁
  - ・「19世紀中葉のパリで描かれた同時代の恋愛イメージ—クールベ作《田園の恋人》とワルツの図像」  
伊藤公雄・杉本淑彦編『ヴィジュアル・カルチャーの中の親密圏』京大出版会、刊行予定





助手(日本画コース)  
**村松 航汰**

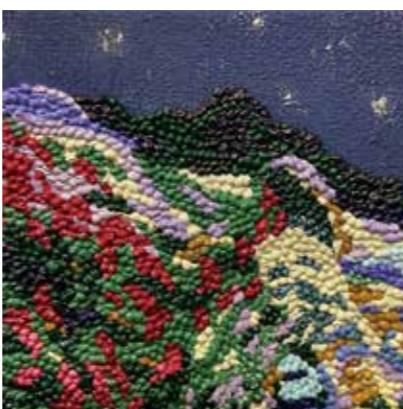
1999年 広島県生まれ  
2021年 2020年度美術学科卒業・修了制作展 大学買い上げ  
第10回美術新人賞デビュー 2022年 入選  
2022年 第20回アートギャラリーホーム 入選  
第77回「春の院展」 初入選  
再興第107回「院展」 初入選  
「尾道市立大学日本画選抜展 一明日の会ー」  
(福山天満屋／広島) [‘23]  
「小さな生き物たち」(みたらしギャラリー／広島)  
個展「村松航汰 日本画展」(東広島芸術文化ホールくらら／広島)  
尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(日本画)修了  
個展「村松航汰 日本画展」(ギャラリー杉／秋田)  
「第31回チャリティー・アート展」(ギャラリー杉／秋田)  
「冬の風景展」(鈴画廊／東京)  
2024年 「気更来会」(岡山天満屋／岡山)  
現在 日本美術院 研究会員



〈暗夜なれども〉 紙本彩色 170×215cm 2023



修了制作展 展示風景 平面、インスタレーション 2023



〈星が煌めく夜に〉キャンバスに油彩  
75×75mm 2023



助手(油画コース)  
**名座 昌美**

1997年 岡山県生まれ  
2019年 ONLY CONNECT 企画補助／クリエイティブセンター大阪／大阪  
2023年 尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了  
[グループ展]  
2017年 「MYO」／かしく／岡山市  
2021年 「キリトル・社会的摩擦から生じる〇〇-」  
／Gallery Cafe ULTRA／尾道市  
「初期微動」／おのみち歴史博物館／尾道市  
2024年 「花くらべ」／Gallery SPACE 魁謳る／福山市  
「LUFF／ラフ」／Offline集会所 Space／尾道市



助手(デザインコース)  
**小西 美幸**

1997年 香川県生まれ  
2019年 2018年度美術学科卒業・修了制作展 大学買い上げ  
令和元年度 小林和作奨励賞 受賞  
2020年 2020・ZERO展 0号展 入選  
「CROSS OVER Vol.25」(Yao Alternative Space／台湾・台中)  
広島銀行尾道支店にて作品展示／尾道市  
「Vigor 2021-GALLERY ART POINT 推薦作家美大選抜展」  
(GALLERY ART POINT／東京)  
2021年 奥野ビルギャラリーズアート展 入選  
尾道市立大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了  
尾道市役所にて作品展示／尾道市  
「しまなみ海道・秋の音楽休暇村2021」にて舞台背景の絵画制作／尾道市  
2022年 「キリトル - 社会的摩擦から生じる〇〇-」(Gallery Cafe ULTRA／尾道市)  
2024年 「尾道市立大学美術学科助手展 花くらべ」  
(ギャラリースペース魁謳る／福山市)

**赤木 範陸** テンペラ画技法演習  
横浜国立大学 教授

**秋山 隆** 彫刻  
木彫家

**足立恵理子** 比較芸術論  
早稲田大学 非常勤講師

**荒木 泰恵** 古美術研究演習  
東京藝術大学 古美術研究施設 助教

**石多未知行** デザイン総合演習(大学院)  
一般財団法人 プロジェクション  
マッピング協会理事

**今井 良枝** 美術解剖学  
周南市美術博物館 学芸員

**今氏 亮二** 情報機能論  
有限会社ホットタイプ工房 代表取締役

**太田 啓介** デザイン学特講(大学院)  
(株)オリエンタルコンサルタンツ 技師

**大野 直樹** 図法及び製図(助手)  
アーティスト

**加藤 芳夫** 情報機能論  
元サンタリー食品インターナショナル(株)  
シニアクリエイティブディレクター

**亀岡 知子** デザイン学特講(大学院)  
株式会社りそなホールディングス 弁護士

**神邊 篤史** 人間工学概論  
名古屋経済大学 准教授

**きりとりめでる** 絵画総合演習  
美術評論家

**天王寺谷千裕** 芸術論特講II(大学院)  
京都大学 非常勤講師

**佐古 百美** 情報機能論  
絵本作家 イラストレーター

**白木 彰** デザイン論  
グラフィックデザイナー  
愛知県立芸術大学 名誉教授

**菅原 智子** 壁画技法演習  
美術家

**杉井 隼人** 彫刻(助手)  
美術家

**坂梨 好香** 版画制作演習(助手)  
美術家

**佐々木成美** 絵画総合演習  
アーティスト

**大悟法淳一** 編集とデザイン  
株式会社ごぼうデザイン事務所 代表

**高橋早紀子** 東洋美術史I  
愛知学院大学 准教授

**武雄 文子** 版画制作演習  
アーティスト

**田代 昭夫** 塗装法演習  
塗芸家

**田中 健一** 芸術論特講I(大学院)  
京都大学 准教授

**田部 健次** 金工演習、デザイン実習I(鍍金)  
金工作家

**苦名 悠** 東洋美術史II、古美術研究演習  
佛教大学 講師

**玉木 明** 情報機能論  
日本郵便株式会社 切手デザイナー

**月岡 裕二** 日本国際実習I(箔押し、砂子、切金技法)  
東京藝術大学 非常勤講師、作家

**中曾 智子** デザイン実習I(陶芸技法)  
陶芸家

**西川真理子** 写真(映像)演習(助手)  
デザイナー

**野田 尚之** 写真(映像)演習、情報機能論、  
デザイン実習I  
シネマトグラファー

**深谷 訓子** 芸術文化論  
京都市立芸術大学 准教授

**福井 一尊** 金工演習  
島根県立大学人間文化学部 准教授

**福田 栄一** 日本国際実習I(裏打ち)、日本画研究BII  
福田錦堂代表取締役

**藤田 重信** 編集とデザイン  
フォントワークス株式会社  
フォントデザイナー

**久保 博雅** 情報処理演習  
四国大学助教

**藤田 紗衣** 版画制作演習  
美術家

**多田羅景太** デザイン史I、II  
京都工芸織維大学 助教

**松岡 剛** 空間造形論  
広島市現代美術館 主任学芸員

**松本 祐助** 木工演習、実習技術指導員(木工)  
家具作家

**真野 洋介** デザイン学特講(大学院)  
東京工業大学大学院社会理工学研究科  
准教授

**村岡貴美男** 日本画材料技法演習(大学院)  
日本美術院同人、女子美術大学 教授

**村上 由記** 金工演習(助手)  
造形作家

**室井 悠輔** 絵画総合演習  
アーティスト

**弥中 敏和** 情報機能論  
株式会社 GKデザイン総研広島 代表取締役

**山本 晶大** 木工演習(助手)  
美術家

**吉田 真菜** 塗装法演習  
塗芸作家

**山崎 曜** デザイン実習I、  
デザイン総合演習(大学院)  
製本家

**山田 祐子** 文化財保存学概論  
文化財修復技術者

**山本 基** 空間造形論  
美術家

**世永 逸彦** デザイン実習I、II、III、卒業制作  
グラフィックデザイナー

**渡邊 義孝** 建築環境論、空間造形論、図法及び製図  
一級建築士、風組、渡邊設計室主宰

美術学科では、卒業・修了制作展を開催しています。  
学部4年間、大学院2年間の集大成となる展覧会です。

学生時代の集大成としての卒業制作はとても重要なものです、卒業制作はアトリエで制作して終わりではありません。

美術学科では、毎年、学部4年間、大学院2年間の制作・研究の成果を発表する機会として尾道市立美術館と尾道市立大学美術館で卒業修了制作展を開催しています。学生たちは展覧会の計画から広報活動、図録制作、展覧会運営、終了後の次世代への引き継ぎという一連の活動をカリキュラムの一環として経験することになります。例えば、毎年自分たちでカタログを制作し、関係方面に配布すると同時に、展覧会を訪れる方々に販売しています。このような展覧会の成り立ちを実際に経験することが、卒業後の活動の糧となることに期待しています。



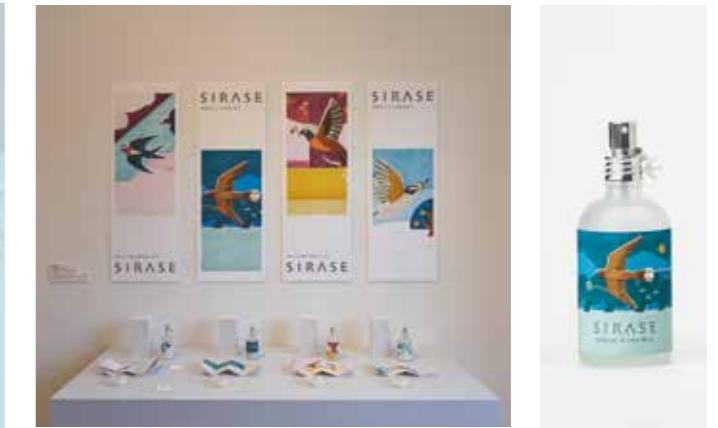
日本画コース卒業・修了制作展優秀作品 山口 咲笑 〈煌びやかな温度〉  
4年次卒業制作 麻紙、岩絵具、膠 227.3×181.8cm



油画コース卒業・修了制作展優秀作品  
前田 翼 / 餅花 〈ironiks〉 修了制作  
キャンバスに油絵の具、アクリル絵の具、ペン、鉛筆、ポリ塩化ビニールなど



デザインコース卒業・修了制作展優秀作品 田中 美帆 〈 SIRASE 〉 4年次卒業制作  
ガラスボトル / パッケージ / リーフレット / ポスター  
ガラス、紙など



美術学科は今年度で23年目を迎え、多くの卒業生たちが専門業界で活躍しています。そんな卒業生3名から近況をレポートしてもらいました。

卒業生はどのような活動をしているのでしょうか。学部卒業後大学院に進学し、さらに専門分野での制作を重ね、作家を志向する人がコンスタントにいます。

絵画系(日本画、油画)の卒業生の中には創作活動を継続するためにアルバイトをしながら生活している卒業生も毎年一定数いますが、近年増加しているのが、中学、高等学校の美術の非常勤講師です。中には複数の学校を掛け持ちで勤務している卒業生もいます。

デザイン系では、専門のスキルを活かして、広告代理店やメーカー、デザイン制作会社、映像制作会社、放送局、ゲーム制作会社などへの就職の他、イラストレーター・アニメーターとして制作を続けている卒業生もいます。



2021年  
日本画コース卒業  
**中武 竜也**

2021年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科(日本画)卒業  
2021年 尾道市立大学大学院美術研究科(日本画)中退  
~現在 宮崎県立佐土原高等学校 常勤講師  
【展覧会・受賞歴】  
2021年 「中武竜也展」(三軒家アパートメント／尾道市)  
2021年 「作品展」(apanda／尾道市)  
2022年 「3seconds」(gallery root4／宮崎)  
2023年 第3回宮崎総合美術展 入選



〈道草〉 麻紙、岩絵具、膠 91×116.7cm 2022



〈未自然体〉 麻紙、岩絵具、膠  
145.5×89.4cm 2024



2020年  
油画コース卒業  
**南 泉水**

2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 油画コース卒業  
2020年 アパレルEC運営会社にWEBデザイナーとして入社  
2022年 広告制作会社にイラストレーター・デザイナーとして入社



株式会社アッカインターナショナル「ALIS」  
パンフレット表紙イラスト



東映アニメーション株式会社 新卒採用サイト  
デザイン・イラスト



「THE RAMUNE LOVERS」  
ノベルティ デザイン・イラスト



「THE RAMUNE LOVERS」  
POP UP ショップ 内装デザイン・イラスト

私は油絵コースを卒業し、アパレルECを運営する会社のWEBデザイナーとして1年半ほど勤めた後、広告制作会社へ転職しました。現在は社内でイラストレーター兼デザイナーの役割を持ち、作家性と商業性を兼ね備えたイラストレーターとして独立するため、日々奮闘中。イラスト制作をメインにさまざまなデザイン、またアートディレクションに近い仕事にも携わっています。大学時代、制作に向き合い続けたエネルギーや、興味の赴くままになんでも描けた時間、そして先生方の自由な考えに触れられたこと、すべてが今仕事としている誰かのためのクリエイティブに活かされています。

"作品をつくる時間"はさまざまな要素から構成されています。どの要素をどう花開かせるか、学生の皆さんにはぜひ楽しんで探索してほしいです。



2020年  
デザインコース卒業  
**有岡 穂香**

2020年 尾道市立大学芸術文化学部美術学科 デザインコース卒業  
2020年 株式会社GKグラフィックスにデザイナーとして入社



2021  
大分県 DX推進戦略 イラストレーション  
大分県

私は大学卒業後、株式会社GKグラフィックスにデザイナーとして入社しました。パッケージデザインを主軸に、イラストレーション、ブランディング、UIなど様々な仕事に携わっています。自分のデザインしたものが実際に多くの人の目にふれる仕事なので、緊張感を持つつもやりがいを感じながら楽しく仕事を取り組んでいます。

大学時代はグラフィックデザインをメインに学んでいました。地域活性化企画や卒業制作など様々な課題で得た、グラフィックを作り込む力や本質を見つけようとする姿勢は、今の仕事に活きていると思っています。仕事は充実しているがらも、深く研究したり新たなことを勉強したりする時間は学生時代ほど取れていないのが現状です。皆さんには、今だけの時間を大切にしながらいろいろなことにチャレンジして欲しいです。



2022  
素材がおいしいさつまいも / 素材がおいしい栗  
カルビー株式会社



2023  
Lipton ジャスミンミルクティー  
森永乳業株式会社

尾道市立大学附属図書館 新館 2025年度完成予定



## Various Facilities 各種施設

尾道市立大学美術館

地域総合センター

尾道市立大学附属図書館

情報処理研究センター

教職支援センター

国際交流センター

医務室・学生相談室

キャリアサポートセンター

# 2024-2025 Museum of Onomichi City University MOU

2008年、尾道市立大学美術学科教育・研究プロジェクトとして、MOU尾道市立大学美術館における展示企画をスタートしました。以来、当館では本学美術学科・研究科学生、卒業生及び教員を中心に大学における教育・研究成果を様々な角度から発表してきました。



尾道市立大学美術館  
浦崎 葉子



第18回 大学院美術研究科修了制作展



アーティストトーク



DANCE , such as / 油画3年次 進級制作展



ワークショップ



カリキュラム -授業作品展-



MY FAVORITE THINGS —野崎眞澄退任展—／トークイベント

## 2024年度のスケジュール

7月開催の「Curriculum - 授業作品展 -」では、現在の大学のカリキュラムを網羅的に紹介。8月には油絵コース卒業・修了生4名による自主企画展「遊びをせんとや生まれけむ」、10月の卒業生の活動に焦点を当てる企画「In Focus (インフォーカス)」では、それぞれの領域で活発に創作活動を展開している3名の作品を紹介。12月には「岸む音 / 際の上 : Murmuring Shores / On the Brink」を開催。シンガポールの作家達は、展覧会前に小林和作旧居にてアーティスト・イン・レジデンスに参加し、作品制作を行う予定です。他にも、授業と連携した3企画を開催。大学院美術研究科「進級制作展」のほか、油絵コース3年次「進級制作展」、デザインコース3年次「地域プレゼンテーション課題」では、展覧会の一連の流れや展示作業についても学生が主体的に取り組みます。年度末には開学以来、大学として収蔵してきた卒業・修了制作や歴代退任教員の作品群を紹介する「所蔵作品展」を開催予定です。

Schedule	
4	卒業制作・修了制作 優秀作品展 3月23日(土)～4月14日(日) 休館日水・木曜日 午前：8時半～16時後半は閉鎖されます。
5	A DAY IN THE LIFE (世永透彦 / 退任展) 4月27日(土)～5月2日(日) 休館日水・木曜日 午前：8時半～16時後半は閉鎖されます。 午後：14時～17時後半は開館します。 後半：17時～20時後半は閉鎖されます。
6	Curriculum - 授業作品展 - 7月6日(土)～8月12日(日) 休館日水・木曜日 午前：8時半～16時後半は閉鎖され、午後：14時～17時後半は開館されます。 午後：17時～20時後半は閉鎖されます。
7	遊びをせんとや生まれけむ 8月26日(月)～9月27日(日) 休館日水・木曜日 午前：8時半～16時後半は閉鎖され、午後：14時～17時後半は開館されます。 午後：17時～20時後半は閉鎖されます。
8	In Focus 15 -卒業生の現在- 10月19日(土)～11月24日(日) 休館日水・木曜日 午前：8時半～16時後半は閉鎖され、午後：14時～17時後半は開館されます。 午後：17時～20時後半は閉鎖されます。
9	岸む音 / 際の上 : Murmuring Shores / On the Brink 12月14日(土)～1月20日(日) 休館日水・木曜日 午前：8時半～16時後半は閉鎖され、午後：14時～17時後半は開館されます。 午後：17時～20時後半は閉鎖されます。
10	美術学科油絵コース3年次 進級制作展 3月18日(土)～3月2日(日) 休館日水・木曜日 午前：8時半～16時後半は閉鎖され、午後：14時～17時後半は開館されます。
11	第21回 卒業制作展・第19回 修了制作展 2月7日(金)～2月16日(日) 休館日無休 大学での制作活動を実現。午前：8時半～16時後半は閉鎖され、午後：14時～17時後半は開館されます。
12	第22回 地域プレゼンテーション課題 2025 2月22日(土)～3月25日(火) 午前：8時半～16時後半は閉鎖され、午後：14時～17時後半は開館されます。
13	所蔵作品展 3月15日(土)～4月6日(日) 休館日水・木曜日(祝日無休) 本学美術学科所蔵の上位卒業作品の展示を行います。



お問い合わせ窓口

TEL: 0843-30-7911

E-mail: [info@onoma.ac.jp](mailto:info@onoma.ac.jp)

尾道市は商都として約850年もの長い歴史を有し、古代から現在に至るまで様々な文化を育んできたまちです。旧市街地を歩くと、あらゆる時代が混ざり合った不思議な魅力のあるまちであると感じることが出来ます。この地を何度も訪れる観光客が多い理由は、「まだすべてを見ていないのではないか」とか「何度も来ているはずなのに、ここは来たことがない」など、市街地や斜面地の路地が複雑に絡まったラビリンスに魅せられているからなのかもしれません。新たな店が不思議な場所に突然登場するのも、また、時を経るとその店が次第に尾道の風景として馴染んでくるのも、このまちの持つている歴史の融合感覚といえます。

そんなまちにある尾道市立大学の理念の一つに地域貢献があります。地域社会との連携は開学以来取り組んできた本学の大きな特徴と言えるでしょう。そのなかで、学生と教員の長期間の取り組みで花開いたプロジェクトも少しずつ増えてまいりました。地域貢献活動の成果は、参加した学生達の糧となっていることは言うまでもなく、社会に出てからも、それらの経験がそれぞれの活躍の場で役立っています。学生たちが地域貢献を行うなかで得た知識や経験は、様々なコミュニティとの関わり、つまり基礎的・社会力養成にもつながっていると確信しております。



地域総合センター  
高垣 美晴



尾道文学談話会広報物



尾道学入門

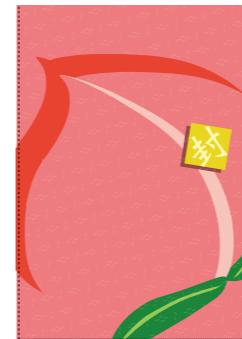


教養講座

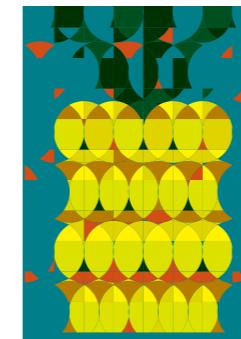
## 2023年度受託研究(抜粹)

### 紙製エコファイルデザイン制作

研究期間：2023年4月～9月  
依頼元：株式会社小山オフセット印刷所



美術学科4年 島亜美



美術学科4年 平方優希



美術学科4年 溝口有希

### 水道100周年記念ロゴ制作

研究期間：2023年9月～10月  
依頼元：尾道市上下水道局  
担当教員：世永逸彦  
(尾道市立大学名誉教授)  
参加学生：3名



美術学科4年 松崎菜月



美術学科4年 小笠原実穂

### 株式会社京泉工業50周年記念ロゴ制作

研究期間：2023年4月～6月  
依頼元：株式会社京泉工業  
担当教員：世永逸彦  
(尾道市立大学名誉教授)  
参加学生：3名

### アート偏光板を活用した地域活性化企画提案・モックアップ制作

研究期間：2022年4月～2024年3月  
依頼元：日東電工株式会社尾道事業所  
担当教員：桜田知文 (美術学科教授)  
林宏 (美術学科准教授)  
参加学生：2名



美術学科4年 堀愛深



ほか4件  
受託研究6件 受託事業2件 計8件

## 2023年度 開催講座(主催)

### 尾道学入門公開授業(全7回)

2023年5月～7月開催  
講師：大谷治、村上選、幸野昌賢、豊田雅子、真野洋介、寺杣雅人、  
大谷悠(すべて外部招聘講師)

### 尾道文学談話会(全5回)

2023年5月～9月  
講師：芸術文化学部日本文学科を中心とした本学教員、  
外部招聘講師

### 教養講座(全3回)

2023年10月2日、17日、31日  
第1回 宮谷聰美(日本文学科教授)  
「『源氏物語』を読んでみる—『帯木巻』—」  
第2回 森本幾子(経済情報学科教授)  
「地域社会が変わるとさき  
一江戸時代尾道を訪れた旅人の役割—」  
第3回 西村有未(美術学科講師)  
「油彩技法とその変遷」

## 2023年度 開催講座(共催)

### 経済情報学部小川ゼミスペシャル

2023年4月8日開催  
「晩代おばあちゃん講演&トークショー」  
講師：石井哲代(『102歳、一人暮らし。』著者)  
小川長(尾道市立大学名誉教授)

### 経済情報学部小川長教授退職記念最終講義

2024年2月10日開催  
「ボクが学者として考えてきたこと」  
講師：小川長(尾道市立大学名誉教授)

### 尾道市立大学「尾道の『顔』－町としてのイメージ形成－」研究会

2024年2月28日開催  
「公開研究会『尾道の町の顔』」  
講師：藤本真理子(日本文学科准教授)、  
森本幾子(経済情報学科教授)、吉田宰(日本文学科講師)

## 2023年度 開催講座(協力)

### 尾道市立大学情報科学研究会

「ウェブ調査再考：ウェブ情報資源の可能性と課題」  
2023年12月7日開催  
講師：岡本真(外部招聘講師)

### 第21回地域プレゼンテーション課題

展示会 2024年2月22日～3月4日開催  
発表会 2024年3月2日開催  
芸術文化学部美術学科デザインコース3年生

### 尾道市立大学コンピュータ公開講座

「After Effectsでモーションタイポをつくってみよう」  
2024年3月16日開催  
講師：黒田教裕(美術学科准教授)



情報処理研究センターは、コンピュータや通信ネットワークなどから構成される尾道市立大学の情報システムを効率的に管理・運営し、教育・研究・教務の情報技術による高度化を推進するための機関です。

2023年10月の情報システム更改では、ノートパソコンやスマートフォンを携行する学生のため、キャンパス内のWi-Fi拡充、メールシステム等のセキュリティ強化、利便性向上を図りました。

また、進化し続ける情報社会に対応したセンターを目指しており、地域貢献と研究活動の推進などを目的として、コンピュータ公開講座や情報科学研究会なども開催しています。



第35回 情報科学研究会（2023年度）



情報処理研究センター  
田上 勝二

## 設備・サービス一覧

### ●情報設備

サーバ：4台（仮想サーバ：37台）、Windows PC：88台、iMac：40台  
貸出用ノートPC：Windows PC、MacBook  
パソコン室（翠明館自習室）：平日22時、休日20時30分まで利用可  
パソコン対応教室：中講義室（225座席）1、小講義室（120座席）2

### ●提供サービス

SINETへの接続による高速インターネット通信の提供  
ポータルサイト（授業情報等の連絡、履修登録など）  
学生証（ICカード）による、図書、出席管理、印刷システムの利用  
Wi-Fi（学内115箇所にアクセスポイントを設置）  
オンデマンド印刷（4箇所、12台設置）、クラウドメールサービス  
学外からのVPN接続、Microsoft Office、ウイルス対策ソフトの配布  
当センターホームページによる情報システム利用マニュアルの公開

### ●人的サービス

専門性に優れた上級生・大学院生をシステム運用補助員に採用し、学生の質問等にすぐ答えられる体制をとっています。時間外でも、平日は翠明館のパソコン教室及び自習室を午後10時まで開放し、予習・復習の便宜を図っています（休日（土日祝）は午後8時30分まで利用できます）。

## 2023年度 情報処理研究センター主催行事

### ●年度初めの新入生情報セキュリティ講習会（ビデオ オンデマンド方式）

2023年4月7日～2023年4月14日

「情報モラル編」  
南郷 篤（経済情報学部 教授）

### ●第35回 情報科学研究会（対面）

2023年12月7日 13:10～14:40

「ウェブ調査再考：ウェブ情報資源の可能性と課題」  
岡本 真（アカデミック・リソース・ガイド株式会社 代表取締役）

### ●情報セキュリティ講習会（対面）

2023年12月14日 13:10～14:40

学生向け：「情報モラル編+日常のセキュリティ編の一部」  
南郷 篤（経済情報学部 教授）  
2023年12月14日 14:50～16:20  
教職員向け：「日常のセキュリティ編」  
南郷 篤（経済情報学部 教授）

### ●コンピュータ公開講座（対面）

2024年3月16日 13:00～17:00

「After Effectsでモーションタイポをつくってみよう」  
黒田 敦裕（芸術文化学部美術学科 准教授）



教職支援センターは、教員を目指す学生を支援する機関です。運営委員を担当する各学科教員が教職課程全般のガイダンス、授業の履修方法や計画の指導、介護等体験や教育実習等の指導を行っています。また、例えば「自分は教員に向いているのだろうか」というような相談にも応じています。キャリアサポートセンターとの連携も行っており、公立学校の教員採用試験、私立学校教員公募、臨時の任用教員や非常勤講師の募集情報等の発信も行っています。

C棟1階にある教職支援センターのブースでは、教科書、教育新聞、教員採用試験情報誌、参考書、問題集等を整えています。教員採用試験対策に各自が取り組めるようにオンライン学修教材も導入しています。模擬授業や教育実習授業で教材作成が必要となったときに活用できる用具も取り揃えています。

本学で取得することのできる教員免許状は以下の通りです。

### [経済情報学部 経済情報学科]

高等学校教諭一種免許状（情報）

高等学校教諭一種免許状（商業）

### [芸術文化学部 日本文学科]

中学校教諭一種免許状（国語）

高等学校教諭一種免許状（国語）

### [芸術文化学部 美術学科]

中学校教諭一種免許状（美術）

高等学校教諭一種免許状（美術）

\*なお、商業、国語、美術については、上記の一種免許状を取得した上で、本学大学院各研究科を修了し、所定の単位を修得した場合はそれに応じた専修免許状を取得することができます。

国際交流センターは尾道市立大学における国際化を推進するため2011年に創設され、教職員13名で運営されています。主な業務は、学生の海外語学研修参加に対するサポート、外国人留学生の迎え入れや海外協定校との共同研究体制の構築などです。

また、海外の大学との学術交流も意欲的に行ってています。これまでに、中国、台湾、ベトナムの大学計11校と交流協定を締結しました。

さらに、日本人学生と外国人留学生が相互に友情を育むための様々な異文化交流イベントの企画・運営や、外国人留学生が日本の生活習慣や環境に順応し、充実した留学生活を営めるよう、授業や日常生活に対する支援をしています。

このように様々な活動を通して、尾道市立大学をグローバル志向の学生が在籍する国際的教育機関に発展させたいと思っています。



国際交流センター

**KOBAYASHI Dawn**

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」「海外語学実践Ⅰ」「海外語学実践Ⅱ」

研究題目：教育心理学、自己効力感、コミュニケーション能力、パフォーマンスを用いた英語学習

指導目標：授業で学生がコミュニケーション能力を身に付け、留学や国際的な活動に関心を持つことを目標にしています。

Onomichi City University



国際交流センター

**KLOEPFER Thomas**

担当科目：「総合英語Ⅰ」「総合英語Ⅱ」

研究題目：環境経済学

指導目標：今後社会に出る際に、英語でのコミュニケーションが役立つことを知ってもらい、積極的に学ぶ楽しさを感じてもらえるような授業を志しています。

To future and current international students, welcome to Onomichi City University! International Office provides services such as helping with study abroad procedures and advising international students about study and life in Japan. Please take advantage of these services. Also, we hold various cultural activities and events throughout the year to promote cultural exchange between international students,

Japanese students, and the local community.

We are looking forward to meeting you!

希望交換留学或已派遣到本校的各位留学生，尾道市立大学欢迎你！本中心负责提供办理有关留学的各种手续，及在日学习生活的指导和咨询等服务。请大家积极利用。此外，每年在校内外举办各种各样的文化交流活动，促进留学生与日本学生，本地区居民的文化交流。期待大家积极参与！

私は2023年3月から2024年1月までの約10か月間、ベトナムのハノイにある貿易大学(FTU)に留学していました。私が留学先にFTUを選んだ理由は、ベトナムで最も歴史ある経済学部を持ち、ドイツ、フランス、スウェーデン、ロシア、韓国などの多くの国と提携しているからです。

## 海外留学体験談



FTU（ベトナム）  
交換留学（1年間）

経済情報学科4年  
**籾本 英之**

FTUには経済や経営に関する専門的な授業だけでなく、異文化理解やコミュニケーション能力を向上させるような授業もあります。また、ハノイは経済発展が著しく世界で最も活気がある都市の一つであり、西欧諸国と比べて物価が安く親日国で治安がそれほど悪くないことも決め手となりました。私はFTUへの留学を通して、異文化理解やコミュニケーション能力を高めることができました。FTUは国際交流にも力を入れており、他国からの留学生や教員とも交流する機会が豊富です。これらの経験を通して、自分の文化や価値観を見直すとともに、異なる文化や考え方を尊重する姿勢を身につけることができました。FTUへの留学は私にとって貴重な学びの場となりました。

## 国際交流イベント



台湾 国立嘉義大学との合同カンファレンス



国際交流センター講演会

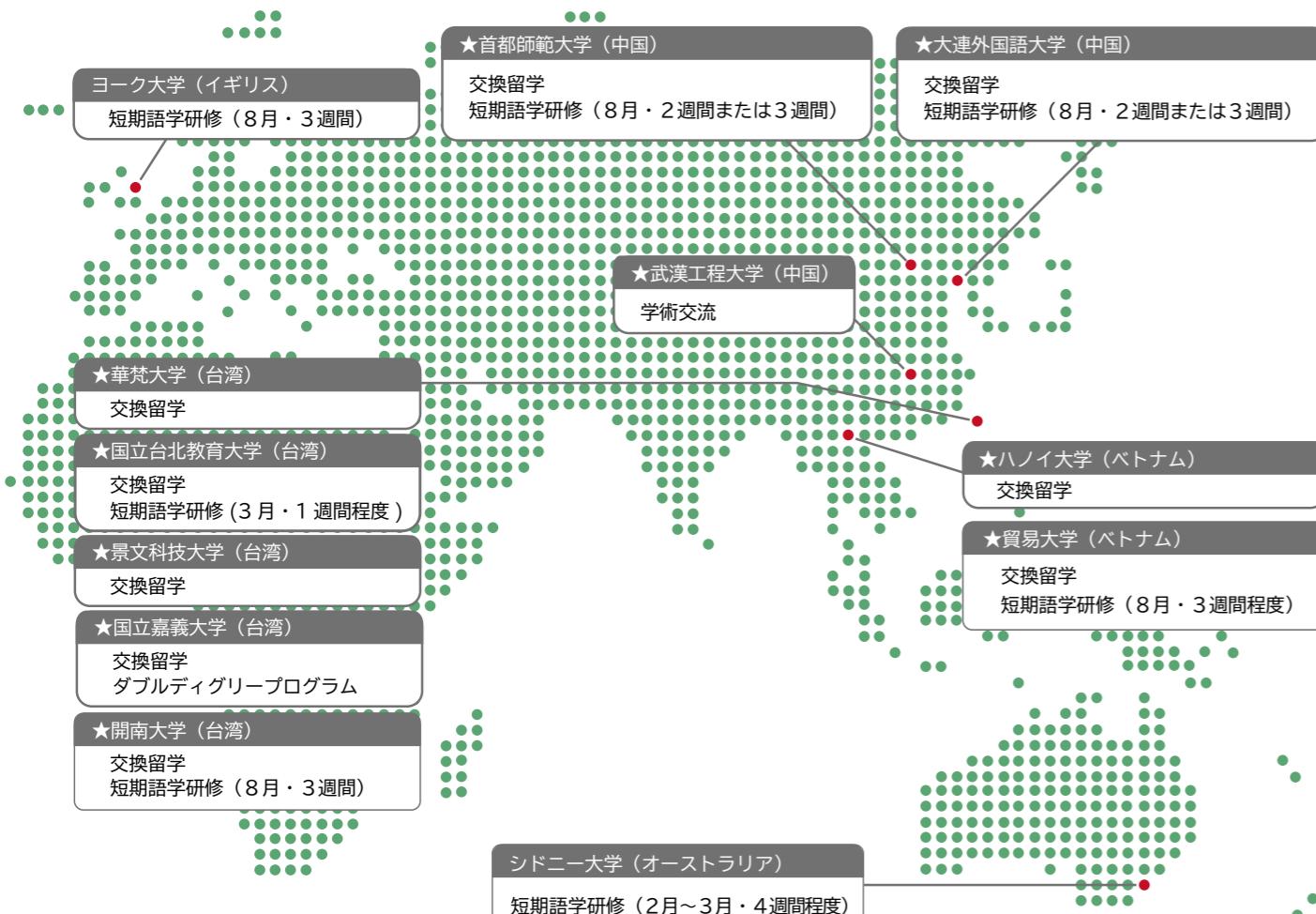


留学生歓迎会



One day trip(国際交流のための1日研修) 卒業予定留学生による報告会及び地域の方々との交流会

国際交流センター  
**辰巳 真由美**



### ハワイ大学マウイカレッジ

短期語学研修（2月～3月・3週間程度）

### 協定校等における海外短期語学研修

本学では、協定を結んでいる海外の大学をはじめとして、短期の語学研修に参加できる制度を用意しています。渡航に必要な知識や理解を深めるため引率教員と事前学習を実施し、帰国後には事後学習や報告会を開催するなど、安全で実りのある研修になるようサポート体制を充実させています。また、本学後援会が研修費用の助成を行う制度も用意しています。

訪問先での研修プログラムは大学ごとに異なりますが、語学の学習のほか、文化体験や地元企業への訪問、さらには休日に景勝地を訪れるツアーが用意されている等、どのプログラムも工夫が凝らされています。外国語の習得のみを目的としたものではなく、ホストファミリーや現地の学生、市民などの様々な人々との交流を通じ、国際的な視野を持つグローバルな人材育成を目指した内容となっているのが特徴です。



尾道市立大学では教職員が連携して学生のみなさんのサポートにあたります。連携の拠点となるのが、医务室と学生相談室です。医务室では心身の健康をサポートする健康相談と障がいがある学生や困りごとがある学生の修学サポートの活動を行っています。充実した学生生活が送れるよう、学生のみなさんを応援しています。

**医務室** 専門スタッフ(看護師・障がい学生支援コーディネーター)が在室しています。

#### ●健康相談

病気やケガ、様々な不安やストレスについてお話を伺います。



#### ●修学サポート

障がいがある学生、困りごとがある学生の大学生活をサポートします。



### 学生相談室

心理カウンセラー(公認心理師・臨床心理士)によるカウンセリングを行います。  
学生本人やご家族からの相談に応じます。



関係学生団体「おのだいピアサポ」が  
学生の視点でピア・サポート活動を展開しています。



新入生対象履修相談会



おのまる

## 5つの柱による進路支援

### ●キャリアサポートセンター

キャリアサポートセンターでは、求人情報、企業情報、企業説明会の情報など「就職活動に関する情報」や、進学や資格取得など「進路全般に関する情報」を提供しています。学生の進路相談に応じるスタッフが常駐し、進路相談のほかに履歴書やエントリーシートの添削、面接指導など進路に関することなら何でも相談に応じています。また、キャリアカウンセラーによるカウンセリングも定期的に実施しています。

### ●キャリア開発委員会

キャリア開発委員会では、定期的に就職ガイダンス、セミナーを開催することにより、学生の就職に対する意識の高揚を図るとともに、円滑な就職活動を行うことができるよう支援しています。また、地元企業ガイダンスや学内個別企業説明会、業界研究会を開催し、学生の就職活動がより具体的になるよう支援をしています。

### ●課外講座による実践的指導

全学年を対象に課外講座を開講することにより、学生の進路選択、就職活動の一助となるようなサポートを行っています。

#### ・公務員受験対策講座（2・3年生向け）

「教養分野コース」、「専門分野コース」（行政系）をラインナップし、幅広い採用試験に対応できる講座となっています。

#### ・簿記検定対策講座

日本商工会議所簿記検定合格の支援をしています。

#### ・情報技術資格対策講座

MOS・Word、MOS・Excel、の講座を開設しています。

### ●教職員による積極支援

全教職員が、チューター制をはじめとする少人数教育によりきめ細やかな指導を行うとともに、求人開拓や関係強化のための企業訪問を実施して、積極的に支援しています。

### ●キャリア教育

授業科目として、1年生向け「キャリア形成入門」と、2・3年生向け「キャリア形成演習」「インターンシップ」を開講しています。「キャリア形成入門」では、卒業後の社会的自立に向けて、自分らしい生き方や働き方を考え、主体的に取り組む姿勢を身につけます。「キャリア形成演習」では、実際の企業・団体での経営課題にチームで取り組み、プレゼンテーション資料を作成し発表することで、就業力や社会人基礎力を身につけます。「インターンシップ」では、実社会での就業体験が実りあるものとなるよう、事前学習・事後学習を通じて、職業観・就業意識を養い、適切な職業選択に役立てるとともに、専門教育との接続を意識したプログラムの開発をめざします。



キャリアサポートセンター 特任講師

**八木 力俊**

担当科目：「キャリア形成入門」「キャリア形成演習」「インターンシップ」

研究テーマ：「組織開発」、「インターナル・マーケティング」、「キャリア形成」

## 進路支援の取り組み

進路選択は学生の人生に大きな影響を与える重要なことです。

キャリアサポートセンターでは、学生がやりたい仕事に就き、いかに自己実現できるかを基本とし、一人一人に合わせた適切な進路指導をします。近年、就労意識が低い今まで入社したり、入社後にミスマッチが発覚したり、若者の早期離職が社会問題となっています。本学では社会人基礎力を育成するカリキュラムを取り込んだガイダンスやセミナーを開催し、就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立が図れる能力の育成をしています。教職員が一体となり、就職相談、求人開拓、情報提供を通して学生の進路選択を万全のサポート体制で支援していきます。



### ①インターンシップ

受入先企業と本学の合意で進める独自のインターンシップを行っています。2023年度は55名の学生が参加し、実習を無事終えることができました。三省合意で定義された内容に基づく就業体験を推奨し、企業との共同による「パーパス（企業の存在価値）を中心とした内的キャリア（やりがい）のマッチングを図るインターンシップ」を目指して、プログラム内容の充実を図っています。また、事前学習、事後学習、報告会を組み合わせた通年のプログラムを通じて、学生の専門研究分野に関する認識を高めるだけでなく、職業観・職業意識を育成し、適切な職業選択を促進します。

### ②学内企業説明会

11月に業界研究会をオンラインで開催しました。オンラインならではの特性を生かして、幅広い地域・業界の企業に参加いただいています。

この業界研究会は、本学学生にとって企業の採用担当者との貴重な面談の機会となっており、就職活動への意欲醸成につながっています。また地元の企業を招いた対面形式での業界研究会も開催し、幅広く情報を収集できる機会を学生に提供しています。

### ③就職ガイダンス・業界セミナー・各種実践講座

主に3年生を対象に「就職ガイダンス」を開講しています。就職活動を円滑に行うための知識や技術の習得だけでなく、社会人基礎力を育成できるカリキュラムとなっており、卒業後も自己の資質を向上させ職業的に自立が図れる能力を育成する内容となっています。また、2年生、3年生を対象に企業の担当者を招いて、学内業界セミナーを開催しています。学生の職業観や勤労意識の育成を図り、学生が産業や職業に関する知識や理解を深めるよい機会となっています。その他実践力を身に付けるためにSPI（筆記試験）対策講座や自己分析・エントリーシート作成講座、面接対策講座などを実施しています。

### ④就職・進路相談

キャリアサポートセンター職員や専門のキャリアカウンセラーによる進路相談を始め、エントリーシートや履歴書添削、面接練習を含む個別相談・指導を行っています。

### ⑤市内企業との連携

尾道市内の企業と学生との情報交換を目的として、市内企業を対象としたイベントやガイダンスを開催しています。3年生のみならず全学年を対象とし、学生に地元企業を紹介するだけの場ではなく、様々な業種・職種などを深く学習していく業界・企業研究という側面も持たせています。



## 就職状況

2023年度卒業生の就職率(就職希望者のうち、就職し得たもの)は96.9% (昨年度94.6%)、就職者数は250名 (昨年度244名) となっています。

学科別の状況は、次のようになっています。

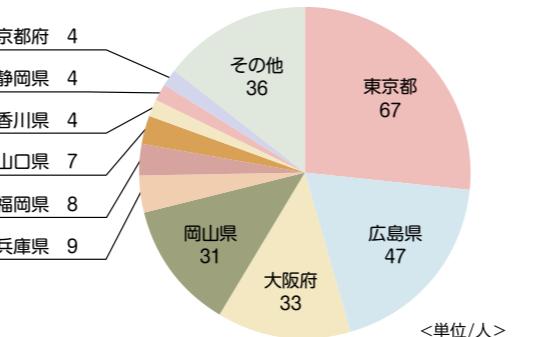
	卒業者	就職希望者	就職者	就職率
経済情報学科	217	197	193	98.0% (昨年度 96.7%)
日本文学科	44	36	33	91.7% (昨年度 95.3%)
美術学科	57	25	24	96.0% (昨年度 82.4%)
合計	318	258	250	96.9% (昨年度 94.6%)



## (1) 地域別動向

就職先を地域別にみると、首都圏及び大都市圏への就職者数が

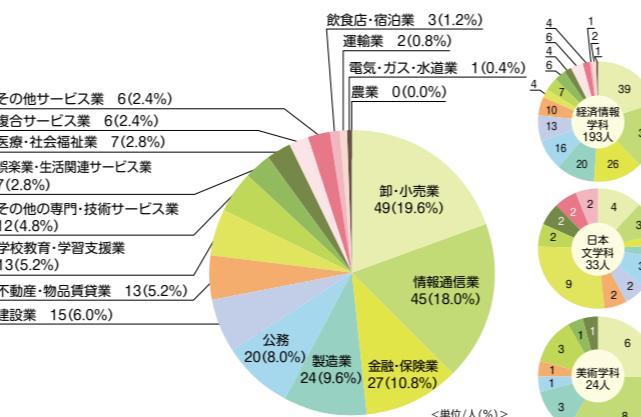
東京都67名(昨年度58名)、大阪府33名(昨年度18名)と、全体の40.0%(昨年度31.1%)を占めています。また97名が広島県・岡山県等の中国四国地域へ就職をしており、こちらも全体の38.8%(昨年度43.0%)を占めています。これは、尾道市を含む中国・四国各地域の発展に貢献できる人材を輩出するだけでなく、大都市圏でも活躍できる人材を育成するという就職支援の方針として取り組んできた結果です。



## (2) 業種別動向

業種別の就職先では、卸・小売業(19.6%)、情報通信業(18.0%)、金融・保険業(10.8%)、製造業(9.6%)で約6割を占めています。

学科別にみると、経済情報学科は、情報通信業、卸・小売業、金融・保険業が上位を占めています。日本文学科は、公務、学校教育・学習支援業、卸・小売業が上位を占めています。美術学科は、卸・小売業の他、情報系企業でのグラフィックデザイナーなど自らの専門性を活かした分野への進出が見られます。



## 主な就職先 (過去3年間の就職先から抜粋)

### 経済情報学部 経済情報学科

- 建設業 横水ハウス 一条工務店 九電工 JFE プラントエンジ 大和ハウス工業
- 製造業 三菱電機ビルソリューションズ シギヤ精機製作所 シャープ タカラスタンダード 三浦工業
- 電気・ガス・熱供給・水道業 広島ガス
- 情報通信業 両備システムズ 大塚商会 ANAシステムズ 富士通Japan ドコモCS中国 日立ソリューションズ西日本
- 運輸業 近畿日本鉄道 中部スカイサポート 西日本旅客鉄道
- 卸・小売業 アイリスオーヤマ ハローズ つばめガス リコージャパン 大創産業
- 金融・保険業 広島銀行 中国銀行 百十四銀行 伊予銀行 しまみ信用金庫 吳信用金庫 オリエントコーポレーション 阿波銀行 セブン銀行 広島県中小企業共済協同組合
- 不動産・物品賃貸業 静岡銀行 トマト銀行 山陰合同銀行 清水銀行 十八親和銀行 徳島県信用保証協会 明治安田生命保険
- 専門・技術サービス業 長谷工リアルエステート 穴吹工務店 積水ハウス不動産中国四国
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽業 ニトリホールディングス KPMG 税理士法人 山口フィナンシャルグループ
- 教育・学習支援業 アパホテル 星野リゾート・マネジメント TBCグループ ミュゼプラチナム
- 医療・福祉 福山大学 兵庫県内公立高等学校 広島県内公立高等学校
- 複合サービス業 日本赤十字社 広島市社会福祉事業団 社会福祉法人尾道さつき会 創心會
- 公務 三原市農業協同組合 山口県農業協同組合 JA淡路日出 晴れの国岡山農業協同組合 JA大分 JA岡山市 福山市農業協同組合
- 国税専門官 尾道市 広島市 世羅町役場 香川県 岩国市 淡路市 和氣町 福知山市 松坂市 浅口市 美馬市 四国中央市消防本部 広島県 徳島県(警察事務) 大分県 福山市 八幡浜市 三豊市 真庭市 安芸太田町 吉賀町 兵庫県警 東京消防庁 京都市消防局 自衛隊一般曹候補生
- 財務専門官 愛媛県 松山市 三原市 美祢市 広島県警 長野県警

### 芸術文化学部 日本文学科

- 建設業 ナカタ・マック・コーポレーション 大和ハウス工業
- 製造業 アンデルセングループ 菅公学生服
- 情報通信業 フラッグ 日本ナレッジ 西鉄情報システム
- 卸・小売業 メガネットップ ザグザグ 福山三菱自動車販売 ハローズ
- 金融・保険業 明治安田生命保険 広島県信用保証協会 立岡信用組合
- 不動産・物品賃貸業 ニッポンレンタカーアバランチ・レン特 タカハシ
- 専門・技術サービス業 山口フィナンシャルグループ アイ・ケイ・ケイホールディングス 松屋フーズホールディングス
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽業 共立メンテナンス 但馬屋旅館 ベルモニー
- 教育・学習支援業 広島県公立中学校 群馬県公立中学校 福岡市公立中学校 尾道学園中・高等学校 琉球大学 英真学園 神戸市内公立中学校 福井県公立中学校
- 医療・福祉 宮崎県内公立中学校 長崎県内公立中学校 広島市教育委員会
- 複合サービス業 大阪市民病院機構 オールケア・グループ
- 公務 全日警
- その他のサービス業 広島県(警察事務) 京都府(学校事務) 浅口市 日向市 浅口市 垂水市

### 芸術文化学部 美術学科

- 製造業 タカラトミー 大阪印刷 キヤシステム サンエス
- 情報通信業 マーブリングプランニング スピックカード アバンテック グライド クリーク・アンド・リバー社 ディーピーエヌ
- 卸・小売業 宮地電機 キヤン アミゴ イズミ ヤマダホールディングス イオン九州
- 不動産・物品賃貸業 ティーケービー
- 専門・技術サービス業 チトセアート アイディーエイ アドプレーン 東京映像美術 ジェイティーブランディング モノクラム EOTA
- 飲食サービス業・宿泊業・生活関連サービス業・娯楽業 ローズガーデン 鞠スコレ・コーポレーション シーエスーシービス イズミ・フード・サービス
- 教育・学習支援業 広島県内公立高等学校 山口県内公立中学校 高松工芸高等学校 徳島県立名西高等学校 大阪府豊能地区中学校 尾道市立美術館
- 医療・福祉 創樹会
- 複合サービス業 尾道空き家再生プロジェクト イマジカデジタルスケープ 第一技研 益田商工会議所
- 公務 陸上自衛隊 尾道市



**岩国市役所**  
経済情報学科  
**有馬 拓海**  
出身校：  
山口県立高森高等学校

私は民間企業を受けず公務員一本に絞り、就職活動を行いました。一般的に、公務員は採用の合否が確定する時期が民間企業よりも遅いため、周囲の友人は内定の通知が届く中で焦りや不安を感じるようになりました。このような焦燥感は公務員志望の方に限らず、感じ得ることだと思います。

私がそんな状況を打破できたのは、きっぱり気持ちを割り切ってオンオフの切り替えが出来たからだと思っています。常に頑張り続けても、落ち着くことが出来ずに視野が狭まり本来の実力が發揮できない悪循環に陥ってしまいます。そこで「今日はここまでにして休む日にしよう」と自分にプレッシャーをかけずにオフの時間を作ることが大事だと実感しました。

また、自分について、志望する自治体や企業について多くの視点から知ることも重要です。自己分析して自分の長所を見出すことも1つの手段ですが、家族視点、友人視点から見た自分の長所を聞くことで、より自信の持てる長所を見つけることに繋がります。志望する自治体についても、その自治体が属する地域に住んでいる人視点や別の地域に住んでいる人視点など多くの視点から知ることで、俯瞰的に分析出来て面接やエントリーシート作成の参考になると思います。

最後に、公務員試験は一次試験の筆記試験を通過することが前提です。試験勉強は一番面白くない辛いことだと思います。しかし、耐えて踏ん張った分だけ試験当日落ち着いて臨めます。応援しています。



**株式会社広島銀行**  
経済情報学科  
**吉野 綾華**  
出身校：  
広島県立祇園北高等学校

私が就職活動を通して大切だと感じたことは「誰かに頼る」事です。就職活動を始めた当初は、就職活動は自分一人でやるものだと思っていました。その為、将来の夢が無かった私は自分の強みは何なのか、自分はどのような仕事が向いているのか分からず、ただエントリーシートの提出や面接をこなすだけの毎日でした。その為、選考で落ちてしまった時には原因が分からず抱え込んでしまうことも多くありました。そんな中、私は「人に頼る」一步を踏み出しました。友人や先輩とは、毎日のように面接練習や自己分析を行いました。キャリアサポートセンターの方々には、エントリーシートの添削や毎週のように面接練習を行って頂きたくさんのアドバイスを頂きました。また、就職活動を行う中の不安や悩みも聞いて頂き心の支えになりました。その結果、就職活動を通じ自分で気づかなかった強みや他人から見た自分の印象など自分の武器を知ることができました。

就職活動をする中で、選考が思い通りに行かず悩んだり、自己分析で自分について思い詰めたりすることもあるかもしれません。その時は、友人や家族、キャリアサポートセンターの方々に頼ってみてください。自分で、気づかなかった新たな学びがあると思います。

最後になりますが、自分のペースでたくさんの人を頼りながら頑張ってください。皆さんに輝ける企業とできなご縁があることを祈っています。



**株式会社グラフィック**  
日本文学科  
**国則 達也**  
出身校：  
大阪府立四条畷高等学校

大学の就職活動では高校までの受験と違い、「皆と違うことして、自由にアピールすること」を求められます。つまり、自分なりの個性や強みといったものです。

受験では全員が前へならえ右向け右で、同じ科目を勉強し、共通の問題を解き、得点という画一的な指標で合否を判定します。

しかし就活では、会社によって評価したり重視したりする点も異なれば、学生側が自分のどこをアピールするのも自由なのです。(学力試験もあるにはありますが、それは全体のほんの一部しかありません。)

そこで大事なのは、大学生活でいかに豊かな経験や学びを経て、自分なりの個性や強みを見つけたり育んだりしていくことなのです。

本文章を読む多くの方にとっては大学での就活なんて遠い話に聞こえるかもしれません。入学してからしばらくはそれで全然かまいません。大学生活を存分に楽しんでください。自分の興味や得意分野を軸に色々なことに挑戦し、様々なことを学び、経験し、キャンパスライフを彩る自分だけの色を作っていくください。尾道という自然と情緒が溢れる唯一無二の土地が、そのような営みをさらに豊かなものにするに一役買ってくれるでしょう。

そのなかでほんのすこしでも、将来のことを頭の片隅に留めてもらえば幸いです。大学生活前半で出来上がった「自分だけの色」が、後半から始まる進路選択や就職活動において鍵になってくるはずです。

一年後、尾大の門をくぐる皆さんのが実りある大学生活を過ごしてゆけることを願っております。



**株式会社タカラトミー**  
美術学科  
**大崎 日菜**  
出身校：  
広島県立安古市高等学校

私は大学の3年生の後期に、『もっとこい！広島ゲーム』というボードゲームを制作しました。そのゲームが私と就職先の会社を結びつけてくれました。

大学2年生の私は、自分のやりたいことを見失うときがよくありました。しかし、3年生が終わろうとする頃、ボードゲーム制作を通して、自分に合っているのはおもちゃ制作だと思いました。そして「1から物をつくる仕事」、つまり商品の企画や開発がやりたいのだと気づいたのです。

それからは、自分に合っていること、やりたいことにマッチする会社をひたすら探しました。

受け取る会社を決めた後は、実際にゲームを面接会場に持参し、プレゼンテーションを行いました。就活中に感じたことは、自分の作品やこれまでの経験を伝えるのはもちろん、ありのままの自分を魅せることが何よりも重要だということです。

そして、面接では『易しい言葉でわかりやすく』。これが私が共有したい、一番大切なキーワードです。

私を支えてくれた友人、家族、先生方に心から感謝しています。4年間の大学生活の中で、自分の「やりたい！」を発見することは、1人では為し得ないことでした。

最後に、就職活動は様々な会社と出会い、自分の可能性を広げる素敵な時間です。

どうか楽しむことを忘れずに!

21世紀と共に歩む尾道市立大学は、時代の要請に対応し、物事により創造的に立ち向かえる優れた創造性や判断力、それに裏付けられた専門的知識・能力や高い見識などの育成に特化した、実践的な教育を行う大学院修士課程を設置しました。学部教育で培われた専門的素養のある人材を、よりレベルを高めた学修と研究への取組により、高度の能力を有する専門的職業人や研究者等へ鍛え上げると同時に、広く時代と地域の要請に応えられる人材を育成する研究拠点を目指します。

### 経済情報研究科 経済情報専攻 (修士課程)

入学定員 8名  
修業年限 2年  
学位 修士(経済情報)

経済と企業活動のグローバル化と少子高齢化、さらに情報化社会の到来等により、学修しなければならない事柄の高度化、専門化や多岐化が進んでいます。一方では学際的な研究が必要であり、そのことが大学院教育に新しい課題を提供しています。まず、大学院経済情報研究科(修士課程)は、経済・経営・情報科学という本来は異なった3分野の連携による高度な専門教育を提供し、学際的研究を可能にしています。しかも、地域企業の経営者・就業者、地域行政担当者、および商業科教員等の社会人のためのリカレント教育や、情報処理能力に優れた人材の養成や税理士志望者の受け入れ等の要請にも応えることを目指しています。すなわち、学問的裏づけがあり、かつ実践的問題解決能力をも備えた人材の育成が、本研究科の教育の狙いとなっています。なお、資格取得等に関しては、修士学位取得者に対する教職課程専修免許状(商業)と、税理士試験における「修士学位による試験科目免除」制度があります。商業に関する教科の修得等、一定の基準を満たせば、資格取得が可能となっています。

### 日本文学研究科 日本文学専攻 (修士課程)

入学定員 6名  
修業年限 2年  
学位 修士(日本文学)

日本文学研究科の教育目標は、日本語、日本文学、日本の芸術文化を深く理解し、その理解のもとに国際的な感覚を身に着け、異文化を共有できる人、また、そうした能力により、社会活動や文化活動に指導的役割を果たし、社会の発展に寄与する人材を育成することにあります。

具体的には、日本文学・日本語学・漢文学等に関する深い学識と高度な研究方法を修得し、豊かな人間性と高い倫理観をもち、本研究科で身についた学識と研究能力を生かせる人です。

そのために、日本の文学と言語文化を総合的に捉える視点を養い、基幹科目として日本文学、日本語学、漢文学に関する深い学識と高度な研究方法を修得します。言語文化の探究と創造に取り組むため、専門科目として、日本古典文学、近代文学、日本語学に加え、周辺領域である、日本音韻律、国語教育学、米文学、比較文学、地域文学、文艺創作の特論をおいています。より広範な社会との連携のなかで言語文化の探究と創造に取り組むために、語学実践、英語学、心理学の特論を関連科目としておいています。

### 美術研究科 美術専攻 (修士課程)

絵画研究分野(日本画・油画)、デザイン研究分野  
入学定員 12名  
修業年限 2年  
学位 修士(美術)

美術研究科では持続する創作活動を行うことができるよう、学部と大学院修士課程とを合わせた6年間のカリキュラムを一貫化し、高度な創作能力を育成するための体系的な教育を行っています。

授業科目は、芸術に関する幅広い視野と識見を養うため芸術の理論・歴史等を教授し、実技と演習によって構成される研究分野開設科目と合わせて美術の理論と実践の有機的な連携を図っています。

#### 絵画研究分野

日本画と油画に関する制作・研究を行います。

- ・日本画では古典作品の表現、技術および材料の理解と造形感覚を修得させ、各自の個性的な創作力の育成を図ります。
- ・油画では、創作活動の充実を図るため各自のテーマを踏まえ、独自な絵画表現を追及し、また必要となる技法や素材の研究を促します。

#### デザイン研究分野

広い視野と柔軟な観察力をもって多岐にわたるデザインの領域を理解できるように、6人の専門領域の指導教員から多様な価値観を学び、さらに外部講師による講義、演習を体験し、各自の研究を多角的な視点から考察し、研究します。

Production  
Chief Editor Onomichi City University Committee of public relations  
OKAMOTO Shunsuke

(Associate professor: Department of Economics, Management & Information Science)

Art Direction  
Editorial Design ITO Asako(Associate professor: Department of Art & Design)  
ONO Tamaki (Professor: Department of Art & Design)

HAYASHI Hiroshi (Associate professor: Department of Art & Design)

Editor ONO Tamaki (Professor: Department of Art & Design)

FUJIKAWA Yoshikazu (Professor: Department of Japanese Literature)

WAKAMATSU Kenji(Clerical Staff: Planning & Public Relations section)

MURAKAMI Norihiro(Clerical Staff: Planning & Public Relations section)

MAESAKO Sanae (Clerical Staff: Planning & Public Relations section)

Campusmap Design HATA Yuina (Alumna, Department of Art & Design)

Accessmap Design HIRABAYASHI Misaki & HASEGAWA Sayo

(Alumna, Onomichi City University Graduate Program: Department of Art & Design)

Print ART PRINTING co., ltd

©Onomichi City University 2024

# 尾道市立大学周辺マップ

ONOMICHI CITY UNIVERSITY MAP



尾道市立大学

久山田水源地

びんご運動公園

至広島

J R 山陽新幹線

尾道市立大学

〒722-8506 広島県尾道市久山田町1600-2

TEL : 0848-22-8311

FAX : 0848-22-5460

E-mail: jimukyok@onomichi-u.ac.jp

交通アクセス  
JR山陽本線「尾道駅」  
バスターミナル3番のりばより  
「尾道市立大学」または「陽光台」行き  
バスで約20~40分 「尾道市立大学」下車

JR山陽新幹線「新尾道駅」  
バスターミナル3番のりばより  
「尾道市立大学」または「陽光台」行き  
バスで約15分 「尾道市立大学」下車

尾道市立大学美術館

〒722-0045 広島県尾道市久保3-4-11

TEL/FAX : 0848-20-7831

MOU Blog : <https://moushirakaba.blogspot.com>

至広島

J R 山陽本線

尾道駅

新尾道駅

184

2

メイト

ホームユセンホー

門田町

平原

2

184

363

西國寺

千光寺

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

中央図書館

浄土寺

美尾道市立大学

尾道市役所

しまなみ海道

向島

MUKAISHIMA

千光寺

西國寺

尾道市立大学

## 沿革

- 1946年 3月 尾道市立女子専門学校設置許可  
1950年 3月 学制改革により、尾道短期大学に改称  
1998年 3月 尾道大学基本計画(案)  
1998年10月 尾道大学設置準備委員会の発足  
2000年12月 尾道大学設置認可  
2001年 4月 尾道大学開学  
2005年 4月 尾道大学大学院設置  
2012年 4月 公立大学法人化を契機に「尾道市立大学」へ名称変更

尾道市立大学を設置する尾道市は、千年を越える社寺に見られるように、

古くから瀬戸内の要衝として経済的にも発展し、

すぐれた芸術文化の伝統ある都市です。

半世紀余り前、まだ高等教育機関が少なかった時期に、

いち早く市立の女子専門学校を創設し、

それが学校制度の改革ですぐに短期大学に転換しました。

2001年4月、時代の要請に対応して短期大学を改組転換し、四年制大学を開学しました。

さらに、2005年4月に、大学院修士課程を設置しました。

2012年4月には、公立大学法人化し、大学名称を尾道市立大学に変更しました。

